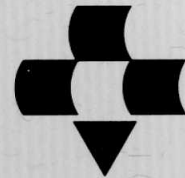


平成4年度

神戸市立博物館年報

No.10



☆☆次目

沿革	3
事業概要	
1 特別展示	5
(1)第40回特別展	5
出品目録	7
(2)41回特別展	11
出品目録	13
(3)第42回特別展	17
会場構成	19
(4)第43回特別展	21
出品目録	25
2 企画展示	33
3 学習室・図書室	72
4 普及事業	73
5 事業一覧	75
収蔵資料	
1 新収資料	76
2 資料の特別利用	81
入館者教	88
日誌	91
予算	92
博物館協議会	92
組織・職員	93

沿 革

48. 9 神戸市立中央図書館・博物館等調査委員会設置（52.3までに博物館部会を19回開催、視察調査を6回実施）
50. 3 同委員会博物館部会が「神戸における博物館の基本構想」を答申
52. 3 東京銀行と同行神戸支店建物の博物館転用計画について合意
53. 4 教育委員会事務局社会教育部内に新中央図書館・博物館創設準備室を設置
- 7 博物館資料収集協力員を委嘱（各区1名、計9名）
- 8 神戸市立博物館創設準備会議を設置（以降7回開催）
54. 6 博物館展示計画検討会を設置（以降15回開催）
55. 3 東京銀行より同行神戸支店建物を受贈及び土地を買収
- 4 博物館創設準備室と改称
- 4 博物館創設担当参与に渡辺昭三就任
- 12 改造及び新築工事、着工
57. 3 竣 工
- 4 神戸市立博物館条例公布
- 4 博物館組織発足
- 4 館長に井尻昌一前助役就任
- 7 神戸市立博物館規則公布
- 11 神戸市立博物館条例及び規則施行
- 11 開館記念式典、一般公開
- 11 南蛮美術館、考古館閉館
- 11～12 開館記念特別展「海のシルク・ロード」開催
58. 1～2 受贈記念特別展「南波松太郎氏収集 古地図の世界」開催
- 2 神戸市立博物館規則一部改正（博物館協議会）
- 2 副館長に檀上重光就任
- 3 神戸市立博物館協議会を設置
- 4～5 第3回特別展「神戸の文化財」開催
- 8～9 第4回特別展「びいどろ・ぎやまん」開催
- 10～11 第5回特別展「古地図にみる世界と日本」開催
59. 4～5 第6回特別展「眼鏡絵と東海道五拾三次展」開催
- 8～9 第7回特別展「中国蘇州年画展」開催
- 10～11 第8回特別展「更紗の世界展」開催
- 12 第9回特別展「ヨーロッパのジュエリー展」開催
60. 6～8 第10回特別展「中国五千年の秘宝展」開催
- 8～9 第11回特別展「秘蔵の至宝を一堂に 展」開催
- 11～12 第12回特別展「高句麗文化展」開催
61. 1～2 第13回特別展「桃山時代の祭礼と遊楽」開催

61. 4～5 第14回特別展「ワーダベ写真展」開催
 6～7 第15回特別展「西洋の風景展」開催
 7～8 第16回特別展「狩人の夢」開催
62. 1～2 第17回特別展「甦る幕末写真展」開催
 4～5 第18回特別展「日本絵画名作展」開催
 6～7 第19回特別展「神戸はじめ物語展」開催
 8～9 第20回特別展「ジョルジュ・ピゴー展」開催
 10～11 第21回特別展「明治のガラス展」開催
63. 4～5 第22回特別展「ジャワ更紗展」「江戸城障壁画の下絵」開催
 6～7 第23回特別展「中世を旅する聖たち展」開催
 10～12 第24回特別展「アイルランド・チェスター・ピーティアー・コレクション日本絵画名作展」開催
- 元. 2～3 第25回特別展「神戸ゆかりの巨匠たち展」開催
 4～5 第26回特別展「桂林百景展」開催
 7～9 第27回特別展「大三彩展」開催
 9～11 第28回特別展「松方コレクション展」開催
- 11 井尻昌一館長退任
 12～2 受贈記念特別展「秋岡古地図コレクション名品展」開催
2. 2～3 受贈記念特別展「小磯良平展」開催
 2. 4 名誉館長に宮崎辰雄前市長就任
 船田史郎事務局長、副館長を兼務
- 7～9 第31回特別展「THE びいどろ展—江戸時代のガラス・粋と美—」開催
 10～11 第32回特別展「手塚治虫展」開催
 11～12 第33回特別展「没後100年記念チャールズ・ワーグマン展」開催
3. 2～3 第34回特別展「隠元禅師生誕400年記念 隠元禅師と黄檗宗の絵画展」開催
 4～5 第35回特別展「ルイス・C・ティファニー展」開催
 7～9 第36回特別展「ポスター芸術100年展」開催
 9～10 第37回特別展「神戸市立博物館名品100選」開催
 10～12 第38回特別展「ジャンニ・ベルサーチ衣裳文化展」開催
4. 2～3 第39回特別展「南蛮見聞録」開催
 3 檀上重光副館長・船田史郎副館長兼事務局長退任
 4 副館長兼事務局長に林伸次郎就任
 4～5 第40回特別展「中国明清名画展」開催
 5 副館長に崎山昌廣就任
 6～7 第41回特別展「正倉院の故郷—中国の金・銀・ガラス展」開催
 10～12 第42回特別展「森英恵とパリオートクチュール」開催
5. 1～3 第43回特別展「銅鐸の世界」開催

事業概要

1 特別展示

(1) 第40回特別展

中国明清名画展 —中国天津市芸術博物館秘蔵—

・内容／

1985年「中国5000年の秘宝—中国天津市文物展」を当館で開催したが、今回は、一步進んで明清絵画芸術にテーマを絞りこみ、神戸市と天津市両市の文化交流事業の一環として、明清絵画の系統的な大コレクションを誇る天津市芸術博物館より秘蔵の88点の大作を借用して展示する初めての機会となった。明清絵画は、日本人の絵手本として珍重され、黄檗絵画や長崎派、文人画などの発展に計り知れない影響力を与えたが、本展はその本家本元の作品を展覧し、日本画の源流をさぐる展覧会となった。

・会場／南蛮美術館室、特別展示室1・2

・会期／平成4年4月4日(土)～5月10日(日)

・主催／神戸市立博物館・日中友好会館・中日友好協会・天津市芸術博物館・神戸新聞社

・後援／外務省・文化庁・天津市文化局

・開館日数／31日

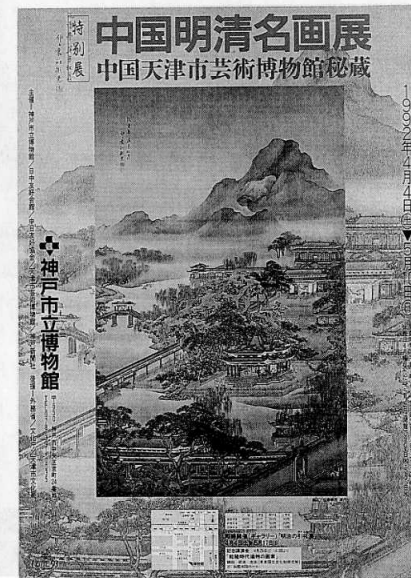
・入館者数／14,204人

・出品点数／88点

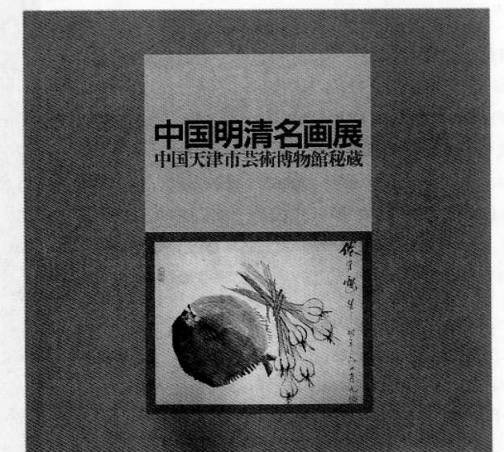
・記念講演会 平成4年4月25日

講師 鶴田武良氏 東京国立文化財研究所情報資料部長

演題 「乾隆時代揚州の画家」



ポスター



図録

ごあいさつ

神戸市と中華人民共和国天津市は、昭和48年（1973）に友好都市の提携を結んで以来、さまざまな分野において活発な交流を続けてまいりました。

昭和60年（1985）には、天津市の歴史、芸術両博物館の所蔵品による特別展『中国5000年の秘宝展—中国天津市文物展』を神戸市立博物館において開催し、悠久の歴史をもつ中国文化の精髓を、みなさまにひろく御鑑賞いただきました。

またこのたび、天津市芸術博物館の所蔵品により、とくに明清絵画に焦点を絞った展覧会を開催できますことは、中国文化への理解をより一層促進するため、誠に有意義な機会になるものと存じます。

わが国の絵画芸術は、古来中国の影響を受けて発展を続けてきました。なかでも明清の絵画は百花繚乱の時代を誇り、室町～江戸時代のわが国の絵画に与えた影響には、はかりしれないものがあります。

本展が日中文化交流の一助となり、神戸、天津両市の友好親善を深める機会となれば幸いです。

最後になりましたが、貴重な作品を御出品下さいました天津市芸術博物館、本展の開催に御尽力下さいました日中友好会館と中日友好協会に心より御礼申し上げます。

1992年4月 神戸市立博物館・神戸新聞社

No.	作者名	時代	作品名	形状・材質	寸法(cm)
1	金潤	明	溪山真賞圖	巻 紙本設色	29×106.5
2	呉偉	明	柳岸閑歩圖	軸 絹本設色	167.8×101
3	張路	明	山行落帽圖	軸 絹本設色	156.5×99
4	錢穀	明	虎丘圖	軸 紙本設色	108.5×42.6
5	陳栝	明	菊石圖	軸 紙本墨画	86×33
6	陳遵	明	桂兔圖	軸 紙本設色	146×79.5
7	錢貢	明	漁家樂圖	軸 絹本設色	122×32
8	程嘉燧	明	柳堤飲馬圖	軸 紙本設色	108×32
9	宋懋晉	明	一路看泉圖	軸 絹本設色	134×47.3
10	常瑩	明	松溪漁隱圖	軸 紙本墨画	123.6×57.8
11	李肇亨	明	高樹小亭圖	軸 紙本墨画	64.5×29
12	李流芳	明	疏樹孤亭圖	軸 紙本墨画	147.7×30.3
13	張宏	明	溪山古寺圖	軸 紙本設色	85.2×32.2
14	黄道周	明	雁蕩山圖	軸 絹本墨画	192.5×49.3
15	藍瑛	明	松蘿晚翠圖	軸 絹本設色	160.5×55.5
16	項聖謨	明	楓林亭竹圖	軸 絹本墨画	159.5×32.4
17	陳嘉言	明	梅竹寒雀圖	軸 絹本墨画	133×37.3
18	鄒之麟	明	富春逸興圖	軸 紙本墨画	138.2×26.5
19	恽向	明	傲菴北苑山水圖	軸 紙本墨画	101.2×48

主な出展作品

- 呉偉「柳岸閑歩図」明時代
- 錢貢「漁家樂図」明時代
- 黄道周「雁蕩山図」明時代
- 八大山人「河上花図巻」清時代
- 石涛「巢湖図」清時代
- 華岳「山鵲愛梅図」清時代

入館料

	一般	大学生	高校生	小中生
当日料金	800円	700円	550円	300円
前売料金	700円	600円	500円	250円
団体料金	600円	500円	300円	150円

*団体は30名以上

開館時間＝午前10時—午後5時（入館は4時30分まで）

休館日＝月曜日（ただし、5月4日は開館）、4月30日（木）・5月6日（水）



張四教 新羅山人華岳像 清時代

天津市芸術博物館は、神戸と友好都市提携を結んでいる中国・天津市にある美術博物館です。その所蔵品の総数は約4万件にのぼり、絵画や書から、陶磁器、古硯、印章等の工芸品にいたるまで、幅広い分野の品々によってコレクションが構成されています。個々の所蔵品についても優れたものが多く見られ、中国文物に関心をもつ内外の人々から注目を集めてきました。

今回の特別展では、この天津市芸術博物館のコレクションの中から、特に明（1368—1644）・清（1912）時代の絵画作品88点を選び展覧いたします。

明時代の絵画としては、我が国室町時代の水墨画にも影響を与えた、呉偉などの「浙派」、また後に浙派に代わって絵画史の主流を占めた、蘇州で活動した「呉派」の文人画家たちの作品を紹介いたします。清時代では、宮廷画家・袁江などに代表される正統派の作家をはじめ、八大山人・石涛などの波瀾の生涯を送った「遺民画家」たち、安徽省を出身地とし、繊細な水墨表現を得意とした弘仁・梅清らの「新安派」、かつての江南地方の中心地・揚州で活躍した、金農・李鱣らの個性的な画家たち「揚州八怪」などの作品を御覧いただけます。

これら天津市芸術博物館の明清絵画コレクションはこれまで海外ではほとんど公開されたことのないものばかりです。この貴重な作品を鑑賞することにより、中国絵画の奥深い世界にふれていただければ、と思います。



梅清 西海千峰図 清時代

No.	作者名	時代	作品名	形状・材質	寸法(cm)
20	蕭雲從	清	秋嶺山泉圖	軸 紙本設色	165×45.3
21	梅清	清	西海千峰圖	軸 紙本墨畫	73.6×49
22	弘仁	清	竹石流泉圖	軸 紙本墨畫	58.4×33.6
23	歸莊	清	竹石圖	軸 紙本墨畫	110×76
24	顧大申	清	溪橋策秋圖	軸 紙本墨畫	182×49.5
25	樊圻	清	歲寒三友圖	軸 紙本設色	88×57.5
26	戴本孝	清	古木空齋圖	軸 紙本墨畫	54.5×28.4
27	吳宏	清	負廓村居圖	軸 絹本設色	198.5×98
28	武丹	清	天際歸帆圖	軸 絹本設色	143.5×54.8
29	高岑	清	松窓飛瀑圖	軸 絹本設色	179×95
30	吳歷	清	山水圖	軸 紙本設色	63.5×38
31	八大山人	清	河上花圖	卷 紙本墨畫	47×1292.5
32	文點	清	覓侶納涼圖	軸 紙本墨畫	77.5×40.5
33	惲壽平	清	松柏圖	軸 紙本墨畫	190×79
34	陳宇	清	三教圖	軸 絹本設色	116.6×48.9
35	顧符稹	清	秋林讀書圖	軸 紙本墨畫	74.3×33.2
36	石濤	清	巢湖圖	軸 紙本設色	96.5×41.5
37	梅庚	清	山水冊	冊 紙本墨畫	20.8×19
38	禹之鼎	清	秋江晚棹圖	軸 絹本設色	172.2×74
39	李希膺	清	江岸風帆圖	軸 絹本墨畫	171.5×50.6
40	袁江	清	沈香亭圖	軸 絹本設色	197×120
41	陸遠	清	溪山雪霽圖	軸 絹本設色	103×48.9
42	勞激	清	蘆江放舟圖	軸 紙本設色	74.2×30.2
43	顧知	清	西園雅集圖	卷 紙本設色	24.8×416
44	高其佩	清	雜畫冊	冊 紙本墨畫	25.7×31.6
	李方膺				
45	陳書	清	山村雲水圖	軸 紙本墨畫	97.6×41.8
46	黃鼎	清	陽邏山色圖	軸 紙本墨畫	83.7×39.4
47	上官周	清	古木寒煙圖	軸 絹本墨畫	128.3×46
48	上睿	清	雪巖茅居圖	軸 紙本設色	93.5×30
49	袁雪岱	清	溪亭對奕圖	軸 絹本設色	134×74
50	唐岱	清	富春大嶺圖	軸 紙本設色	102×52.2
51	陳撰	清	屈原圖	軸 紙本設色	61.2×29.8
52	華岳	清	垂柳仕女圖	軸 紙本設色	130.6×54.8
53	華岳	清	山鵲愛梅圖	軸 絹本設色	216.5×107
54	高鳳翰	清	雪景山水圖	軸 絹本設色	141.4×56.6
55	汪士慎	清	梅竹圖	軸 紙本設色	102.5×30.3
56	李鱣	清	瓜畦連登圖	軸 紙本設色	184.5×92.4
57	李鱣	清	歲朝圖	軸 紙本設色	115×50

No.	作者名	時代	作品名	形状・材質	寸法(cm)
58	鄒一桂	清	杜牧詩意圖	軸 紙本設色	129.5×50.8
59	金農	清	墨梅圖	軸 紙本墨畫	130×52.1
60	黃慎	清	伏生授經圖	軸 絹本設色	234.8×139
61	程鳴	清	簫聲夜讀圖	軸 紙本墨畫	94×48.6
62	蔡嘉	清	虛亭遠山圖	軸 紙本設色	133.8×74.4
63	蔡嘉	清	過雨策杖圖	軸 紙本設色	133.2×74
64	蔡嘉	清	賸々圖	軸 絹本設色	103×43.5
65	鄭燮	清	竹石圖	軸 紙本墨畫	170×90
66	李方膺	清	竹石圖	軸 紙本墨畫	114.2×65.3
67	蔣溥	清	蘭竹石圖	軸 紙本墨畫	107.2×58.6
68	王昱	清	遠樹幽山圖	軸 紙本設色	169×90.5
69	張四教	清	新羅山人華岳像	軸 紙本設色	63.6×53
70	張洽	清	閔同遺意圖	軸 紙本設色	123.1×36
71	方薰	清	藩邸宴歸圖	卷 紙本墨畫	15×123.5
72	潘恭壽	清	寫柳永詞意圖	軸 紙本設色	60.6×34.3
73	張賜寧	清	山水圖	軸 絹本淡彩	153.5×49.5
74	黃易	清	得碑圖冊	冊 紙本墨畫	51.5×17.8
75	奚岡	清	倣古山水冊	冊 紙本墨畫	27×15
76	王學浩	清	倣元人山水圖	軸 金箋設色	133.6×57
77	潘思牧	清	松溪簫寺圖	軸 紙本設色	108×54.2
78	朱鶴年	清	山水圖	軸 紙本淡彩	99×47.6
79	朱本	清	春橋策杖圖	軸 絹本設色	161.7×42
80	張峯	清	山樓翫月圖	軸 紙本設色	142.2×29
81	張峯	清	匏村圖	卷 紙本設色	31×131
82	顧洛	清	採蓮圖	軸 絹本設色	140×40
83	朱昂之	清	松溪逸興圖	軸 絹本墨畫	100.6×34
84	程庭鷺	清	秋樹圖	軸 紙本設色	144×40.2
85	文鼎	清	秋風琴韻圖	軸 紙本設色	102.6×33
86	湯貽汾	清	琴隱園蓺菊圖	軸 紙本設色	77×47
87	戴熙	清	平林遠岫圖	軸 紙本設色	105×34.5
88	虛谷	清	花卉圖冊	冊 紙本設色	34×42.1

(2) 第41回特別展

出土品とハイビジョンでたどる日中文化交流の点の線

「正倉院の故郷(さと)ー中国の金・銀・ガラス展」

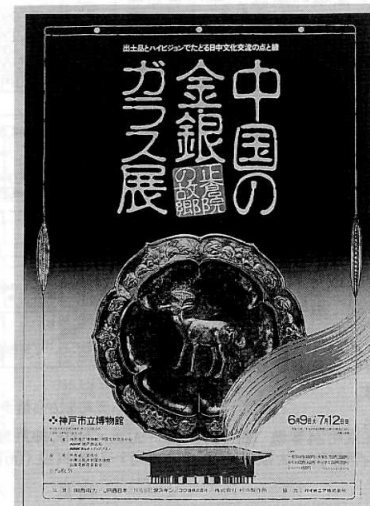
・内 容／

正倉院は、「シルクロードの終点」として中国のみならず広くペルシアなどとの広い交流を示す文化遺産の宝庫として知られているが、これら殆どが門外不出で奈良国立博物館に一部が公開されるのみである。そこで本展は、特に金・銀・ガラス器に焦点を絞って、その源流を中国国内で近年出土した考古資料で探った。これらは、海外初公開となった。

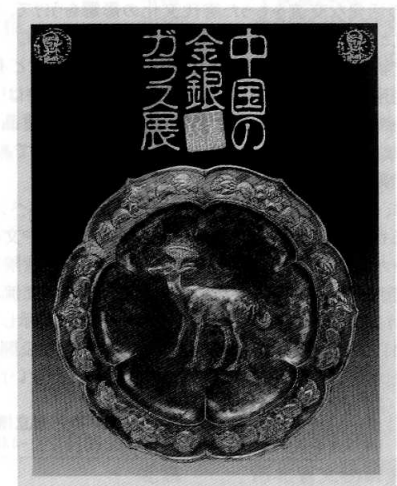
併せて正倉院の宝物については、大型ハイビジョンを使用した映像で紹介した。

- ・会 場／南蛮美術館室、特別展示室 1・2
- ・会 期／平成 4 年 6 月 9 日(火)～7 月 12 日(日)
- ・主 催／神戸市立博物館・中国文物物流中心・NHK 神戸放送局・NHK きんきメディアプラ
ン
- ・後 援／外務省・文化庁・中華人民共和国大使館・兵庫県教育委員会
- ・協 賛／JR 西日本・(株)ダスキン・コクヨ(株)・(株)村田製作所・関西電力(株)
- ・協 力／パイオニア(株)
- ・開館日数／30 日
- ・入館者数／29,087 人
- ・出品点数／86 件 127 点
- ・記念講演会

- 第 1 回 平成 4 年 6 月 13 日 講師 菅谷文則氏 奈良県立橿原考古学研究所調査第一課長
演題 「中国随・唐の金銀器と正倉院宝物」
- 第 2 回 平成 4 年 6 月 27 日 講師 東野治之氏 大阪大学教養部助教授
演題 「正倉院学のすすめ」

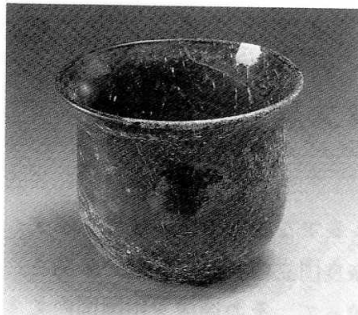


ポスター

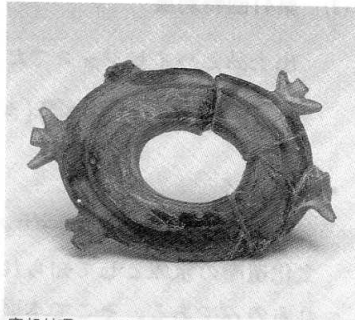


図録

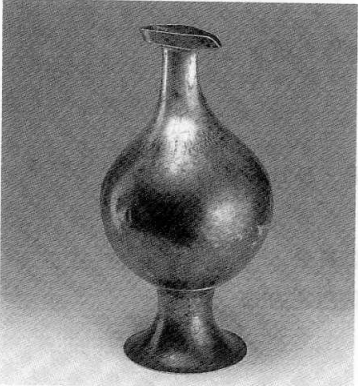
中国の 金銀の 故郷 ガラス展



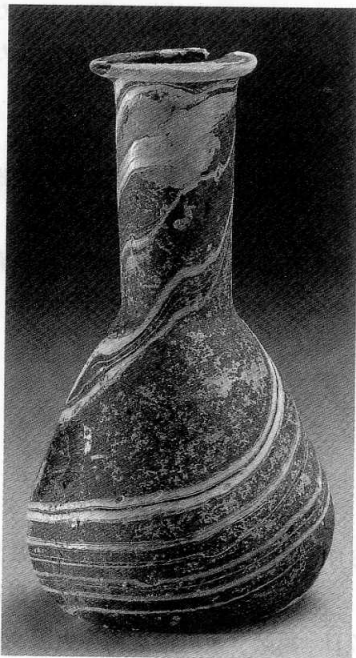
杯 ガラス 北燕



突起付環 ガラス 前漢



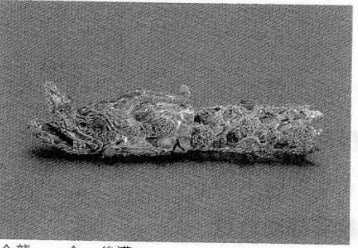
胡瓶 銀 唐



瓶(ローマンガラス) ガラス 後漢



唾壺 銀一部鍍金 唐



金龍 金 後漢



切子括碗 ガラス 北魏

わが国のもっとも貴重な文化財のひとつである正倉院宝物の魅力は、ユーラシア全域の諸民族・異文化との活発な交流をもった唐代文化の影響を受けて、ユーラシア個々の民族性を秘めた古代国際様式とでも呼ぶような点にあるといわれています。

正倉院の宝物は、地上伝世品であるため、繊維、木、紙など有機質のものが多いが、金属器としては、金の代用品としての金銅(青銅鍍金)、銀、佐波理(さばり=青銅・錫合金)があり、またガラス器などは数点存在しています。わが国では数も少なく貴重品であった金、銀、ガラス製品が、実は、正倉院の故郷(さと)——中国においては宝物の主流であり、正倉院宝物の中には、それらを他の材質で模したものが多くあります。

本展覧会は、先年、大阪放送局が制作・放送した「NHKスペシャル・正倉院を撮る」の関連企画として実施するもので、正倉院の故郷を中国に求め、意匠や文様、器形などに焦点をあてた中国出土の金・銀・ガラスの名品120余点と、NHKが制作した正倉院宝物のハイビジョン映像等により、中国における宝飾品の流れ、中国出土品に見られる東西交流、正倉院への伝播など、当時の東アジア圏における壮大な文化交流の様相をわかりやすく展示します。

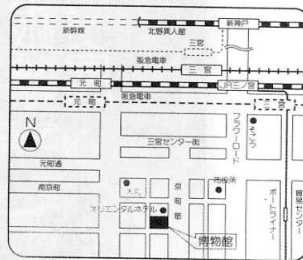
中国各地の15の博物館・研究所から出品された世界初公開の美術品多数を含む名品と映像とで構成された本展をとおり、正倉院の故郷を存分にご覧いただきたいと思います。

お問い合わせ先：テレホンサービス TEL078-332-7810 / 神戸市立博物館 神戸市中央区京町24番地 TEL(078)391-0035 / NHK神戸放送局 神戸市中央区中山手通2-24-7 TEL(078)231-4401 / NHKきんきメディアプラン 大阪市中央区内本町1-2-14 TEL(06)945-7131

■入場料金

一般	900円(650円)
大学生	750円(550円)
高校生	600円(400円)
中・小学生	350円(200円)
シルバー	450円

()内は30名以上の団体料金



■交通機関

三宮駅・元町駅から徒歩10分

ごあいさつ

8世紀、天平の時代は中国盛唐の時代と重なり、西は地中海沿岸から南はインド、そして中央アジアの諸地域まで、広大なユーラシア大陸の国際交流が花開いた時代でした。

大唐の都、長安にはシルクロードを通して西方の様々な文化が流入し、その文化が遣唐使などを通じてわが国に伝えられ、これが正倉院宝物のもとになったといわれています。

本展覧会では、おもに中国戦国時代から唐・元の時代の遺跡で出土した金・銀・ガラス作品を通して、その東西交流や正倉院への伝播、当時の東アジアにおける文化交流などを展覧します。「芝鹿文銀盤」「切子括碗」など正倉院宝物と同じ流れを汲む作品をはじめ、中国16の博物館・研究所から集められた世界初公開多数を含む120余点と、NHKが撮影した正倉院宝物のハイビジョン映像とで構成された本展を通じて、日中文化交流の軌跡の一端をご覧いただければ幸いです。

日中国交正常化20周年の記念すべき年に、日本文化の故郷ともいえる「正倉院」という素晴らしい響きを持つテーマで、この展覧会を開催できることは主催者一同喜びにたえません。

本展覧会の開催にあたり、多大のご助力をいただきました中国国家文物局・中国文物交流中心をはじめ、私たちの企画をご理解いただき貴重な所蔵資料を快くご出品いただきました中国の関係機関および白鶴美術館・出光美術館、ご後援いただきました諸官庁、諸機関、ご協賛・ご協力いただきました各社のみなさまに心から感謝申し上げます。

神戸市立博物館・中国文物交流中心

NHK神戸放送局・NHKきんきメディアプラン

出品目録

No.	作品名	時代	所蔵先
1	郢爰(楚国の金貨)	金郢爰	戦国 南京博物院
2	衡飾(馬車の横木のかざり)	金衡飾(2)	戦国 河北省文物研究所
3	犬の首輪	金銀猎犬項圈(2)	戦国 河北省文物研究所
4	戈鋌(戈のいしづき)	金戈鋌	戦国 河北省文物研究所
5	動物文飾	半球形浮彫金牌飾	戦国 河北省文物研究所
6	動物文飾	圓形金牌飾	戦国 河北省文物研究所
7	武士頭像飾	武士頭像金飾	戦国 河北省文物研究所
8	動物文飾	長方形金牌飾	戦国 河北省文物研究所
9	金獸	金獸	前漢 南京博物院
10	馬蹄金	馬蹄金	前漢 南京博物院
11	薬盒(医療用注水器)	銀薬盒	前漢 河北省博物館
12	ろうと(医療用)	銀漏斗形器	前漢 河北省博物館
13	耳飾	金耳飾(4)	前漢 遼寧省博物館
14	金龍	招絲金龍	後漢 定州市博物館
15	步揺冠	金冠飾	西晋 遼寧省博物館
16	短剣の鞘	金鏢刀柄	北燕 遼寧省博物館
17	耳飾	金耳墜(2)	北魏 大同市博物館
18	耳飾	金耳墜(2)	北魏 河北省文物研究所
19	唾壺	鍍金團花銀唾盂	唐 西安市文物園林局

No.	作 品 名	時代	所 蔵 先
20	盤	唐	西安市文物園林局
21	盤	唐	西安市文物園林局
22	高脚杯	唐	洛陽市文物工作隊
23	鎮	唐	山西省博物館
24	髮飾	唐	山西省博物館
25	金錠(金の地金)	唐	山西省博物館
26	鈔帶(革帯の飾り)	唐	山西省博物館
27	芝鹿文銀盤	唐	寛城県博物館
28	胡瓶	唐	寛城県博物館
29	東ローマ帝国の金貨	唐	西安市文物園林局
30	高台付盤	唐	鎮江市博物館
31	高台付盤	唐	鎮江市博物館
32	勺	唐	鎮江市博物館
33	匙	唐	鎮江市博物館
34	箸	唐	鎮江市博物館
35	酒籌(酒宴用遊戯具)	唐	鎮江市博物館
36	三足付瓶	唐	鎮江市博物館
37	台付盒	唐	鎮江市博物館
38	台付盒	唐	鎮江市博物館
39	蓮葉形蓋	唐	鎮江市博物館
40	半球形蓋	唐	鎮江市博物館
41	舍利塔	唐	鎮江市博物館
42	浄瓶(附銀簪)	北宋	定州市博物館
43	香炉	北宋	定州市博物館
44	舍利・舍利容器	北宋	西安市文物園林局
45	淳化元宝(金貨)	北宋	山西省博物館
46	高台付碗	遼	河北省博物館
47	十花卉形盤	遼	河北省博物館
48	櫛	遼	河北省博物館
49	舍利容器	金	河北省文物研究所
50	盒	元	南京博物院
51	トシボ珠	戦国	河北省文物研究所
52	耳杯(酒器)	前漢	河北省博物館
53	盤(皿)	前漢	河北省博物館
54	緑壁	前漢	広西壮族自治区博物館
55	盤(皿)	前漢	合浦県博物館
56	紺環	前漢	合浦県博物館
57	紺環	前漢	合浦県博物館
58	突起付環	前漢	合浦県博物館
59	碗	前漢	広西壮族自治区博物館
60	碗	前漢	合浦県博物館
61	珠飾	前漢	広西壮族自治区博物館
62	受皿付高脚杯	後漢	遼寧省博物館
63	碗	後漢	広西壮族自治区博物館
64	盤	後漢	広西壮族自治区博物館

No.	作 品 名	時代	所 蔵 先
65	瓶	後漢	洛陽市文物工作隊
66	杯	東晋	南京市博物館
67	切子碗断片	東晋	南京市博物館
68	杯	北燕	遼寧省博物館
69	切子括碗	北魏	山西省考古研究所
70	鉢	北魏	河北省文物研究所
71	高脚杯	隋	欽州市博物館
72	細頸瓶	唐	洛陽市文物工作隊
73	瓶	北宋	定州市博物館
74	杯	北宋	定州市博物館
75	瓶	北宋	定州市博物館
76	広口碗	北宋	定州市博物館
77	瓢形瓶	北宋	定州市博物館
78	碗	北宋	西安市文物園林局
79	瓶	北宋	遼寧省博物館
80	広口碗	清	遼寧省博物館
81	鼻煙壺(かぎたばこ入れ)	清	遼寧省博物館
82	鼻煙壺(かぎたばこ入れ)	清	遼寧省博物館
83	鼻煙壺(かぎたばこ入れ)	清	遼寧省博物館
84	鼻煙壺(かぎたばこ入れ)	清	遼寧省博物館
85	鼻煙壺(かぎたばこ入れ)	清	遼寧省博物館
86	鼻煙壺(かぎたばこ入れ)	清	遼寧省博物館

参 考 出 品

1	金製蟬文飾	六朝	白鶴美術館	
2	鍍金花鳥文銀製八曲長杯	重要文化財	唐	白鶴美術館
5	鍍金花鳥文六花形銀杯	重要文化財	唐	白鶴美術館
7	銀勺	唐	白鶴美術館	
8	鍍金花鳥文尺	唐	出光美術館	

(3) 第42回特別展

衣裳文化展『森英恵とパリ・オートクチュール』

・内 容／

「西洋と東洋の出会い」をテーマにした第4回神戸ファッションフェスティバルの主要事業として、日本のオートクチュールデザインの草分けである森 英恵氏の衣裳文化展を特別展として開催し、ファッションが重要な文化的要素であることを紹介した。東洋人としては初めて、また女性としても3人目のデザイナーとしてパリ・オートクチュール組合に加入した氏の足跡を一堂に展示し、また、数々の映画衣裳の写真、著名人の舞台衣裳やパリ・オートクチュール組合についての解説・展示ゾーンを設置して、本展に対する理解と親しみをより深めてもらう機会とした。

- ・会 場／南蛮美術館室、特別展示室1・2、ギャラリー・1階ホール
- ・会 期／平成4年10月21日(水)～12月6日(日)
- ・主 催／神戸市立博物館・神戸ファッション協会・兵庫県・神戸市・神戸商工会議所
- ・後 援／近畿通商産業局
- ・開館日数／40日
- ・入館者数／30,580人
- ・出品点数／209点
- ・セミナー／平成6年11月6日(金)

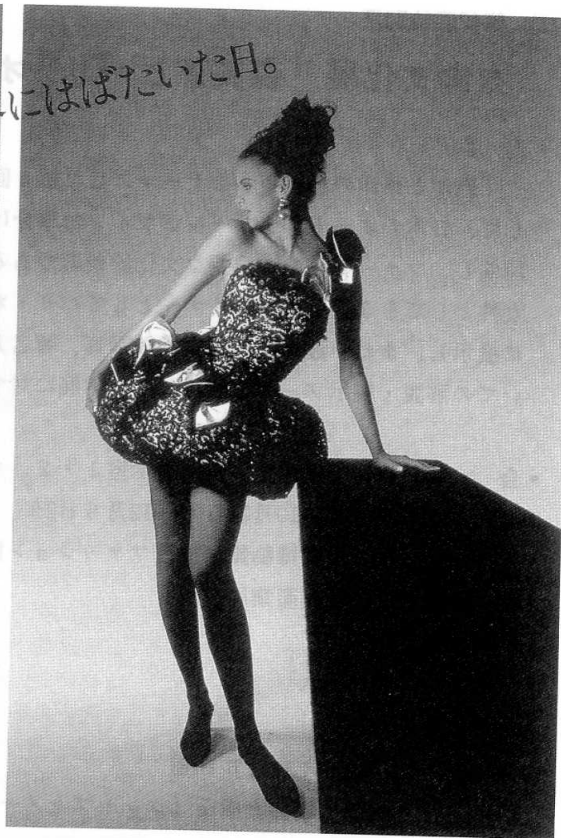
講師 坂井直樹氏（コンセプトメーカー）



ポスター



図録



フォーブル・サントノーレの石畳を、マドレーヌ寺院の方向へ歩く。今世紀初めから、世界のトップデザイナーが足跡を刻んできた道だ。日本大使公邸を過ぎ、もうすぐロワイヤル通りに出る手前に、森英恵のオートクチュール・メゾンがある。

メゾンがオープンした1977年は、日本にとって、アジアにとって、西欧ファッション界にとって歴史に残る年であった。伝統あるパリ・オートクチュール組合に、森英恵が迎えられたのである。東洋人としてはじめて、そして女性としてもココ・シャネル、マダム・グレらに続く快挙だった。

オートクチュールの歴史を語るには、マリー・アントワネットの時代まで遡ることになる。最初のクチュリエとして記録される宮廷デザイナー、ローズ・ベルタンの作るドレスは、ヴェルサイユ宮で大流行したという。パリ・オートクチュール組合が結成されたのは、それから約150年を経た1911年。シャネル、スキャパレリの時代だ。会員数20名前後、しかも例外的にしか女性の加入を認めない。パリ・オー

トクチュール組合は、まさに西欧文化そのものの象徴であった。森英恵は、1965年にニューヨークで初のコレクションを発表し、1975年にパリで初めてショーを開催した。以来、日本の、アジアのファッション界の先陣に立ち、ワールドワイドに活躍してきた。彼女の作品は、モナコの王妃やホワイトハウスのファースト・レディに愛され、世界中の女性たちに憧れの溜息をつかせる。東洋のエキゾシズムを武器としてデザインするのではなく、常に西欧のファッションと対等にわたりあって美を追求してきた。ポピュラリティと同時に成立する、高度なクリエイティビティ。世界的な評価のベースとなっているのは、森英恵個人のしなやかな才能に他ならない。森英恵こそ、東洋と西洋の出会いをテーマとした「第四回神戸ファッションフェスティバル」に、最もふさわしいクリエイターである。日本と西欧のアクセス都市として百数十年の歴史を持つ町、神戸。ここに、パリ・オートクチュール組合加入15周年を記念し、彼女のクチュリエとしての全足跡を公開する。



神戸市立博物館(〒650 神戸市中央区京町24番地 ☎078-391-0035)

日本ファッション界の蝶として世界的に知られる森 英恵氏は、1977年、東洋人で初めて、また女性としてもココ・シャネル、マダム・グレに続く3人目のデザイナーとして、パリ・オートクチュール組合に迎えられました。彼女は常に日本のオートクチュール・ファッションデザインの草分けとして、また優秀なワールド・ビジネス・ウーマンとして、積極的な活動を続けています。

今回、パリ・オートクチュール組合加入15周年を記念して、彼女の輝かしい足跡を物語る作品を一堂に集め、神戸市立博物館の特別展として公開いたします。また、数々の映画衣裳の写真、著名人の舞台衣裳の公開、パリ・オートクチュール組合についての解説・展示ゾーンも設置します。

神戸市立博物館は、明治の開港以来、洋風文化の窓口としてハイカラ神戸の中心地であり続ける旧外国人居留地の一角にあります。ギリシャ神殿風の外観をもち、港町・神戸にふさわしく「国際文化交流—東西文化の接触と変容」を基本テーマに、アジアや欧米諸国の様々な文化を紹介してきました。

日本女性としてのしなやかな感性を用い、ファーストレディに愛されるシックでインターナショナルなオートクチュール・コレクションを創作してきた彼女の人生そのものが、「第4回神戸ファッションフェスティバル(KFF)」の展開テーマ“西洋と東洋の出会い”を体現しているものであり、また昨年開催した『ジャンニ・ヴェルサーチ衣裳文化展』と同様、ファッションが重要な文化要素であることを伝えることができる展覧会として展開します。

【会場構成】

(a) 煌気——OZONE

ビーズのドレスほか、日本の美意識と西洋の伝統を合体させた森 英恵の代表作で構成。1階吹き抜け部分の空間を利用してインパクトのある演出を行います。

(b) スターズ&モード

森 英恵のデザイナー生活第一歩を飾った数々の映画衣裳ほか、舞台やバレエの衣裳、そしてスターのウェディングドレス等、現存しない作品の貴重な写真と、美空ひばりさんの舞台衣裳を約20点特別展示いたします。

(c) パリ・オートクチュールの世界

パリ・オートクチュール組合について各メゾンの写真や資料で紹介。また、パリ・オートクチュール組合加盟デザイナーの最新のオートクチュール・コレクションをVTRで紹介します。

(d) 光と影

白と黒をコンセプトにしたドレスとモノクロ写真で構成します。

(e) メインイベント

オートクチュール・デザイナーとして活動を始めてから最新のコレクションまで、3階全フロアを利用して展示。

クチュリエ森 英恵の全仕事を明らかにします。

◇ 森 英恵氏のプロフィール

- 1951年 新宿に洋裁店「ひよしや」を設立。
- 1950年代 日本映画の黄金期に500本以上の映画衣裳を手掛ける。
- 1965年 ニューヨークで初の海外コレクションを発表。
- 1975年 モナコ、ホテル・ローズのオープニングにグレース王妃の招きでファッション・ショーを開催。次いで、パリではじめてのファッション・ショーをホテル・モーリスで開催。
- 1977年 パリにオートクチュール・メゾン「ハナエ・モリ・パリ」を開店。
同年、初のオートクチュール・コレクションを発表、東洋人ではただ一人、パリ・オートクチュール組合への加入が認められる。
- 1985年 ミラノ・スカラ座でのオペラ「マダム・バタフライ」の衣裳を担当。
- 1986年 パリ・オペラ座でのバレエ「シンデレラ」の衣裳を担当。
- 1989年 モナコにブティックをオープン。
フランス政府からレジオン・ドヌール勲章シュバリエ章を受章。
日本政府から文化功労者を顕彰される。
デザイナー活動35周年を記念して、東京で「森 英恵展」を開催。
- 1990年 パリ、モナコで「森 英恵展」を開催。
- 1992年 バルセロナ・オリンピック日本選手団公式ユニフォームのデザインを担当。
著書に「ガラスの蝶」「あしたのデザイン」、作品集「HANAЕ MORI 1960-1989」

(4) 第43回特別展

銅鐸の世界—地の神への「いのり」—展

・内容／

当館で所蔵する唯一の国宝、桜ヶ丘銅鐸、銅戈は日本列島で初めて金属器を使用した弥生時代の最も重要な資料の一つであり、弥生時代の青銅器を当館の主要なテーマに位置づけ、その資料収集に努めてきた。今回の展示において、弥生時代の青銅器を中心に通観することによって「卑弥呼の時代」を中心とする時期の歴史を解明した。

また、同時に青銅器の鑄造方法を科学的に分析し、その復元を試みた。

- ・会場／南蛮美術館室、特別展示室1・2
- ・会期／平成5年1月23日(土)～3月7日(日)
- ・主催／神戸市立博物館・神戸新聞社
- ・開館日数／38日
- ・入館者数／15,320人
- ・出品点数／350点
- ・記念講演会 平成5年2月13日

講師 喜谷 美宣 神戸市立博物館学芸課長
演題 「銅鐸の世界」



ポスター

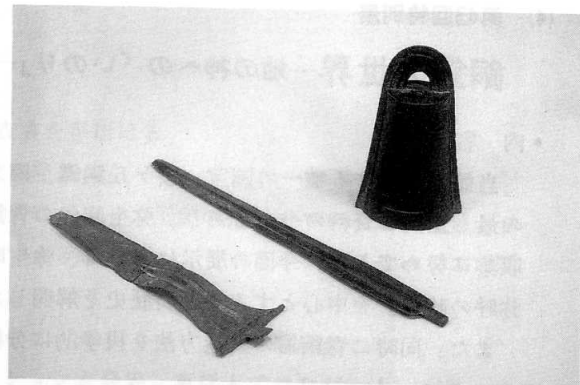


図録

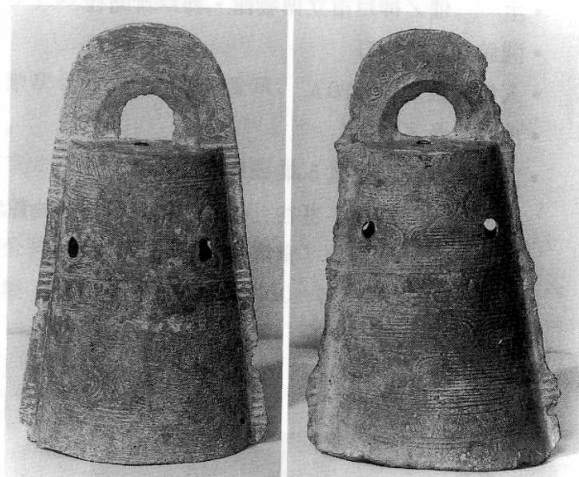
神戸市立博物館は昨年11月で満10歳になりました。その間に多くの展覧会が開催されましたが、今回の特別展では当館を代表する収蔵品の一つで常設展示の重要な部分を占める桜ヶ丘の銅鐸・銅戈に因んで「銅鐸の世界」展を開催します。

弥生時代は大陸から米作りとともに、鉄器や青銅器が伝えられた時代です。鉄器は武器や農耕具などの実用品として採用されましたが、青銅器は鉄器に比べて強靱さで劣るために実用品としてではなく、祭祀の道具として日本列島で発達しました。その代表格が銅鐸で、大陸ではカウベル(牛の首につり下げるベル)だったものが、日本列島では牧畜が発達しなかったために本来の機能が失われました。しかし、得体の知れない音をたてるベルは神秘的に満ちたものであったと考えられ、大陸や朝鮮半島ではなんの装飾もなくせいぜい10cmほどのものが、表面を流水文や袈裟襷文で飾りたてられ、ついには1mをはるかに上回る「巨大な祭器」になりました。

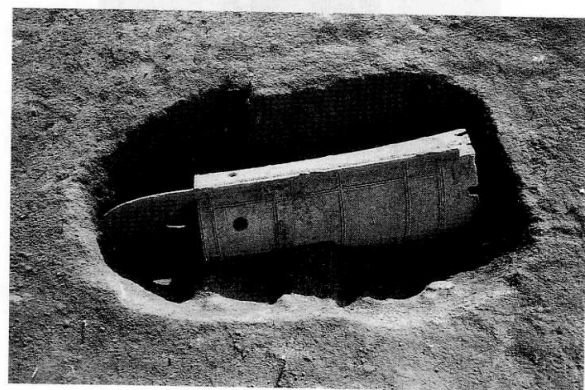
今回の特別展では130点ほどの銅鐸を中心に、銅戈・銅剣・銅矛など弥生時代の祭器を約350件展示します。



広島市東区福田出土 銅鐸・銅戈・銅剣



大阪府茨木市東奈良で出土した鋳型で鋳造された兄弟の銅鐸
(左:香川県善通寺市我拝師山銅鐸 右:大阪府豊中市桜塚銅鐸)



前原銅鐸の出土状況



静岡県浜松市前原銅鐸

特別展記念講演会
『銅鐸の世界』喜谷美宣 当館学芸課長
'93年2月13日(土)午後2時から 会場/当館講堂

神戸市立博物館開館10周年記念 特別展
神戸新聞創刊95周年記念

銅鐸の世界

—地の神への「いのり」—

'93年1月23日(土)~3月7日(日)

会場

第1会場 (3階・特別展示室1)

- ① プロローグ——青銅器の伝播
- ② 銅鐸の変遷

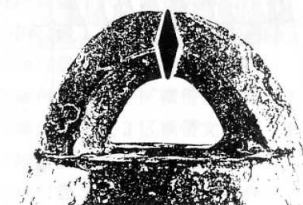
第2会場 (2階・南蛮美術館室)

- ③ 銅鐸のまつり
- ④ 銅鐸に描かれた絵画
- ⑤ 銅鐸の埋納——発掘調査からわかったこと
- ⑥ 銅鐸の模造——小銅鐸・小型銅鐸・鐸形製品
- ⑦ 銅鐸の鋳造

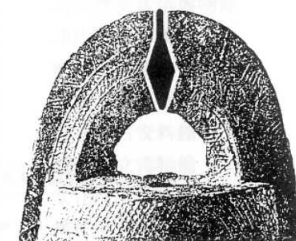
第3会場 (2階・特別展示室2)

- ⑧ 銅鐸の周辺——銅剣・銅矛・銅戈を中心に

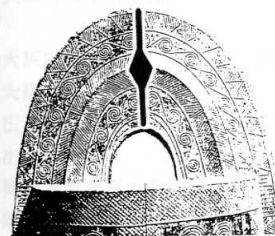
鈕(吊り手)でみる
銅鐸の変遷



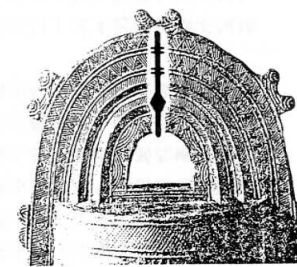
最古段階
(菱環鈕式)



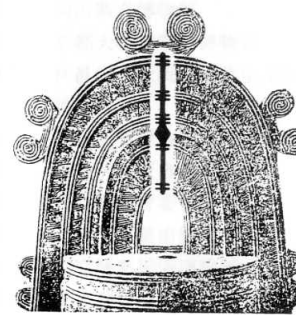
古段階
(外縁付鈕式)



中段階
(扁平鈕式)



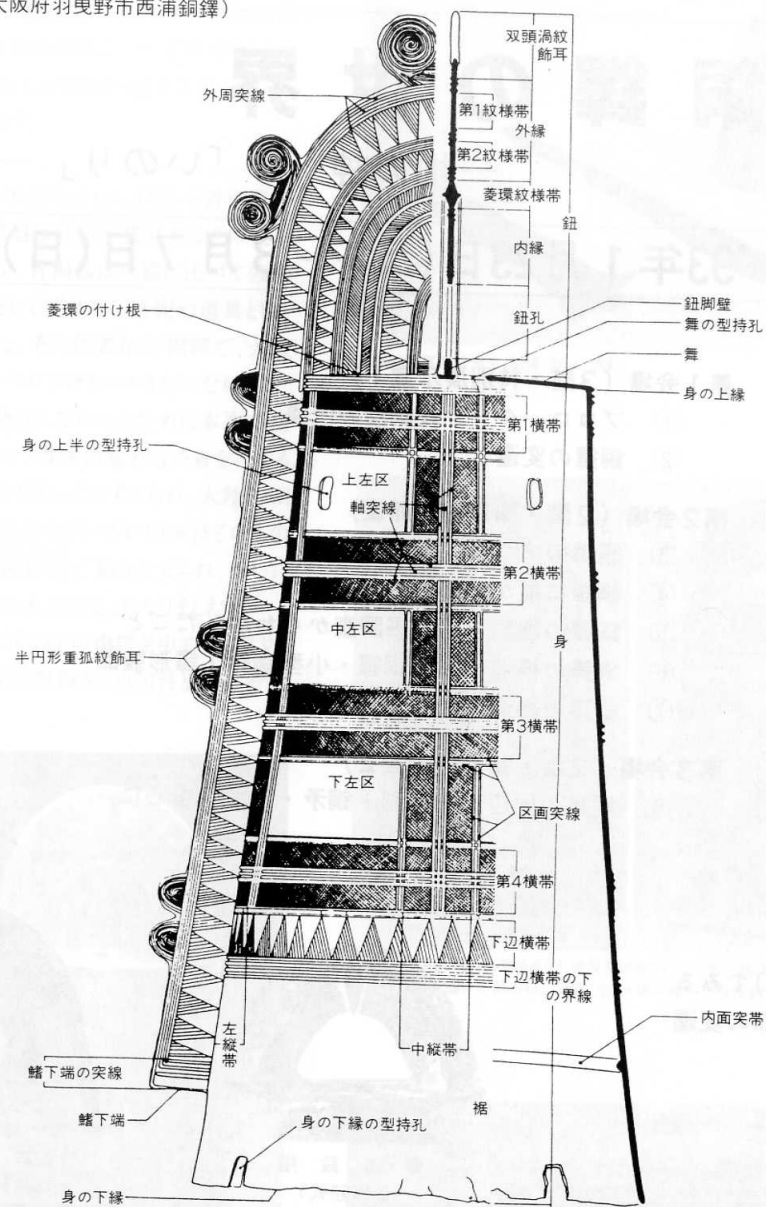
新段階1式
(突線鈕1式)



新段階5式
(突線鈕5式)

〈銅鐸の部分名称〉

(原図・大阪府羽曳野市西浦銅鐸)



出品目録

	出土地	資料名	点数	所蔵者
①	プロローグ—青銅器の伝播			
1	中国・伝河南省安陽	饕餮文鈴	1	京都大学文学部博物館
2	中国	銅鈴	2	〃
3	中国・遼寧省煙台	銅戈	1	東京大学考古学研究室
4	中国	銅戈	1	京都大学文学部博物館
5	中国	銅戈	1	〃
6	中国・伝河南省安陽	銅矛	2点のうち1	〃
7	中国	桃式青銅劍	1	東京大学考古学研究室
8	中国	桃式青銅劍	1	京都大学文学部博物館
9	中国	銅鏃	3	〃
10	中国	銅鏃	3	〃
11	韓国・忠清南道大田市槐亭洞	朝鮮式銅鐸(複製)	2	神戸市立博物館
12	韓国・慶尚北道月城郡入室里	朝鮮式銅鐸(複製)	1	〃
13	韓国・大邱市坪里洞	朝鮮式銅鐸(複製)	2	〃
14	韓国・平壤市楽浪区域貞柏洞1号墓	朝鮮式銅鐸(複製)	3	〃
15	韓国・伝平壤	朝鮮式銅鐸鑄型(複製)	1	〃
16	朝鮮・平安南道	銅劍	1	東京大学考古学研究室
17	◎長崎県対馬シゲノダン	馬鐸	1	国立歴史民俗博物館
		銅劍	1	〃
		銅矛	1	〃
18	大分県宇佐市別府	朝鮮式銅鐸(複製)	1	神戸市立博物館
19	福岡市早良区吉武高木3号木棺	細形銅矛(複製)	1	大阪府立弥生文化博物館
		細形銅戈(複製)	1	〃
		細形銅劍(複製)	2	〃
		多鈕細文鏡(複製)	1	〃
②	銅鐸の変遷			
20	出土地不詳(神田孝平旧蔵)	菱環鈕1式横帯文銅鐸	1	東京国立博物館
21	兵庫県洲本市中川原	菱環鈕2式横帯文銅鐸(複製)	1	国立歴史民俗博物館
22	岡山県勝央町念仏塚	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	津山郷土博物館
23	岐阜県大垣市十六町	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	岐阜県博物館
24	□伝出雲	外縁付鈕1式2区横帯文銅鐸	1	八雲本陣記念財団
25	◎伝伯	外縁付鈕1式1区横帯文銅鐸	1	辰馬考古資料館
26	伝岡山市足守	外縁付鈕1式3区横帯文銅鐸	1	東京国立博物館
27	兵庫県山崎町青木	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	文化庁(山崎町教育委員会)
28	奈良県平群町初香山	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	橿原考古学研究所
29	兵庫県豊岡市気比	1号 外縁付鈕2式2区流水文銅鐸(複製)	1	神戸市立博物館
20	□伝淡路	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	本興寺
31	岡山市雄町	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	岡山県立博物館
32	伝大和	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	京都大学文学部博物館
33	○大阪府泉南市信達	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	林昌寺(大阪府立弥生文化博物館)
34	○大阪府四條畷	2号 扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	関西大学考古学等資料室
35	大阪府岸和田市流木	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	個人(大阪市立博物館)
36	広島県世羅町黒川	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	広島県教育委員会
37	出土地不詳	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	大阪市立美術館
38	神戸市東灘区生駒	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	国立歴史民俗博物館
39	○岡山市藤井安仁神社裏	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	安仁神社(岡山県立博物館)
30	神戸市東灘区渦森	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	東京国立博物館
41	出土地不詳	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	個人(大阪市立美術館)

出土地	資料名	点数	所蔵者
42 岡山市鳥坂山兼基	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	岡山県立博物館
43 □徳島県小松島市勢合	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	個人(徳島県立博物館)
44 □兵庫県一宮町岡賀	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	辰馬考古資料館
45 伝播磨	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	大阪市立博物館
46 神戸市垂水区投上	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸(複製)	1	神戸市立博物館
47 兵庫県西宮市津門	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸(復元)	1	西宮市立郷土資料館
48 □大阪府八尾市恩智都塚山	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	来恩寺(大阪市立博物館)
49 福井県遠敷郡上中町野木	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	東京大学考古学研究室
50 ○伝奈良県天理市高瀬川	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	逸翁美術館
51 岐阜県萩原町上呂 2号	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸(複製)	1	岐阜市歴史博物館
52 ◎岡山県井原市猿森	扁平鈕2式12区袈裟襷文銅鐸	1	辰馬考古資料館
53 奈良県天理市石上 1号	突線鈕1式2区流水文銅鐸	1	宮内庁
54 出土地不詳(明大3号)	突線鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	明治大学考古学博物館
55 ◎徳島県阿南市田村谷	突線鈕2式突線6区袈裟襷文銅鐸	1	個人(徳島県立博物館)
56 徳島県阿南市畑田	突線鈕2式近畿I B式銅鐸	1	国立歴史民俗博物館
57 和歌山県南部川村久地峠	突線鈕2式近畿I式銅鐸	1	奈良国立博物館
58 兵庫県川西市満願寺	突線鈕2式近畿I式銅鐸	1	個人(大阪城天守閣)
59 ○出土地不詳(神田孝平旧蔵)	突線鈕2式近畿I C式銅鐸	1	関西大学考古学等資料室
60 大阪府高槻市天神山	突線鈕2式近畿I A式銅鐸	1	東京大学教養学部美術博物館
61 福井県三方町向笠	突線鈕2式近畿I A式銅鐸	1	国立歴史民俗博物館
62 大阪府箕面市如意谷	突線鈕3式近畿II B式銅鐸	1	文化庁(箕面市教育委員会)
63 京都府八幡町清水井	突線鈕3式近畿II C式銅鐸	1	正木美術館
64 静岡県三ヶ日町釣荒神山 2号	突線鈕3式三遠式銅鐸	1	奈良国立博物館
65 静岡県細江町中川岡地船渡 1号	突線鈕3式三遠式銅鐸	1	東京大学総合資料館
66 三重県上野市比土	突線鈕4式近畿III A式銅鐸	1	埼玉県立博物館
67 出土地不詳	突線鈕4式近畿III C式銅鐸	1	天理参考館
68 ○伝近江	突線鈕4式近畿III B式銅鐸	1	名古屋博物館
69 愛知県小坂井町伊奈 2号	突線鈕4式三遠式銅鐸	1	東京国立博物館
70 3号	突線鈕4式三遠式銅鐸	1	東京国立博物館
71 和歌山県南部川村雨請山	突線鈕5式近畿IV B式銅鐸	1	東京国立博物館
72 和歌山県田辺市矢矧	突線鈕5式近畿IV式銅鐸	1	田辺市教育委員会
73 兵庫県川西市栄根	突線鈕5式近畿IV B式銅鐸	1	東京国立博物館
74 愛知県田原町谷ノ口	突線鈕5式近畿IV C式銅鐸(複製)	1	岐阜市歴史博物館
③ 銅鐸のまつり			
75 和歌山市太田黒田 舌付	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	和歌山市教育委員会(和歌山市立博物館)
76 ◎伝土佐	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	辰馬考古資料館
77 徳島県阿南市長者ヶ原 1号	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	徳島県立博物館
78 島根県鹿島町志谷奥 1号	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	文化庁(八雲立つ風土記の丘資料館)
2号	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
	中細形銅剣	6	"
79 島根県斐川町荒神谷 1号	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸(複製)	1	神戸市立博物館
5号	菱環鈕1式横帯文銅鐸(複製)	1	"
◎	中細形銅剣	358のうち10	文化庁(島根県埋蔵文化財センター)
80 ◎広島市福田木ノ宗山	外縁付鈕2式2区横帯文銅鐸	1	個人
◎	中細形銅剣	1	"
◎	中広形銅戈	1	"
81 徳島県国府町西矢野源田 1号	突線鈕1式6区袈裟襷文銅鐸	1	東京国立博物館
2号	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	"
	中広形銅剣	1	"
82 ◎奈良県御所市名柄	外縁付鈕1式横帯文・流水文銅鐸	1	"

出土地	資料名	点数	所蔵者
83 ◎神戸市灘区桜ヶ丘 6号	多鈕細文鏡	1	東京国立博物館
◎	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	神戸市立博物館
◎	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
◎	大阪湾型銅戈	7	"
84 滋賀県野洲町大岩山 I-1号	突線鈕5式近畿IV B式銅鐸(複製)	1	辰馬考古資料館
I-2号	突線鈕3式近畿II A式銅鐸(複製)	1	国立歴史民俗博物館
◎	突線鈕3式近畿II A式銅鐸	1	天理参考館
I-3号	突線鈕2式近畿I A式銅鐸	1	MOA美術館
I-9号	突線鈕2式近畿I C式銅鐸	1	滋賀県立安土城考古博物館
◎	突線鈕2式近畿I C式銅鐸	1	"
◎	突線鈕3遠式銅鐸	1	"
◎	突線鈕1式全面1区流水文銅鐸	1	"
◎	伝滋賀県野洲町大岩山	1	国学院大学考古学資料館
85 奈良市秋篠 1号	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	東京国立博物館
2号	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
3号	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
86 兵庫県日高町久田谷	突線鈕5式近畿IV式銅鐸片(複数)	117	神戸市立博物館
87 兵庫県豊岡市九日市上町女代神社	突線鈕2式近畿I式銅鐸片	1	豊岡市立郷土資料館
88 徳島市庄	剣形木製品		徳島市教育委員会(徳島県立博物館)
89 奈良県田原本町唐古	剣形木製品	3	橿原考古学研究所
90 大阪府高槻市安満	剣形木製品	1	高槻市埋蔵文化財センター
91 大阪府東大阪市鬼虎川	剣形木製品	1	東大阪市立郷土博物館
92 大阪府八尾市恩智	戈形木製品	1	大阪文化財センター
93 神戸市西区玉津田中	戈形木製品	1	兵庫県教育委員会
94 愛知県清洲町朝日	剣形木製品	2	愛知県埋蔵文化財センター
	鐵形木製品	2	"
④ 銅鐸に描かれた絵画			
95 出土地不詳(伊達弥助旧蔵)	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	東京国立博物館
96 出土地不詳	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	辰馬考古資料館
97 ◎兵庫県豊岡市気比 2号	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	東京国立博物館
4号	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸(複製)	1	神戸市立博物館
98 □大阪府堺市陶器山	外縁付鈕2式3区流水文銅鐸	1	個人(大阪市立美術館)
99 伝越前(明大1号)	外縁付鈕2式3区流水文銅鐸	1	明治大学考古学博物館
100 神戸市東灘区森北町	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	東京国立博物館
101 ○伝近江	外縁付鈕1式2区流水文銅鐸	1	辰馬考古資料館
102 三重県鈴鹿市磯山	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	東京国立博物館
103 兵庫県緑町倭文	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	"
大阪府八尾市恩智垣内山	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	"
◎奈良市秋篠 4号	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	"
◎三重県津市神戸	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	"
104 ◎神戸市灘区桜ヶ丘 5号	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	神戸市立博物館
105 ◎	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
106 伝讃岐	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸(複製)	1	"
107 静岡県豊岡村敷地 1号	突線鈕3式三遠式銅鐸	1	東京国立博物館

出土地	資料名	点数	所蔵者
108 静岡県細江町小野常道	突線鈕3式三遠式銅鐸	1	東京国立博物館
109 奈良県田原本町唐古	絵画土器		橿原考古学研究所
110 奈良県天理市清水風 ※福井県春江町井向 1号	外縁付鈕1式2・3区流水文銅鐸(写真)	1	辰馬考古資料館
⑤ 銅鐸の埋納—発掘調査からわかったこと			
111 岡山市高塚	突線鈕1式3区流水文銅鐸	1	岡山県古代吉備文化財センター
112 徳島市名東	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	徳島市教育委員会
113 和歌山市有本	扁平鈕 式全面1区流水文銅鐸	1	和歌山県教育委員会(紀伊風土記の丘)
114 神戸市東灘区本山	扁平鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	神戸市教育委員会
115 □兵庫県春日町野々間 1号	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	春日町歴史民俗資料館
□ 2号	扁平鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
116 ◎大阪府羽曳野市西浦	突線鈕4式近畿III B式銅鐸	1	文化庁(羽曳野市教育委員会)
117 大阪府八尾市跡部	突線鈕1式全面1区流水文銅鐸	1	八尾市歴史民俗資料館
118 奈良県桜井市大福	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	桜井市立埋蔵文化財センター
119 京都府木津町相楽山	扁平鈕 式6区袈裟襷文銅鐸	1	木津町教育委員会(京都府立山城郷土資料館)
120 愛知県清洲町朝日	突線鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	愛知県埋蔵文化財センター
121 静岡県細江町不動平	突線鈕3式近畿II A式銅鐸	1	細江町教育委員会
122 静岡県細江町穴の谷	突線鈕3式近畿II C式銅鐸	1	"
123 静岡県浜松市前原Ⅷ	突線鈕3式三遠式銅鐸	1	浜松市博物館
124 静岡県細江町才四郎谷	突線鈕3式近畿II式銅鐸(複製)	1	細江町教育委員会
⑥ 銅鐸の模造—小銅鐸と鐸形製品			
125 岡山県落合町下市瀬	小型銅鐸	1	落合町教育委員会
126 岡山市足守川矢部南向	小型銅鐸	1	岡山県古代吉備文化財センター
127 □兵庫県三木市細川町高篠	小型銅鐸	1	三木市教育委員会
128 大阪府柏原市本郷	小銅鐸	1	柏原市教育委員会
129 大阪府川南町寛弘寺	小銅鐸	1	大阪府教育委員会(大阪府立弥生文化博物館)
130 ○滋賀県草津市志那町	小型銅鐸	1	個人(京都大学)
131 千葉県市原市川焼台	小型銅鐸 (1号)	1	千葉県文化財センター
	小型銅鐸 (2号)	1	"
132 千葉県袖ヶ浦市文脇	小型銅鐸	1	"
133 福岡県前原町浦志A	小銅鐸(複製) 舌付	1	神戸市立博物館
134 福岡県春日市小倉	小銅鐸	1	九州大学考古学研究室(九州歴史資料館)
135 福岡県春日市岡本4丁目	小銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
136 福岡県春日市須玖大谷	小銅鐸鑄型(複製)	1	春日市教育委員会
137 福岡県春日市須玖坂本	小銅鐸型未製品	1	"
	小銅鐸鑄型中子	2	"
138 佐賀県神埼町川寄吉原	鐸形土製品(複製)	1	神戸市立博物館
139 大阪府東大阪市若江瓜生堂	鐸形土製品	1	大阪文化財センター
140 大阪府八尾市亀井	鐸形土製品	1	"
141 兵庫県山崎町田井	鐸形土製品	1	山崎町教育委員会
142 兵庫県赤穂市有年原田中	鐸形土製品	2	赤穂市教育委員会
143 岡山市百間川原尾島	鐸形土製品	2	岡山県古代吉備文化財センター
144 徳島県石井町高川原	鐸形土製品	1	石井町教育委員会(徳島県立博物館)

出土地	資料名	点数	所蔵者
145 愛知県西尾市住崎	鐸形石製品	1	名古屋博物館
⑦ 銅鐸の鑄造			
146 大阪府茨木市東奈良 1号	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
147 ◎大阪府茨木市東奈良 2号	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸鑄型	1	文化庁(茨木市立文化財資料館)
	香川県善通寺市我拝師山	1	文化庁(瀬戸内海歴史民俗資料館)
	大阪府豊中市桜塚	1	原田神社(大阪市立美術館)
148 ◎大阪府茨木市東奈良 3号	外縁付鈕2式縦横4区流水文銅鐸鑄型	1	文化庁(茨木市立文化財資料館)
	◎兵庫県豊岡市気比	3号	東京国立博物館
149 ◎神戸市灘区桜ヶ丘 1号	外縁付鈕1式2区流水文銅鐸	1	神戸市立博物館
	◎鳥取県泊 舌付	1	東京国立博物館
	◎滋賀県守山市新庄	1	倉敷考古館
	◎出土地不詳	1	辰馬考古資料館
	◎出土地不詳	1	辰馬考古資料館
150 ◎神戸市灘区桜ヶ丘 2号	外縁付鈕1式2区流水文銅鐸	1	神戸市立博物館
	大阪府岸和田市神於	1	京都大学文学部博物館
151 ◎神戸市灘区桜ヶ丘 3号	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	神戸市立博物館
	◎鳥取県岩美町上屋敷	1	京都国立博物館
152 兵庫県西淡町慶野上ノ御堂	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	個人
153 □兵庫県宝塚市中山 1号	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	個人
□ 2号	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
154 奈良市山町	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	奈良国立博物館(橿原考古学研究所)
	徳島県川内町榎瀬	1	徳島県立博物館
155 奈良県天理市石上 2号	突線鈕1式2区・全面1区流水文銅鐸(複製)	1	辰馬考古資料館
	◎伝大和	1	辰馬考古資料館
156 佐賀県鳥栖市安永田	外縁付鈕式横帯文銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
157 佐賀県鳥栖市本行	外縁付鈕式横帯文銅鐸鑄型(写真)	1	鳥栖市教育委員会
158 福岡県博多区赤穂ノ浦	外縁付鈕式銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
159 兵庫県姫路市名古屋	扁平鈕式4区袈裟襷文銅鐸鑄型	1	姫路市教育委員会
160 兵庫県姫路市今宿丁田	扁平鈕式4区袈裟襷文銅鐸鑄型	1	"
161 □兵庫県赤穂市上高野	扁平鈕式銅鐸鑄型	1	赤穂市立歴史博物館
162 神戸市西区西神65地点	扁平鈕式銅鐸鑄型	2	神戸女子大学遺跡調査会
163 神戸市中央区楠・荒田	銅鐸鑄型?	1	神戸市教育委員会
164 兵庫県三田市平方	銅鐸鑄型	2	兵庫県教育委員会
165 大阪府東大阪市鬼虎川	外縁付鈕式袈裟襷文銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
166 大阪府八尾市亀井	銅鐸鑄型?	1	大阪文化財センター
167 奈良県田原本町唐古鍵 1号	扁平鈕式流水文銅鐸鑄型	1	橿原考古学研究所
2号	扁平鈕式銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
168 京都府向日市鶏冠井	外縁付鈕式銅鐸鑄型	1	向日市教育委員会
169 福井県三国町加戸下屋敷	扁平鈕式銅鐸鑄型(複製)	1	神戸市立博物館
170 ◎出土地不詳	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	辰馬考古資料館
171 伝徳島県吉野川沿岸	外縁付鈕2式2区流水文銅鐸	1	天理参考館
172 ○大阪府堺市浜寺	扁平鈕2式6区袈裟襷文銅鐸	1	堺市博物館
173 □京都市梅ヶ畑向地町 1号	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	京都府総合資料館
□京都市梅ヶ畑向地町 2号	外縁付鈕1式4区袈裟襷文銅鐸	1	"
□京都市梅ヶ畑向地町 3号	外縁付鈕2式4区袈裟襷文銅鐸	1	"

出土地	資料名	点数	所蔵者
□京都市梅ヶ畑向地町 4号	外縁付鈕1式4区袈裟摺文銅鐸	1	京都府総合資料館
174 愛知県小坂井町伊奈 1号	突線鈕3式三遠式銅鐸	1	東京国立博物館
⑧ 銅鐸の周辺—銅剣・銅矛・銅戈を中心に			
175 佐賀県唐津市宇木汲田61号甕棺	細形銅剣	1	九州大学考古学研究室
176 129号甕棺	細形銅剣	1	"
177 高知県吾川郡伊野町八田・岩滝	細形銅剣	1	明治大学考古学博物館
178 伝広島県内	細形銅剣	1	八雲立つ風土記の丘資料館
179 福岡県春日市岡本町須玖岡本B地点1号甕棺	細形銅剣	1	京都大学文学部博物館
180 大分県玖珠郡玖珠町仲平	細形銅剣	1	天理参考館
181 佐賀県神埼郡神埼町吉野ヶ里	細形銅剣(複製)	1	佐賀県教育委員会
182 山口県大津郡油谷町向津具	有柄銅剣(複製)	1	東京大学考古学研究室
183 佐賀県神埼郡神埼町吉野ヶ里	有柄銅剣(複製)	1	佐賀県教育委員会
184 □伝島根県横田町横田八幡宮境内	中細形銅剣	1	横田八幡宮(八雲立つ風土記の丘資料館)
185 兵庫県西淡町古津呂	中細形銅剣	13	国立歴史民俗博物館
186 福岡県岡垣町	中広形銅剣	1	九州大学考古学研究室
187 愛媛県丹原町古田	平形銅剣	1	京都国立博物館
188 福岡県津屋崎町勝浦	平形銅剣	1	天理参考館(39-19)
189 愛媛県新居浜市中荻町横山	平形銅剣	1	関西大学考古学資料室
190 兵庫県上郡町別名	平形銅剣	3	有年考古館
191 岡山県倉敷市児島瑜珈山	平形銅剣	1	倉敷考古館
192 ○徳島県神山町左右山	平形銅剣	2	神山町教育委員会(徳島県立博物館)
193 佐賀県東背振村西石動	銅剣	1	大阪市立博物館
194 山口県城南村宿井	銅剣	1	"
195 佐賀県唐津市宇木汲田 112号甕棺付近	細形銅矛	1	九州大学考古学研究室
196 熊本県植木町今古閑	中細形銅矛	2	京都国立博物館
197 □佐賀県三田川町目達原桜馬場	中広形銅矛	3	個人(佐賀県立博物館)
□	中広形銅矛	1	三田川町教育委員会(佐賀県立博物館)
198 伝対馬	中広形銅矛	1	大阪市立博物館
199 伝備前	中広形銅矛	1	京都大学文学部博物館
200 愛媛県川之江市金生町下分金生川床	中広形銅矛	1	奈良国立博物館
201 長崎県豊玉町佐志賀黒島	広形銅矛	2	"
202 福岡県那珂川町安德原田	広形銅矛	1	京都大学文学部博物館
203 伝福岡県那珂川町安德原田	広形銅矛	1	明治大学考古学博物館
204 伝福岡県豊前市河原田	広形銅矛	1	東京大学考古学研究室
205 大分県臼杵市中尾坊主山	広形銅矛	1	大阪市立美術館
206 伝福岡県前原町三雲	広形銅矛	7点のうち5	京都国立博物館
207 福岡県春日市岡本町久我氏屋敷内	細形銅矛	1	大阪市立博物館
208 佐賀県唐津市宇木汲田58号甕棺	細形銅矛	1	天理参考館
209 福岡県岡垣町山田大坪	中細形銅矛	1	九州大学考古学研究室
210 熊本県大津町真木西津留	中細形銅矛	1	京都大学文学部博物館
211 大分県宇佐市佐高高校校庭	中広形銅矛	2	京都国立博物館
212 福岡県糸田町宮山大宮神社	中広形銅矛	1	明治大学考古学博物館
213 大分県日出町藤原大津	中広形銅矛	1	天理参考館
214 伝福岡県浮羽郡内	広形銅矛	1	東京大学考古学研究室
215 大阪府東大阪市瓜生堂	大阪湾型銅戈	1	神戸市立博物館
216 兵庫県西宮市甲山山頂	大阪湾型銅戈	1	大阪文化財センター(大阪府立弥生文化博物館)
			西宮市立郷土資料館

出土地	資料名	点数	所蔵者
217 ○神戸市東灘区保久良神社境内	大阪湾型銅戈	1	保久良神社(京都国立博物館)
218 □兵庫県赤穂市奥山	小型 製内行花文鏡	1	有年考古館
219 兵庫県西淡町 田	小型 製内行花文鏡	1	兵庫県教育委員会
220 兵庫県揖保川町半田山1号墓	小型 製内行花文鏡	1	"
221 兵庫県龍野市白鷺山	小型 製内行花文鏡	1	龍野市教育委員会
222 □兵庫県尼崎市下坂部	小型 製重圈文素文鏡	1	尼崎市教育委員会
223 大阪府八尾市亀井	小型 製重圈文日光鏡	1	大阪文化財センター
224 広島市西山	巴形銅器	1	広島大学考古学研究室
225 滋賀県虎姫町五村	巴形銅器	1	滋賀県立安土城考古博物館
226 ◎佐賀県唐津市千々賀	銅釧(無鉤)	8点のうち2	大阪市立博物館
227 兵庫県尼崎市田能	銅釧(無鉤)	1	尼崎市立田能資料館
228 大阪府要池	銅釧(有鉤)	1	大阪府教育委員会(大阪府立弥生文化博物館)
229 静岡県清水市矢崎	銅釧(有鉤)	1	京都大学文学部博物館
230 大阪府東大阪市巨摩廃寺	銅釧	1	大阪文化財センター
231 兵庫県芦屋市会下山	漢式三翼鏃	1	芦屋市立美術博物館
232 大阪府岸和田市下池田	銅鏃	3	岸和田市教育委員会
233 奈良県大宇陀町調子	銅鏃	1	橿原考古学研究所
234 佐賀県東背振村石動	中細形銅戈鏃型	1	京都大学文学部博物館
235 出土地不詳	中細形銅戈鏃型	1	明治大学考古学博物館
236 ◎福岡県岡県村大字吉木	中広形銅戈鏃型	1	東京大学総合資料館
237 福岡県春日市岡本町須玖	中広形銅戈鏃型	1	東京大学考古学研究室
238 福岡県春日市岡本町皇后峰	広形銅矛鏃型(複製)	2	春日市教育委員会
239 ◎大阪府茨木市東奈良	銅戈鏃型	2	文化庁(茨木市立文化財資料館)
◎	フイゴ羽口	3	"
240 ◎福岡県前原町三雲屋敷田	広形銅戈鏃型	1	九州大学考古学研究室
241 佐賀県神埼町吉野ヶ里	四面鏃型	1	佐賀県教育委員会
	四面鏃型中子	1	巴形銅器鏃型(複製)
	両耳銅矛鏃型(複製)	1	細形銅剣鏃型(複製)
	不明銅器鏃型(複製)	1	鏃型未製品
	青銅片	1	錫片
	スラッグ	一括	炬壁?片
	羽口	2	埴塼
242 佐賀県三田川町田手二本黒木	銅剣鏃型	1	三田川町教育委員会
243 福岡県春日市須玖坂本	内行花文鏡鏃型(複製)	1	春日市教育委員会
	銅矛鏃型湯口	2	"
	取瓶(複製)	1	"
244 福岡県春日市須玖永田	広形銅矛鏃型湯口	1	"
	銅滓	5	"
245 福岡県春日市バンジャク	銅矛鏃型湯口	1	"
246 福岡県春日市駿河	銅矛鏃型	1	"
247 福岡県春日市赤井手	銅矛鏃型	1	"
248 兵庫県尼崎市田能	銅剣鏃型	1	尼崎市立田能資料館
249 大阪府高槻市芝生	鏃型破片	1	高槻市教育委員会
250 大阪府東大阪市瓜生堂	銅釧鏃型	1	東大阪市文化財協会
251 大阪府東大阪市瓜生堂	銅戈鏃型	1	大阪文化財センター

2 企画展示

(1) 企画展

一定のテーマを設定し、本館の収蔵資料を中心に調査研究を行い、その成果を企画展として展示する。

展覧会名	会期	内容
新収蔵品展	4. 7. 25～8. 30	平成3年度新収蔵資料
中世の摺経展 —出版文化のあゆみ—	4. 9. 12～10. 11	平安後期にはじまった奈良などでの仏典出版事業が地方に及ぶことを通して地方文化の発展を概観
源平錦絵展	4.12.16～5.1.15	源平ゆかりの地として、資料収集に努めているが、今回はじめての纏まった展示

○新収蔵品展 平成4年7月25日～平成4年8月30日

〈出品目録〉

No	資料名	員数	作者	時代	備考
1	子持脚付壺	1点		古墳時代後期	
2	短頸壺	1点		奈良時代	
3	半円方形帯神獸鏡	1面		西晋時代	
4	桜ヶ丘4号銅鐸(修理前・修理後/複製)	2口		(弥生時代中期)	
5	神護寺鐘銘拓本	4枚		(貞観17年(875))	
6	高野山敵味方供養碑拓本	1幅		(慶長4年(1599))	
7	高雲寺文書	16通のうち		文明14年(1482)～	
8	松右衛門普請方用具之図記	1冊		文化10年(1813)	
9	船名額「栄幸丸」	1点		江戸時代後期～明治時代	
10	兵庫県関係文書	3冊		明治時代初期～中期	
11	日本名所風俗写真帳	1冊		明治時代中期～後期	
12	着色スライド	1件	高木庭次郎	明治時代中期～後期	
13	立体写真「JAPAN」	1件		明治時代中期～後期	
14	訓蒙窮理図解 初編 上・下	2冊	福澤諭吉纂輯	明治元年(1868)	村上幸雄氏寄贈
15	増補掌中語通便覧	1帖	上田貞典輯	明治6年(1873)	村上幸雄氏寄贈
16	現下の国状に対する国民の覚悟	1枚		大正14年(1925)	清酒成躬氏寄贈
17	ALBUM	1冊		昭和初期	迫田 隆氏寄贈
18	神戸市新図	1枚	高梨東神堂	明治35年(1902)	
19	岡本村之図	1幅		大正8年(1919)	
20	摂津国菟原郡第6区野寄村改租図	1幅		大正8年(1919)	
21	神戸市水道全図	1枚	神戸市役所	大正10年(1921)	
22	神戸市全図	1枚	神戸商工課原図	大正12年(1923)	
23	最新踏測 神戸-明石付近地図	1枚	赤西万有堂	昭和4年(1929)	
24	北摂山群通路図	1枚	木藤精一郎著	昭和初期	松本正美氏寄贈
25	仮製二万分一地形図 明石	1枚	陸軍部測量局	明治23年(1890)	
26	仮製二万分一地形図 須磨村	1枚	陸地測量部	明治24年(1891)	
27	仮製二万分一地形図 兵庫	1枚	陸軍部測量局	明治27年(1894)	
28	正式二万分一地形図 神戸	1枚	陸地測量部	大正2年(1913)	
29	二万五千分一地形図 神戸南部	1枚	地理調査所	昭和22年(1947)	井上聡明氏寄贈
30	二万五千分一地形図 有馬	1枚	地理調査所	昭和24年(1949)	井上聡明氏寄贈
31	舶来物品商・岡田梶引札	1枚	松川半山画	明治時代	

No	資料名	員数	作者	時代	備考
32	欧米新形旅行用鞆・岩浪商店引札	1枚	鈴木年基画	明治時代	
33	諸金物売捌所・文珠米治郎引札	1枚		明治～大正時代	文珠多久磨氏寄贈
34	餅饅頭蒸物所・福原餅引札	1枚		明治37年(1904)	
35	ドドネウス本草図譜	1冊	R.ドドネウス編	1608年刊	
36	倚杖羅漢図	1幅	陳賢筆	17世紀後期	
37	倚杖羅漢図賛	1幅	木庵性瑠筆	1676～77年頃	
38	唐人遊戯図	1幅	城貴筆	江戸時代(18世紀末期～19世紀初期)	
39	花鳥図ガラス絵	1面	長崎系	19世紀初期	
40	新板一谷合戦図	3枚続	歌川国貞画	文化12(1815)～天保13年(1842)	
41	一谷大合戦之図	3枚続	歌川芳員画	嘉永5年(1852)	
42	福原殿舎怪異之図	3枚続	月岡芳年画	明治15年(1882)	
43	平清盛炎焼病之図	3枚続	月岡芳年画	明治16年(1883)	
44	伊万里焼四角草文日本地図皿	1枚	有田窯	江戸時代末期	
45	型吹き八重菊文蓋付ガラス碗	3合		18世紀後期～19世紀初期	
46	ピース飾り蝙蝠文吊り燈籠	1点	京都製	文政6年(1823)	
47	グラヴェール栓付ガラス瓶	1点	オランダ製カ	文政元年(1818)頃輸入	
48	金彩ぶどう文脚付ガラス杯	1点	オランダ製	天保3年(1832)頃輸入	
49	グラヴェール洋文字に花卉文脚付ガラス杯	1点	イギリス製	弘化3年(1846)頃輸入	
50	カットガラス手付碗	1点	イギリス製	弘化4年(1847)頃輸入	
51	グラヴェールぶどう文筒形ガラス碗	1点	イギリス製	19世紀前期(江戸時代末期に輸入)	
52	グラヴェール花虫文ガラス碗	1点	イギリス製	19世紀中期(江戸時代末期に輸入)	
53	金彩藍色カットガラス鉢	1口	イギリス製	19世紀中期(江戸時代末期に輸入)	
54	外国製緑絵蓮花文陶器各種	4件	イギリス製カ	天保5年(1834)頃輸入	
55	蒔絵トガースバンク海戦図飾り板	1枚	長崎製	寛政4年(1792)	
56	蒔絵カティス海戦図飾り板	1枚	長崎製	寛政4年(1792)	
57	蒔絵に青貝細工肖像図ブランク	1枚	長崎製	18世紀後期～19世紀初期	
58	青貝細工西洋教会図箱	1点	長崎製	江戸時代末期(19世紀中期)	
59	伊万里に青貝細工花鳥文四段重	1点	長崎製	江戸時代末期～明治時代初期(19世紀中期～後期)	
60	V.O.C.マーク入り小型艦載砲	1門	オランダ製	18世紀前期	

* () は原資料の時代を示します。
* 会期中、展示替をすることがあります。

ごあいさつ

摺経とは、板木（版木）に經典を彫り印刷したもので、版経ともいわれます。日本では古くから作善の一つとして写経が盛んに行われてきましたが、摺経の歴史も古く、奈良時代の『百万塔陀羅尼』が多数伝来しています。平安時代後期以降、信仰の一環として、經典の印刷が本格的に始まりました。

今回の展覧会では、中世を中心にした摺経の活動を振り返っています。中央（奈良・京都）での出版活動が、やがて地方に広がり、寺院だけではなく、武将なども出版に関わるようになり、出版の対象も經典以外に及ぶようになりました。このような出版活動が、地方文化の興隆にも深く影響した様子をご覧いただければ幸いです。

最後になりましたが、貴重な資料をこころよくご出品下さいました所蔵者の方々に感謝申し上げますとともに、本展の開催にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

1992年9月

神戸市立博物館

名 称	員数	版 種	時 代	所 蔵 者
奈良の摺経				
1 百万塔 付 自心印陀羅尼經	2基2卷		奈良時代	神戸市立博物館
2 成唯識論述記	1 卷	春日版	元永2年(1119)	京都国立博物館
3 法華撰釈	1 帖	春日版	[安元2年(1176)]	奈良・東大寺図書館
4 般若波羅蜜多心經幽贊	1 帖	春日版	貞応3年(1224)	奈良・東大寺図書館
○5 大般若波羅蜜多經	2 帖	春日版	[文永2年(1265)]	滋賀・宝蔵寺
□6 大般若波羅蜜多經	2 帖	春日版	[弘安2年(1279)]	京都・地藏院
7 妙法蓮華經玄贊 卷第9板木	1 枚	春日版	鎌倉時代	奈良国立博物館
8 三論玄義	1 帖	東大寺版	建長8年(1256)	奈良・東大寺図書館
9 華嚴五教章	1 帖	東大寺版	弘安6年(1283)	奈良・東大寺図書館
10 維摩經義疏(銀杏葉子入り)	1卷1冊	法隆寺版	鎌倉時代	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
11 表無表色章(宿紙經)	1卷1帖	西大寺版	鎌倉時代	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
12 枕網經古迹記輔行文集	2卷2帖	西大寺版	弘安元年(1278)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
13 十住心論	4 帖	高野版	建長7年(1255)他	奈良・東大寺図書館
京都の摺経				
14 止観輔行伝弘決	2 帖	叡山版	弘安2年(1279)他	神戸市立博物館
15 法華玄義釈籤	3 帖	叡山版	弘安4年(1281)他	神戸市立博物館
16 大孔雀明王經	1 卷	石清水版	建長2年(1250)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
17 大乗玄論	3 帖	醍醐寺版	永仁3年(1295)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
18 仁王護国般若波羅蜜多經	1 帖	東寺版	文安元年(1444)	奈良・東大寺図書館
19 観經序分義	1卷1冊	浄土経版	鎌倉時代	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
20 安樂集	1 帖	浄土経版	寛元3年(1245)	龍谷大学図書館
21 黒谷上人語燈録	2 帖	浄土経版	元亨元年(1321)	龍谷大学図書館
22 浄土論	1 帖	浄土教版 (知恩院版)	永享9年(1437)	兵庫・竜徳寺

名 称	員数	版 種	時 代	所 蔵 者
中国・朝鮮の影響				
23 大智度論	1 帖	東禅寺版	1131年	兵庫・妙法寺
24 大集經	1 帖	東禅寺版	1164年	兵庫・妙法寺
25 華嚴經 卷第9版木	1 枚	海印寺版	13世紀前半	奈良・東大寺図書館
26 華嚴随疏演義鈔(高麗版写本)	4 帖		康和5・6年(1103・4)	奈良・東大寺図書館
27 孟蘭盆經疏科分	1 卷	茶浦寺版 (宋版覆刻)	建長3年(1251)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
28 首楞嚴義疏注經	2 帖		南北朝時代	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
29 金剛王菩薩秘密念誦儀軌・ 金剛頂勝初瑜伽普賢菩薩念誦法經	1 帖		文和3年(1354)	京都国立博物館
30 地藏本願經	3 帖	建長寺版	貞治6年(1367)	神奈川県立博物館
31 大般若波羅蜜多經	1 帖		康暦元年(1379)	滋賀・正禅寺
○32 倭点附刻妙法蓮華經	2 卷	東福寺版	応永5年(1398)	滋賀・長浜八幡宮
33 仏果園悟禅師碧嚴録	4卷4冊	妙心寺版 (宋版覆刻)	室町時代後期	大阪府立中之島図書館

地方の摺経

34 孟蘭盆經疏科分	1卷1帖	靈山寺版 (宋版覆刻)	正嘉2年(1258)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
35 大乘本生心地観經	2卷2帖	極楽寺版	弘安4年(1281)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
36 華嚴經探玄記	2卷2帖	称名寺版	康永3年(1344)	神奈川・称名寺 (金沢文庫保管)
○37 妙法蓮華經 板木	2 枚	西明寺版	至徳3年(1386)他	滋賀・西明寺
○38 仁王般若波羅蜜多經 板木	1 枚	西明寺版	嘉慶2年(1388)	滋賀・西明寺
○39 妙法蓮華經	1 卷	百濟寺版	明德2年(1391)	滋賀・櫛野寺
40 菩薩戒本宗要	1 帖	教興寺版	正平14年(1359)	奈良・東大寺図書館
41 新編名方類証医書大全	4卷4冊	堺版 (阿佐井野版)	大永8年(1528)	大阪府立中之島図書館
□42 仏燈国師語録	2卷2冊	五山版 (福嚴寺版)	文和元年(1352)	神奈川・建長寺
43 妙法蓮華經 卷8 [写真パネル]		石峯寺版	(康安元年 1361)	
44 妙法蓮華經 板木	1 枚	鶴林寺版	[応永12年(1405)]	兵庫・鶴林寺
45 妙法蓮華經	2 卷	近江寺版	応永15年(1408)	兵庫・寿福寺
46 妙法蓮華經	1 卷	性海寺版	応永29年(1422)	奈良・東大寺図書館
47 大般若波羅蜜多經	1 帖	八幡大乘院版	宝徳4年(1452)	兵庫・鶴林寺
48 理趣經 板木	1 枚	無量寿院版	[文明19年(1487)]	兵庫・無量寿院
49 妙法蓮華經 板木	1 枚	鶴林寺版	室町時代	兵庫・鶴林寺
50 無量寿經 板木	1 枚	鶴林寺版	室町時代	兵庫・鶴林寺
51 観無量寿經 板木	1 枚	鶴林寺版	室町時代	兵庫・鶴林寺

*○は県指定文化財、□は市指定文化財をあらわす。時代は刊記による。刊記によらない場合は〔 〕を付けた。

*「春日版」等の版種は便宜上の区別である。

*都合により、出品資料を変更する場合があります。また、期間中に展示替する場合があります。

御協力いただいた機関(所蔵者は除く)

宇治市教育委員会 宇治市歴史資料館 加古川総合文化センター 神奈川県立金沢文庫
鎌倉国宝館 鎌倉市教育委員会 滋賀県教育委員会 滋賀県立琵琶湖文化館
長浜市立長浜城歴史博物館 兵庫県立歴史博物館

○源平錦絵展 平成4年12月16日～平成5年1月15日

ごあいさつ

日本の歴史のなかで、源平合戦ほど有名な合戦は他にないでしょう。その理由はやはり国民的文学ともいえる『平家物語』の功績が絶大であり、『平家物語』の流布とあいまって、源平合戦は早くから美術・文学・芸能など多分野の作品にさまざまな題材を提供してきました。

絵画の分野で見ると、大画面形式の屏風絵・絵巻・絵入り本など室町時代以降の作品が伝世していますが、源平合戦をテーマにした絵画が庶民にまで本格的に拡がったのは多色刷の浮世絵、錦絵の出現をまたなければなりません。江戸時代後期から、慌ただしい世情を反映して、人気浮世絵師たちが源平をテーマにした錦絵を競って作成するようになります。そうしたなかには絵画の新しい表現様式を踏まえたものも少なくありません。

今回の企画展では当代売れっ子の浮世絵師たちの作品を画題別に展示しています。錦絵の移り変わりとともに、同じ題材にそれぞれの絵師が取り組み、どのように個性を競いあっているのか、楽しみながらご覧いただければ幸いです。

神戸市立博物館

西暦	年号	月日	主な出来事
1185	元暦二	11	平忠盛五八歳で死去。清盛、家督を継ぐ。
1188	寿永二	17	平清盛、摂津国八田郡の検注を実施。
1189	寿永三	24	平清盛、病のため出家。平家一門栄華をきわめる。
1190	治承二	16	平清盛、福原山荘で千僧供養。後白河法皇臨席する。
1191	治承三	7	宋船、大輪田泊に到着。このうち交易が行われる。
1192	治承四	17	平清盛、大輪田泊を整備、兵庫島(経ヶ島)築造に着手。
1193	安元三	6	鹿ヶ谷の平家討伐の陰謀が発覚。俊寛僧都ら流罪になる。
1194	承安三	2	中宮徳子の安産のため大赦。俊寛僧都だけ赦免されず。
1195	嘉應二	9	平清盛、福原より急ぎ上洛し、後白河院政を停止して法皇を幽閉する。
1196	仁安三	3	高倉天皇讓位、安徳天皇踐祚。
1197	応保二	2	平清盛、国家事業として大輪田泊の大規模な修築を計画。
1198	仁平三	1	源頼朝、以仁王に謀叛を促し挙兵。
1199			平氏、安徳天皇を奉じて福原遷都を強行。
1200			伊豆の流人、源頼朝、文覚上人に促され挙兵。
1201			富士川で平氏、源氏と対決。水鳥の羽音に驚き退く。
1202			平清盛、熱病のため六四歳で死去。
1203			平氏、都落ち。福原に火を放ち西国へ。源義仲、入京。
1204			源範頼・弟義経の軍、宇治川で義仲を破り入京。
1205			平宗盛らの平氏一門、福原に帰り、一ノ谷に城を構える。
1206			源範頼・義経の軍、平氏追討のため京都から西国へ出発。
1207			源範頼らは大手の生田の森に攻め入り、搦手の源義経らは、坂落して平氏の一ノ谷の陣を急襲する。平通盛・盛俊・忠度・敦盛ら討死。重衡は生け捕られ、他の者は海上へ逃れる。
1208			源義経ら摂津国渡辺で出船の準備。嵐のため船の装備について梶原景時と激論する。強風に乗じて阿波勝浦に渡り、平氏方の城を破る。
1209			源義経ら、讃岐国屋島を奇襲し平氏を破る。平氏は海上に逃れる。
1210			源平両軍、長門国壇の浦で海上戦を戦い、平氏滅亡する。
1211			安徳天皇入水、平宗盛・建礼門院は生け捕られる。
1212			これ以前、源頼朝と義経の間が不和となる。義経、京都脱出し吉野山へ逃れ、のち奥州へ向かう。

《出品目録》

No.	資料名	員数	作者	年代	備考
1	絵本勇者鑑	1冊	西川祐信	元文3年(1738)	
2	俊寛僧都(仮題)	縦2枚続	月岡芳年	明治前期	
3	牛若丸・弁慶(仮題)	3枚続	歌川国芳	弘化4~嘉永5年(1847~52)	新原 節子氏贈
4	義経鞍馬山図	3枚続	歌川芳員	安政6年(1859)	
5	武勇雪月花之内 五条の月	3枚続	月岡芳年	慶応3年(1867)	
6	源平盛衰記駿河国富士川合戦	3枚続	歌川国芳	文政初~万延元年(1818~60)	新原 節子氏贈
7	福原殿舎怪異之図	3枚続	葛飾北斎	天保14~弘化4年(1843~47)	
8	新谷六怪撰 福原殿舎怪異之図(無題)	3枚続	月岡芳年	明治15年(1882)	
9	新形三十六怪撰 清盛福原に数百の人頭を見る図	1枚	月岡芳年	明治22年(1889)	
10	芳年武者無類 平相国清盛	1枚	月岡芳年	明治16年(1883)頃	
11	清盛入道布引滝遊覧患源太義平豊討難波次郎	3枚続	歌川国芳	文政12~天保13年(1829~42)	
12	清盛布引滝遊覧義平難波討図	3枚続	歌川芳房	安政3年(1856)	
13	文覚上人荒行(無題)	縦2枚続	月岡芳年	明治前期	
14	平清盛炎病之図	3枚続	月岡芳年	明治16年(1883)	
15	宇治川合戦之図	3枚続	歌川国芳	天保14~弘化4年(1843~47)	新原 節子氏贈
16	寿永三年正月十六日宇治川大合戦図	3枚続	歌川芳虎	弘化4~嘉永5年(1847~52)	新原 節子氏贈
17	敦盛と直実(無題)	1枚	鈴木春信	明和年間(1764~72)	
18	浮絵一ノ谷合戦坂落之図	1枚	葛飾北斎(勝春明落款)	安永8~寛政5年(1779~93)頃	池 長 孟 コレクション
19	一之谷浮絵之図	1枚	勝川春英	江戸時代後期	池 長 孟 コレクション
20	新板浮画一ノ谷坂落之図	1枚	歌川豊国	寛政2~文化元年(1790~1804)	池 長 孟 コレクション
21	無官の太夫敦盛熊谷次郎直実組打の図	1枚	歌川豊国	文化12~文政7年(1815~24)	
22	摂州須磨内裏源平大合戦之図	5枚続	歌川国貞	文化12~天保13年(1815~42)	
23	新板一谷合戦図	3枚続	歌川国貞	文化12~天保13年(1815~42)	
24	熊谷敦盛組討	1枚	歌川広重	文化12~天保10年(1815~39)	池 長 孟 コレクション
25	義経之軍兵一ノ谷逆落之図	3枚続	歌川国芳	天保元~13年(1830~42)	
26	生田森追手源平大合戦	3枚続	歌川国芳	天保14~弘化4年(1843~47)	新原 節子氏贈
27	一ノ谷合戦ひよ鳥越より須磨の浦を見る図	3枚続	歌川国芳	天保14~弘化4年(1843~47)	新原 節子氏贈
28	源義経一ノ谷頂上陣捕図	3枚続	歌川国芳	江戸時代後期	新原 節子氏贈
29	一ノ谷大合戦之図	3枚続	歌川国芳	弘化4~嘉永5年(1847~52)	新原 節子氏贈
30	源平一ノ谷合戦之図	3枚続	歌川芳虎	天保14~弘化4年(1843~47)	
31	梶原景時二度之懸(無題)	3枚続	歌川芳虎	弘化4~嘉永5年(1847~52)	
32	一之谷 <small>ひよどり</small> 鷲鷲越逆落之図	3枚続	歌川芳虎	弘化4~嘉永5年(1847~52)	

No.	資料名	員数	作者	年代	備考
33	一谷大合戦之図	3枚続	歌川芳員	嘉永5年(1852)	
34	源義経一谷裏手之図	3枚続	歌川芳員	嘉永6年(1853)	
35	源平一ノ谷大戦高名之図	3枚続	歌川貞秀	安政4年(1857)	
36	一ノ谷大合戦 鷲尾三郎案内して鶴越の裏手を越る図	3枚続	月岡芳年	文久2年(1862)	
37	一ノ谷合戦	竪2枚続	月岡芳年	明治前期	
38	摂州一の谷鶴越ヨリ義経平家ヲ攻ル図	3枚続	歌川芳藤	明治前期	
39	鶴越	3枚続	揚州周延	明治前期	
40	播州須磨寺の桜ニ義経高札ヲ立る図	3枚続	歌川国芳	文化12~天保13年(1815~42)	新原 節子氏贈
41	耀武八景 須磨寺晚鐘	3枚続	歌川国芳	天保元~天保13年(1830~42)	
42	播州須磨寺若木桜之図	3枚続	月岡芳年	明治3年(1870)	
43	源義経梶原逆鱗争論図	3枚続	歌川国芳	文化12~天保13年(1815~42)	新原 節子氏贈
44	源義経逆櫓之図	3枚続	歌川芳虎	万延元年(1860)	
45	源平盛衰記 阿波国勝浦合戦	3枚続	歌川国芳	文化12~天保13年(1815~42)	新原 節子氏贈
46	新板浮絵八嶋櫓之浦合戦之図	1枚	歌川豊春	安永年間頃(1772~81)	池 長 孟 コレクション
47	八島壇ノ浦合戦	3枚続	勝川春亭	文化12~天保13年(1815~42)	新原 節子氏贈
48	美香八競 八嶋夕照	3枚続	歌川国芳	天保14~弘化4年(1843~47)	
49	八島大合戦	3枚続	歌川国芳	弘化4~嘉永5年(1847~52)	新原 節子氏贈
50	源平大合戦	3枚続	歌川国芳	安政3年(1856)	
51	源平矢島大合戦図	3枚続	歌川芳員	嘉永6年(1853)	
52	義経八島之名誉	3枚続	月岡芳年	慶応2年(1866)	
53	悪七兵衛景清三保谷四郎国俊 鏝曳 <small>しご</small> の図	3枚続	楊斎延一	明治26年(1893)	
54	源平八嶋大合戦	3枚続	歌川国芳	文化12~天保13年(1815~42)	新原 節子氏贈
55	長門国赤間浦源平大合戦之図	3枚続	2代歌川国輝	安政2年(1855)	
56	長州櫓之浦赤間関合戦	3枚続	2代歌川国輝	慶応元年(1865)	
57	櫓之浦大合戦ノ図	3枚続	月岡芳年	元治元年(1864)	
58	源平矢島大合戦之図	3枚続	月岡芳年	明治22年(1889)	
59	日本外史之内 義経・教経(無題)	3枚続	小林清親	明治12年(1879)	
60	大和国吉野山雪中源義経一山衆徒合戦図	3枚続	歌川貞秀	文政9~天保13年(1826~42)	新原 節子氏贈
61	源義経公吉野名誉之図	3枚続	歌川貞秀	弘化4~嘉永5年(1847~52)	
<特別陳列>					
62	小敦盛絵巻	1巻		桃山時代	
63	島津家本平家物語	30冊のうち		江戸時代前期	個人蔵

(2) 南蛮紅毛美術展示

旧南蛮美術館所蔵資料及び本館収集資料を中心に、テーマを設定した企画展示を行う。

展覧会名	会期	内容
南蛮美術名品展	4.9.12~10.11	館蔵品中、南蛮美術の名品をセレクトして展示
黄檗美術展	4.9.12~10.11	江戸初期に日本に伝来の黄檗絵画の全容を館蔵品により展観
蘭学をめぐる画家たち展	4.12.16~5.1.15	江戸時代の蘭学界をめぐる画家たちの多様な姿を紹介

南蛮美術について

南蛮美術とは、16世紀中葉から17世紀にかけて、ポルトガル、スペインなどから日本にやって来たラテン系の人々の影響を受けて成立した美術の総称です。いわゆる南蛮船に乗って、主として九州に来航した商人、宣教師たちの風俗や、彼らもたらした文物に触発されて、西洋趣味がおこり、日本の絵画や工芸、服飾の中にその趣味が浸透しました。そうした痕跡は今でも、パンやボタンといった私たちが日常に使っている言葉（ポルトガル語が語源）に残っています。

南蛮美術は、鎖国期以降に興隆した、オランダの影響を受けた「紅毛美術」とは区別されていますが、まだまだ一般には両者は混同して考えられているようです。

南蛮美術の作例は、江戸時代初期に南蛮船の来航と、日本の商人が海外に出ていくことが禁じられたこと、そして、キリスト教の禁止のためにわずかしが伝わっていません。

南蛮美術は、南蛮風俗や南蛮意匠を扱った絵画や工芸品と、ヨーロッパよりもたらされた原画をもとに、西洋画法を用いて描いた初期洋風画とに大別されます。前者を代表する「南蛮屏風」には南蛮船の入港や荷揚げの様子、カピタンの行列などが描かれ、日本国内での南蛮趣味を最も端的に表現しています。後者の初期洋風画は、イエズス会が開いた絵画教育機関で学んだ絵師たち、あるいはその系譜にもとづく人々によって描かれたと推定されています。この分野を代表する「泰西王侯騎馬図」「四都図・世界図」「西洋風俗図」などの作例は、西洋と日本のスタイルがひとつになったもので、桃山～江戸初期の自由闊達な雰囲気を感じてくれます。

近年、ヨーロッパから里帰りをした桃山～江戸初期に日本から運ばれていった漆器類は、「輸出漆器」と呼ばれ、南蛮美術の新分野を形成しています。

池長孟氏のコレクションを中核とし、これに新たに収集した作品を加えた本館の南蛮美術コレクションは、東西文化交流の重要な資料となっています。本館では、作品保存のため期間を区切って南蛮美術作品を展覧しております。

— 出品目録 —

I 初期洋風画

- | | | |
|---|--------|--------|
| 1. 泰西王侯騎馬図〈重要文化財〉
Foreign Emperor and Kings on Horseback; Designated Important Cultural Property | 四曲屏風一隻 | 紙本金地著色 |
| 2. 四都図・世界図〈重要文化財〉
World Map and Four Big Cities of the World; Designated Important Cultural Property | 八曲屏風一双 | 紙本著色 |
| 3. 西洋風俗図
Western Genre Scene | 六曲屏風一双 | 紙本著色 |
| 4. 武将図
European Courtiers | 二曲屏風一隻 | 紙本著色 |
| 5. 聖フランシスコ・ザヴィエル像〈重要美術品〉
Portrait of St. Francisco Xavier; Important Art Object | 額一面 | 紙本著色 |
| 6. 西洋二武人図〈重要美術品〉
European Courtiers; Important Art Object | 額一面 | 紙本著色 |
| 7. 師父二童児図〈重要美術品〉
Father and Two Children; Important Art Object | 額一面 | 紙本著色 |
| 8. 老師父図
Old Father | 額一面 | 紙本著色 |

II 南蛮風俗図

- | | | |
|---|-----------------|--------|
| 9. 都の南蛮寺図
Namban-ji temple (Christian church) in Kyoto | 狩野宗秀筆
扇面一面 | 紙本金地著色 |
| 10. 南蛮屏風
Namban Screen | 狩野内膳筆
六曲屏風一双 | 紙本金地著色 |
| 11. 南蛮屏風
Namban Screen | 六曲屏風一双 | 紙本金地著色 |
| 12. 南蛮人交易図
Trade with Foreigners | 軸一幅 | 紙本著色 |
| 13. 観能図
Appreciating Noh play | 八曲屏風一隻 | 紙本著色 |

III 南蛮意匠の工芸

- | | | |
|---|-----|-------------|
| 14. 蒔絵南蛮人鞍
Saddle, with Design of Europeans in Makie | 一 背 | 慶長9年銘(1604) |
| 15. 蒔絵南蛮人洋犬硯箱
Ink-stone Box, with Design of a European and a Dog in Makie | 一 合 | |
| 16. 蒔絵南蛮人箱
Box, with Design of a European in Makie | 一 合 | |
| 17. 蒔絵鉄砲大鼓胴
Large Drum Body, with Design of Mutchlock in Makie | 一 個 | |
| 18. 天正かるた版木重箱
Tiered Food Box, with Woodblocks for Tensho Playing Cards | 一 点 | |
| 19. 蒔絵南蛮船曳船図煙草盆
Tobacco Tray, with Design of Towing Ship | 一 点 | |
| 20. 永楽通宝銭・南蛮人象嵌鏡
A Pair of Stirrups, with Design of Japanese Coins and Europeans | 一 対 | |
| 21. 南蛮人散策図八稜鏡
Eight lobbed mirror, with design of Europeans | 一 面 | |
| 22. 南蛮人喫煙図柄鏡
Mirror with a handle, with design of a European smoking | 一 面 | |
| 23. 南蛮人散策図柄鏡
Mirror with a handle, with design of Europeans | 一 面 | |
| 24. 黒織部 ^{くろがた} 沓形茶碗
Black Oribe Tea Bowl, with Monogram | 一 口 | |

25. 織部十字文瓢形きせる
Oribe Tobacco Pipe, with Crucifix Design 美濃焼, 一点
26. 小代焼十字文象嵌俵形鉢
Shodai-yaki Basin, with Crucifix Design — □

IV 輸出漆器

27. 蒔絵螺鈿花樹鳥獸図洋櫃
Chest, with Design of Flowering Trees, an Owl and Deers in Makié and Mother-of-pearl Inlay — 合
28. 蒔絵螺鈿鮫皮貼り住吉社図鞍袋形洋箱
Box, with Design of Sumiyoshi Shrine View in Makié and Mother-of-pearl Inlay, covered with Shagreen — 合
29. 貝貼り書篋筒
Writing Bureau, in Mother-of-pearl Inlay — 点
30. 貝貼り小櫃
Small Chest, with Mother-of-Pearl Inlay — 合 インドあるいはスリランカ製
31. 蒔絵家屋形花鳥図箱
Box in the form of a House, with Floral and Bird Design in Gold Makié — 点

V キリシタン関係資料

32. キリスト教磔刑図聖牌 (片面 神の仔羊図)
Reliquary — 点 銅版画は舶載品か
33. 十字架を担うキリスト図聖牌
Reliquary — 点 銅版画は舶載品か
34. 聖者像聖牌(片面 聖フランシスコ, 片面 聖ドミニクスカ)
Reliquary — 点 銅版画は舶載品か
35. キリストの答刑図聖牌
Reliquary — 点 銅版画は日本製か
36. IHS文赤地布製聖牌
Reliquary — 点 江戸時代に舶載
37. □ザリオ (木製・ガラス製) 一括
Rosaries 江戸時代に舶載
38. メダイ 一括
Medals 江戸時代に舶載

○黄檗美術展 平成4年9月12日～10月11日

—— 出品目録 ——

I おうぼく 黄檗宗を伝えた人々

日本黄檗宗の開祖・隠元禪師(1592～1673)と、弟子の木庵・即非らの肖像画を展示します。禪宗の肖像画は頂相と呼ばれ、師から弟子への伝法の証明となるものですが、黄檗宗のそれは真正面向きの姿に特色があり、顔には西洋画から学んだ陰影をほどこして、写實的に描かれます。喜多長兵衛と喜多元規はその代表的な画家で、2人は親子か師弟だったと考えられています。また、同じ人物を描いても、作られた年齢によって白髪やシワの数などに変化が見られ、例えば1～3、6の隠元像、1、3、5、6の木庵像の顔つきを比較してみると、黄檗肖像画の写実性がよく実感できます。

1. 隠元・木庵・即非像	各自賛	喜多長兵衛筆	3幅対	紙本著色
2. 隠元倚騎獅像	自賛	喜多長兵衛筆	1幅	紙本著色
3. 隠元・木庵・即非像(遊山図)	木庵性瑠賛	喜多長兵衛筆	1幅	紙本著色
4. 隠元隆琦像	享保18年(1733)宝航元濟賛	渡辺秀石筆	1幅	紙本著色
5. 木庵性瑠像	延宝2年(1674)自賛	喜多元規筆	1幅	紙本著色
6. 隠元・木庵・鉄牛像	延宝8年(1680)鉄牛道機賛	喜多元規筆	1幅	絹本著色
7. 惟一道実像	延宝2年(1674)自賛	喜多元規筆	1幅	紙本著色
8. 慧極道明像	宝永5年(1708)自賛	元高筆	1幅	紙本著色
9. 干杲性俊像(円相)	元禄13年(1700)自賛	元喬筆	1幅	紙本著色
10. 大衡海権像	元禄14年(1701)自賛	元香筆	1幅	絹本著色
11. 恢峰寂廓像	元文5年(1740)弥魯照嵩賛	永井元真筆	1幅	絹本著色
12. 大潮元皓像	自賛	津田元珍筆	1幅	紙本著色
13. 江外海長像	自賛	小原慶山筆	1幅	紙本著色
14. 悦峰道章像	自賛	小原慶山筆	1幅	紙本著色
15. 鉄心道胖像	宝永7年(1710)自賛		1幅	紙本著色
16. 超源元澄像	竺庵浄印賛	上野若元筆	1幅	絹本著色
17. 超源元澄像	享保13年(1728)岳宗元璋賛	挺山筆	1幅	紙本著色
18. 王心渠像	延宝7年(1679)干杲性俊賛	喜多元規筆	1幅	紙本著色
19. 達磨図	延宝3年(1675)木庵性瑠賛	喜多元規筆	1幅	絹本著色

II からえ 唐絵の誕生——江戸奇体美の源流——

黄檗宗がはぐくんだもう1つの絵画は、肖像画の写実主義とは全く対照的な、唐絵という奇怪でエキセントリック(常軌を逸脱した)な、個性的スタイルでした。これは黄檗僧らが持ちこんだ明清画風の影響を受けた中国臭の強い画風で、18世紀に日本で流行する「奇体美」の源流といえます。このコーナーでは、中国から日本の黄檗寺院へ仏画を描き送った陳賢、長崎の在留唐人で隠元を日本へ招いた黄檗僧・逸然(1601～1668)、その日本人弟子で唐絵の奇体美を増幅させて独特の画風を築いた河村若芝(1638～1707)の3人の作品を展示します。

20. 達磨図(洋風画)	元禄15年(1702)雪村道香賛		1 幅	紙本著色
21. 倚杖羅漢図		陳賢筆	1 幅	紙本淡彩
22. 羅漢図	宝永6年(1709)鉄心道胖賛	陳賢筆	1 幅	紙本淡彩
23. 朱衣達磨図	悦山道宗賛	陳秀山筆	1 幅	紙本著色
24. 布袋図	独立性易賛 寛文2年(1662)	逸然性融筆	1 幅	絹本著色
25. 観音・布袋・寒山図	隠元・木庵・即非賛 寛文2年(1662)	逸然性融筆	3幅対	絹本著色
26. 羅漢渡水図	寛文7年(1667)隠元序・木庵跋	逸然性融筆	1 卷	絹本著色
27. 達磨・慧可・僧像(6相像のうち)	隠元隆琦賛	逸然性融筆	3 幅	絹本著色
28. 隠元隆琦像(3高僧像のうち)	天和3年(1683)木庵性瑠賛	逸然性融筆	1 幅	絹本著色
29. 群仙星祭図	寛文9年(1669)	河村若芝筆	1 幅	絹本著色
30. 山水図	延宝3年(1675)	河村若芝筆	1 幅	絹本著色
31. 芦葉達磨図	延宝5年(1677)	河村若芝筆	1 幅	絹本著色
32. 達磨図	貞享元年(1684)高泉性敦賛	河村若芝筆	1 幅	絹本著色
33. 達磨図	木庵性瑠賛	河村若芝筆	1 幅	紙本墨画
34. 寒山図	即非如一賛	河村若芝筆	1 幅	紙本著色

III 画僧・鶴亭の作品

隠元禅師の来日(1654年)からほぼ100年、18世紀^{かみかた}の上方で黄檗絵画の伝統をみごとな花鳥画に結実させたのが、長崎出身の黄檗僧・鶴亭(1722~1785)です。長崎の聖福寺で黄檗僧になった鶴亭は、若くして上方へ移り、奇妙な造形感覚と華麗な色彩で美しい花鳥画を描くかたわら、機智に富んだ水墨画にもすぐれていました。黄檗文化が生んだ造形美の、ひとつの頂点をなす画家といつてよいでしょう。

35. 松鷹小禽図	宝暦3年(1753)	鶴亭筆	1 幅	絹本著色
36. 竹に黄鳥図	宝暦4年(1754)	鶴亭筆	1 幅	絹本著色
37. 松に白鷹図		鶴亭筆	1 幅	絹本著色
38. 芭蕉太湖石白鷺図		鶴亭筆	1 幅	絹本著色
39. 山水図	明和元年(1764)	鶴亭筆	1 幅	紙本墨画
40. 南蛮芋に蕃椒図		鶴亭筆	1 幅	紙本淡彩
41. 牡丹綬帯鳥図	明和6年(1769)	鶴亭筆	1 幅	絹本著色
42. 大根にねずみ図	自賛	鶴亭筆	1 幅	紙本墨画
43. 墨梅図	安永7年(1778)梧心元明賛 安永4年(1775)	鶴亭筆	1 幅	紙本墨画
44. 仏手柑に綬帯鳥図		鶴洲筆	1 幅	絹本著色
45. 白梅に小禽図		鶴洲筆	1 幅	絹本墨画

IV 黄檗墨蹟

46. 槩山遺芳(尺牘帖)		慧林、実伝、惟一、千呆ら筆	1 帖	紙本墨書
47. 付与永照尼掲	宝永2年(1705)	慧林性機筆	1 卷	紙本墨書

V 彫像類

48. 関羽像		范道生作	1 軀	木造
49. 羅漢像	承応2年(1653)	赤星八左衛門・庄兵衛作	1 軀	銅造

50. 伝鄭成功像 1 軀 銅造

VI 参考図書

51. 隠元和尚雲涛三集	寛文3年(1663)奥付 享保16年(1731)自叙 文政2年(1819)刊	南源、高泉、暁堂、惟一編	2 冊	木版墨摺
52. 先民伝		盧千里編	2 冊	木版墨摺
53. 長崎画人伝		渡辺鶴洲著	1 冊	手書
54. 唐伝若芝鏝細工系図	嘉永4年(1851)奥付	若芝是高再訂	1 冊	手書
55. 黄檗宗鑑録	寛政2年(1790)再刊序		2 冊	木版墨摺

○蘭学をめぐる画家たち展 平成4年12月16日～平成5年1月15日

明和八年（1771）死体の解剖を見学した杉田玄白・前野良沢は、オランダの医学書に描かれていた人体内部の挿絵が非常に正確なものであることに感銘を受け、それから約三年の歳月をかけてこれを翻訳し、『解体新書』を完成しました。

この事にも象徴されるように、当時の蘭学者はオランダからもたらされた洋書の精巧な図版に強い関心を抱いていました。このような蘭学者たちの写実的な西洋画への憧れを背景として、多くの画家達が全く新しい技法により地図や学術書の挿絵などに腕を振るいました。

しかし当時の蘭学界にはこのように学究的な部分ばかりではなく、平賀源内・司馬江漢のように遊び心に富んだ知識人も活躍しており、その周囲にいた画家達の作品も一概に実用性一辺倒とはいえない、むしろ情感豊かな作品も多く残しており、この時代の最先端を行く文化活動の意外な奥深さを示しています。

今回の企画展では、この蘭学に深く関わっていた画家達の様々な活動を、当館の所蔵品約60点でたどっていききたいと思います。

一 出品目録 一

No.	名 称	筆 者 等	頁数	時 代	備 考
1. 舶来学術書					
1.	ドドネウス本草図譜	R. ドドネウス編	1冊	1608	
2.	ヨンスターン動物図譜	ヨンスターン著	1冊	1660	
3.	日用百科辞典	シヨメール著, シャルモ編	7冊	1768-77	
4.	大画法書	ライセツセ著	1冊	1740	
2. 平賀源内とその周辺					
5.	源内焼南北アメリカ図・ ユーラシア・アフリカ図皿	志 度 窯	2枚		
6.	西洋婦人図	平賀源内筆	1面		
7.	天狗觸鯨鑿定縁起	平賀源内著	1冊	安永5(1776)	
8.	燕子花にハサミ図	佐竹曙山筆	1幅		
9.	蓮図	小田野直武筆	1幅		
10.	解体新書	杉田玄白他訳	5冊	安永3(1774)	小田野直武画

No.	名 称	筆 者 等	頁数	時 代	備 考
11.	物品品鑑	平賀源内編	6冊	宝暦13(1763)	宋紫石画
12.	古今画藪	宋紫石編	8冊	明和8(1771)	
13.	寒梅綬帯鳥図	宋紫石筆	1幅		
14.	六玉川 高野の玉川	鈴木春信画	1面		
3. 司馬江漢					
15.	楊弓場図(無題)	司馬江漢画	1枚		
16.	相州鎌倉七里浜図	司馬江漢筆	1隻	寛政8(1796)	
17.	蘭画銅版画引札(無題)		1枚	文化6(1809)	
18.	異国風景人物図	司馬江漢筆	2幅		
19.	蛭子和尚図	司馬江漢筆	1幅		
20.	異国工場図	司馬江漢筆	1幅		
21.	三田景	司馬江漢画	1面	天明3(1783)	
22.	広尾親父茶屋図	司馬江漢画	1面	天明4(1784)	
23.	両国橋図(無題)	司馬江漢画	1面	天明7(1787)	
24.	反射式のぞき眼鏡	司馬江漢作	1基		
25.	天球図	司馬江漢画	1枚	寛政8(1796)	
26.	地球全図	司馬江漢画	2枚	寛政4(1792)	
27.	和蘭通船	司馬江漢著	2冊	文化2(1805)	
28.	刻白爾天文図解	司馬江漢著	2冊	文化6(1809)	
29.	紅毛雑話	森島中良著	5冊	天明7(1787)	司馬江漢・ 北山寒巖挿画
4. さまざまな画家たち					
30.	今戸瓦焼図	亜欧堂田善筆	1幅		
31.	大日本金龍山之図	亜欧堂田善画	1面		
32.	ゼルマニア郭中図	亜欧堂田善画	1面		
33.	洋人曳馬・コロンブス謁見図(無題)	亜欧堂田善画	1幅		
34.	新訂万国全図	高橋景保編製	1舗	文化7(1810)	亜欧堂田善画
35.	医範提綱図解	亜欧堂田善画	1帖	文化5(1808)	宇田川玄真著
36.	ナポレオン像	安田雷洲筆	1幅		

No.	名 称	筆 者 等	員数	時 代	備 考
37.	江戸近国風景 下つけからす川の景	安田雷洲画	1 枚		
38.	江戸近国風景 相模三浦入海之景	安田雷洲画	1 枚		
39.	ヒポクラテス像	石川大浪筆	1 幅		
40.	紅毛婦人像	石川大浪筆	1 幅		
41.	蕪録	大槻玄沢著	3冊	文化6(1809)	石川大浪挿図
42.	形影夜話	杉田玄白著	2冊	文化7(1810)	石川大浪挿図
43.	ヘイステル像	北山寒巖筆	1 幅		
44.	東方朔図	北山寒巖筆	1 幅		
45.	万国新話	森島中良著	4冊	寛政12(1800)	北山寒巖挿図
46.	桃花図	木村蒹葭堂筆	1 幅	宝暦7(1757)	
47.	一角纂考	木村蒹葭堂著	2幅	寛政7(1795)	
48.	六物新志	大槻玄沢著	2冊	天明6(1786)	司馬江漢挿図
49.	ファン・ロイエン花鳥図模写	谷文晁筆	1 幅		
50.	画面百華鳥		1冊	享保14(1729)	
51.	瀕海都城図	荒木如元筆	1 面		
52.	蘭碗摘芳	大槻玄沢著	3冊	文化14(1817)	{ 石川大浪 荒木如元 挿図
53.	駝鳥・火食鳥図	清躬筆	2幅		寛政3(1791)題
54.	瘍科精選図解	越村德基訳	2冊	文政3(1820)	牧墨遷画
55.	泰西本草名疏	伊藤圭介編	2冊	文政12(1829)	近藤集延扉絵
56.	異国風物図	中伊三郎画	1 幅		
57.	把小翁湮解剖図譜	斉藤方策・中天遊訳	1冊	文政5(1822)	中伊三郎画
58.	重訂解体新書銅版全図	大槻玄沢改訂	1冊	文政9(1826)	中伊三郎画
59.	麝香図・拔爾散模格拜霍図	宇田川榕庵筆	2幅		
60.	世界四大洲図・四十八国人物図屏風	不 詳	6曲1双		

(3) 古地図企画展示

本館の古地図資料の中心をなす南波コレクション・秋岡コレクションに加え、本館独自の収集古地図資料を用い、テーマ設定した企画展示をおこなう。

展 覧 会 名	会 期	内 容
古地図名品展	4. 7. 25~8. 30	館蔵品中、古地図の名品をセレクトして展示
コロンブスとジパング展	4.12.16~5.1.15	ヨーロッパで描かれた古地図のなかの日本を概観

ごあいさつ

神戸市立博物館の古地図資料は、それぞれ寄贈を受けた南波松太郎氏（1894年～）収集のものと、地理学者秋岡武次郎氏（1895～1975年）収集のものを中核としています。親友でもあった両氏は、半世紀以上にわたって互いに協力し情報交換しあって、古地図の全てを集められました。お二人の努力のおかげで、わが国の古地図資料が現在に伝わっているといっても過言ではありません。

それらに加えて、博物館準備室の頃より独自に収集しているヨーロッパ製古地図、地元の子供関係地図、また館の中核資料である池長孟コレクション中にも珍しい古地図が豊富にあります。その総数は七～八千点、神戸市立博物館は質量ともにわが国最大の古地図収蔵館といえましょう。

博物館では、この豊富な古地図資料をもとに、一つのテーマに沿った企画展示を行っており、昭和五十七年の開館以来、これまで20回の古地図展を開催してきました。このことは他館では絶対に真似のできない、当館の一大特色といえましょう。

今回の第21回古地図企画展示は“名品展”と題しまして、この膨大なコレクションの全貌を知っていただくため、優品をえりすぐって紹介する初めての試みです。

当館の古地図の名品を見るということ、それはとりもなおさず、わが国における古地図の全容に迫ることといえましょう。

古い地図を通して、当時の人々の世界観や国土の地図作成事業の困難さを感じたり、昔の人々も案外と正確で詳しい地図を見ていたことが理解できるのです。さらには地図を皿や印籠等のデザインとして楽しむといった、日本人と地図との様々な結びつきを知っていただけたら幸いです。

夏休みを利用して、この機会にぜひ多くの皆様にご覧いただきたいと思ひます。

《出品目録》

No.	資料名	作者等	時代	版種	寸法(cm)	備考
<日本図>						
1	嘉元3年日本図 (原品 京都仁和寺蔵)		江戸時代写図	手書手彩	38.5×134.4	南波松太郎 コレクション
2	日本地図屏風(2曲一隻)		安土桃山時代	手書手彩	59.9×123.8	南波松太郎 コレクション
3	行基菩薩説大日本国図		江戸時代初期	木版	80.4×42.3	南波松太郎 コレクション
4	扶桑国都水陸地理図 (6曲一隻)		江戸時代初期	手書手彩	131.4×182.4	

No.	資料名	作者等	時代	版種	寸法(cm)	備考
5	本朝図鑑綱目	石川流宣	貞享4年(1687)	木版手彩	59.9×92.5	南波松太郎 コレクション
6	日本図・中国図(2幅一組)	寺島良安	享保12年(1727)	手書手彩	180.2×265.0(日本図) 166.2×260.0(中国図)	
7	改正日本輿地路程全図	長久保赤水	安永8年(1779)	木版手彩	83.2×134.3	秋岡武次郎 コレクション
8	沿海地図	伊能忠敬	文化1年(1804)	手書手彩	215.1×254.4	南波松太郎 コレクション
9	日本輿地図彙	伊能忠敬	文化6年(1809)	手書手彩	120.5×204.0	南波松太郎 コレクション
10	伊能小図(西日本・エゾ図)	伊能忠敬	文政4年(1821)	手書手彩	203.5×162.1(西日本) 161.6×181.1(エゾ地)	南波松太郎 コレクション
11	日本国地理測量之図	伊能忠敬		手書手彩	390.0×425.0	
12	日本鳥瞰図屏風(6曲一隻)		江戸時代後期	手書手彩	64.7×211.1	南波松太郎 コレクション
13	日本絵図	鎌形恵斎		木版刷彩	39.8×57.4	南波松太郎 コレクション
14	羽子板型日本図(顕微鏡付)			銅版	3.8×1.3	南波松太郎 コレクション
15	大日本沿海実測録(14冊)	伊能忠敬	明治3年(1870)	木版	25.5×18.0	

<世界図>

16	四都図・世界図屏風 (8曲一双 重要文化財)		江戸時代初期	手書手彩	各158.7×477.7	池長孟 コレクション
17	万国絵図・人物図(2曲一隻)		正保2年(1645)	手書手彩(世界図) 木版手彩(人物図)	133.9×56.1 135.8×59.2	池長孟 コレクション
18	万国絵図・世界人形図(2幅一組)		(慶安5年(1652))	木版手彩	65.4×40.8(世界図) 65.3×41.3(人形図)	池長孟 コレクション
19	坤輿全図(8幅一組)	南懐仁 (F.フェルピースト)	康熙13年(1674)	木版手彩	188.0×411.2	南波松太郎 コレクション
20	坤輿万国全図屏風(6曲一隻)		江戸時代前期	手書手彩	167.5×379.1	南波松太郎 コレクション
21	万国絵界図	石川流宣	貞享5年(1688)	木版手彩	126.9×57.7	池長孟 コレクション
22	世界万国地球図	稲垣光朗	宝永5年(1708)	木版手彩	127.4×42.8	池長孟 コレクション
23	うちわ型仏教系世界図		宝永年間 (1704～11)頃	手書手彩	150.8×155.5	南波松太郎 コレクション
24	天竺之図		寛延2年(1749)	手書手彩	167.0×133.2	秋岡武次郎 コレクション
25	地球分双卯酉五帯之図 (11枚一組)	沢田員矩	宝暦9年(1759)	手書手彩	各81.5×18.0	南波松太郎 コレクション
26	万国図	中山武成	安永8年(1779)	手書手彩	99.1×199.2	南波松太郎 コレクション
27	フィッセル改訂 ブラウ世界図模写図		18世紀末	手書手彩	160.0×295.0	池長孟 コレクション

No.	資料名	作者等	時代	版種	寸法(cm)	備考
28	地球図	司馬江漢	寛政4年(1792)	銅版手彩	55.4×86.4	南波松太郎 コレクション
29	世界四大洲図・四十八国 人物図屏風(6曲一雙)		18世紀末	手書手彩	各163.8×362.8	池長 孟 コレクション
30	地球万国山海輿地全図説	長久保 赤水	18世紀末	木版手彩	104.0×153.0	秋岡武次郎 コレクション
31	円球万国地海全図	石塚 崔高	享和2年(1802)	木版手彩	118.6×219.2	秋岡武次郎 コレクション
32	新訂万国全図	高橋 景保	文化7年(1810)	銅版手彩	114.8×197.7	南波松太郎 コレクション
33	北極中心世界地図	小佐井 道豪	天保8年(1837)	手書手彩	155.3×157.0	秋岡武次郎 コレクション
34	大輿地球儀	沼尻 墨麿	安政2年(1855)	木版手彩	径23.0	秋岡武次郎 コレクション
35	地球儀	堀内 直忠	安政2年(1855)	手書手彩	径31.7	南波松太郎 コレクション

<外国製地図>

36	シルバヌス編プロレ マイオス地図帳(1冊)	B. シルバヌス	1511年	木版	43.0×29.5	
37	オルテリウス編 『地球の舞台』(1冊)	A. オルテリウス	1570年	銅版手彩	41.0×28.5	
38	オルテリウス太平洋図	A. オリテリウス	1589年	銅版手彩	44.5×57.3	
39	ブランシウス世界図	P. ブランシウス	1594年	銅版手彩	47.5×64.0	
40	テイセラ日本図	L. テイセラ	1595年	銅版手彩	47.0×55.0	
41	ブラウ世界図	W. ブラウ	1635年	銅版手彩	51.1×60.5	
42	ダッドリー 日本及び蝦夷島図	R. ダッドリー	1661年	銅版手彩	55.0×82.0	
43	ジャロ編フランス地図帳 (2冊)	A. H. ジャロ	1695年	銅版手彩	56.0×43.0	
44	レランド日本帝国図	A. レランド	1715年	銅版手彩	53.5×63.5	
45	コバン・モルティエ世界図	P. モルティエ	1720年	銅版手彩	61.0×100.4	

<その他>

46	明版 広輿図	羅 洪先	嘉靖37年(1558)	木版	38.3×37.4	南波松太郎 コレクション
47	新改洛陽并洛外之図		明曆3年(1657)	木版	116.2×73.6	南波松太郎 コレクション
48	寛文大坂図		寛文1年(1661)	木版手彩	91.5×58.8	南波松太郎 コレクション
49	新板武州江戸之図		寛文4年(1664)	木版手彩	82.5×121.4	南波松太郎 コレクション

No.	資料名	作者等	時代	版種	寸法(cm)	備考
50	東海道路行之図		寛文年間 (1661~73)頃	木版	131.3×57.9	
51	唐船来朝図(長崎図)		江戸時代前期	木版手彩	64.8×145.1	池長 孟 コレクション
52	東海道・西海陸細見図 (元・享・利・貞)		江戸時代前期	木版	34.5×523.6(元) 34.5×554.4(享) 34.5×369.6(利) 34.5×369.6(貞)	南波松太郎 コレクション
53	大明省図(4枚一組)		江戸時代中期	手書手彩	186.1×175.8(右上部) 185.5×175.9(右下部) 186.2×174.7(左上部) 187.0×175.4(左下部)	南波松太郎 コレクション
54	船路絵図屏風(6曲一雙)		江戸時代中期	手書手彩	72.8×264.0	
55	江戸より長崎まで道中図 (2巻)		江戸時代中期	手書手彩	46.5×700.0 46.5×1000.0	
56	高野山細見絵図 上、下	橘 保春	文化10年(1813)	手書手彩	128.2×177.8(上) 128.4×177.0(下)	
57	東海道名所一覽	葛飾 北斎	文政1年(1818)	木版刷彩	43.6×58.4	南波松太郎 コレクション
58	東西蝦夷山川地理取調図 (28枚一組)	松浦 武四郎	安政6年(1859)	木版刷彩	—	
59	源内焼南北アメリカ図皿・ 源内焼ユーラシア・アフリカ図皿		江戸時代中期 江戸時代中期	志度窯(讃岐) 志度窯(讃岐)	径37.0 径37.8	アメリカ図皿は 池長 孟 コレクション
60	伊万里焼日本図皿		日本文政年製	有田窯(肥前)	27.3×30.3	池長 孟 コレクション
61	伊万里焼日本図皿 (鶴に方位盤)		本朝天保年製	有田窯(肥前)	径48.3	
62	日本地図印籠		江戸時代後期		8.4×8.6×2.0	

*会期中に展示替えをおこないます。

○ コロンブスとジパング展 平成4年12月16日～平成5年1月15日

イベリア半島から西廻り航海に出たコロンブスは、1492年にジパングに着いたと報告します（その後すぐに、そこは彼の世界地図にはない“新大陸アメリカ”と判明しますが）。「……この島こそは、ジパング島に違いないと考えますので、それに従っております。この島については、幾多のすばらしいことが伝えられており、わたしの見た地球儀や世界地図絵にも、この辺りにこの島が記されているのであります。」（林屋永吉訳『コロンブス航海誌』1492年10月24日付文から）

1492年、コロンブスがアメリカ大陸に漂着しました。後世への影響という点で、世界史上最大の事件といえます。そして、彼の航海の大きな目標がジパング、つまりマルコ・ポーロが『東方見聞録』の中で伝えた黄金の国ジパングでした。彼の航海計画は無謀なものでは決してなく（もちろん彼はアメリカ大陸の存在などは知りませんでした）、当時の地理知識に従って、ヨーロッパとアジアの間の海はさほど広くない、そしてその間にジパングがあると信じていたのです。

マルコ・ポーロのジパングは15世紀中頃には地図上にその姿を現し、16世紀中頃のポルトガル人の“日本発見”をへて、さまざまな姿を地図上に見せ、19世紀にシーボルトが正しい姿をヨーロッパに紹介するのです。

これら地図上の日本の姿は、地図の発達史と壮大な東西文化交流の証言者といえます。

展覧会では、博物館所蔵の古地図でもって、コロンブスの航海の動機となったジパングと、そしてその後の地図上の日本の姿を探ります。

<出品目録>

No.	資料名	作者等	年代	版種	寸法(cm)	備考
1	カタロニア世界図	A. クレスケス	1375年頃	(複製 図)		関西大学図書館所蔵
2	プトレマイオス地図帳 一冊	B. シルバヌス	1511年	木版	43.0×29.5	
3	アジア図	L. フリイス	1522年	木版	30.8×55.8	
4	カンデル世界図	D. カンデル	1550年	木版	34.0×36.5	
5	南北アメリカ大陸図	S. ミュンスター	1550年頃	木版手彩	28.8×38.5	表紙左下
6	ガスタルディ西半球図	J. ガスタルディ	1550年頃	木版	31.5×39.6	
7	地球の舞台 一冊	A. オルテリウス	1570年	銅版手彩	41.0×28.5	

No.	資料名	作者等	年代	版種	寸法(cm)	備考
8	アジア図	A. オルテリウス	1570年	銅版手彩	42.8×55.5	
9	東インド諸島図	A. オルテリウス	1570年	銅版手彩	41.0×53.3	表紙左上
10	タルタリア図	A. オルテリウス	1570年頃	銅版手彩	38.4×51.0	表紙右下
11	キサトゥス日本図	R. キサトゥス	1586年	(複製 図)		
12	太平洋図	A. オルテリウス	1589年	銅版手彩	44.5×57.3	
13	デ・ヨーデアアジア図	G.&C. デ・ヨーデア	1593年	銅版	40.3×54.0	
14	ブランシウス世界図	P. ブランシウス	1594年	銅版手彩	47.5×64.0	
15	テイセラ日本図	L. テイセラ	1595年	銅版手彩	47.0×55.0	
16	リンスホーテン東インド地域図	A. ラングレン	1596年	銅版手彩	40.3×53.2	表紙右上
17	プトレマイオス世界図	G. メルカトル	1605年	銅版手彩	39.0×52.0	
18	メルレーラ世界図	P. メルレーラ	1605年	銅版	32.6×53.0	
19	メルカトル中国及び日本図	R. メルカトル	1606年頃	銅版手彩	45.0×55.0	
20	ホンディウスアジア図	J. ヤンソン	1632年	銅版手彩	48.5×55.8	
21	カルディム日本図	A. カルディム	1646年	(複製 図)		
22	ブラウ中国図	J. ブラウ	1650年	銅版手彩	49.0×55.0	
23	プリエ日本図	P. プリエ	1650年頃	銅版手彩	41.5×57.5	
24	アジア図	N. サンソン	1652年	銅版手彩	26.9×37.5	
25	北東アジア図	H. ダンケルツ	17世紀後半	銅版手彩	45.0×56.0	
26	ヤンソン日本及び蝦夷島図	J. ヤンソン	1659年	銅版	46.8×58.0	
27	アジア図	N. フィッセル	17世紀後半	銅版手彩	45.0×55.5	
28	東インド地域図	H. ドンカー	1660年	銅版手彩	59.8×48.1	
29	中国および日本図	F. デ・ウィット	1660年頃	銅版手彩	44.8×55.9	秋岡 武次郎 コレクション
30	日本及びエゾ島図	R. ダッドリー	1661年	銅版手彩	55.0×82.0	
31	ブラウ世界図	J. ブラウ	1662年	銅版手彩	51.0×60.5	
32	東インド地域図	F. デ・ウィット	1680年	銅版手彩	53.2×65.3	
33	タベルニエ日本図	J.B. タベルニエ	1680年	銅版手彩	37.1×53.3	
34	大タルタリア図	G. カンテリ	1683年	銅版	46.5×60.9	秋岡 武次郎 コレクション

No.	資料名	作者等	年代	版種	寸法(cm)	備考
35	コロネリ日本図	V.M.コロネリ	1692年	銅版	50.0×69.7	
36	ファルク世界図	G. ファルク	1700年	銅版手彩	52.3×63.3	
37	マルティニ日本図	I. コフェンス C. モルティール	1700年頃	銅版手彩	54.6×72.5	
38	モル大アジア図	H. モル	1710年頃	銅版手彩	64.1×104.1	
39	アジア図	H. シェーラー	18世紀前半	銅版手彩	27.9×42.2	
40	レランド日本帝国図	A. レランド	1715年	銅版手彩	53.5×63.5	
41	ケンペル日本図	J.G.シヨイヒツエル	1727年	銅版手彩	46.6×53.3	
42	アジア図	M. ソイッター	1730年頃	銅版手彩	53.4×62.1	秋岡 武次郎 コレクション
43	ホーマンアジア図	H. ホーマン	1744年	銅版手彩	54.0×64.9	
44	ボーエン日本帝国図	E. ボーエン	1747年	銅版手彩	39.5×46.0	
45	ボンヌ中国朝鮮日本図	M. ボンヌ	1786年	銅版手彩	39.8×27.0	
46	ラ・ペルーズ航海記 一冊	J.F.ラ・ペルーズ	1788年	銅版	45.8×32.0	秋岡 武次郎 コレクション
47	シーボルト日本図	F. シーボルト	1840年	(複製 図)		

(4) ギャラリー展示

展覧会名	会期	内容
明治の引札展	4. 4. 4 ~ 5. 17	引札の中で、図柄の美しいものや特徴のあるものを展示
神戸ゆかりの芸術家たち展	4. 5. 24 ~ 7. 23	田村孝之介を中心に郷土ゆかりの芸術家を紹介
川西英版画展	4. 7. 25 ~ 9. 10	神戸が生んだ代表的版画家川西英の作品約30点で川西版画の魅力を紹介
江戸・明治の銅版画展	4. 9. 12 ~ 10. 18	館蔵の江戸後期から明治にかけての銅版画約30点を展示
別車博資水彩画展	4. 12. 9 ~ 5. 1. 21	神戸の水彩画家として名高い故別車博資の作品約30点
深山龍洞展	5. 1. 23 ~ 3. 17	現代かな書道に漢字の力強さを加え、新生面を開いた作品

○明治の引札展 平成4年4月4日～5月17日

「引札^{ひきふだ}」とは、広い意味で、江戸～明治・大正期にかけて使われた広告用のすり物をいいます。なかでも、明治～大正期にかけて、商店や廻船問屋が年末年始などに配った引札は、図柄や色彩が美しく、私たちの目を楽しませてくれます。

これらの引札は、明治中ごろまでは木版手摺りがほとんどで、松川半山・二代長谷川貞信・林基春ら関西で実力を発揮した浮世絵師が筆をふるいました。また、銅版刷りが流行した時期もありましたが、明治後半になると、木版摺りは衰退し石版刷りが主流となって、尾竹国一^{くにかず}・川崎巨泉・野村信豊らが活躍します。そのころの印刷所では、大阪の古島・中井が有名。

引札の画題には、七福神・鶴亀・日の出など縁起のよいめでたい図柄が最も多く、生産や財貨に縁の深いえびす・大黒がとくに好まれたようです。また、汽車・飛行機・自動車など最先端の乗り物、新聞や電話、最新流行の服装をした美人や子どもなどが描かれ、生活が洋風化していくようすがわかります。日清・日露戦争ごろからは軍人がたびたび登場したり、二宮金次郎など歴史上の人物が教訓的に描かれるなど、当時の社会的風潮も伝わってきます。他に、広告らしく店頭風景や商品をアピールした引札、暦や時刻表入りの実用的なものも数多く残されています。

もちろん、これらの画題は単一ではなく、えびす・大黒が藻を刈る^{もう}（儲かる）図柄と暦が並んで描かれるなど、いろいろな組み合わせが見られます。

今回の展覧会では、当時の世相や人々のあこがれた最新の風俗などを読みとっていただくために、引札を画題別に展示します。

No. 資 料 名 店舗所在地
[現在の市区名] 年 代 作 者 版 種

〈店頭風景や商品を描いた引札〉

1	貿易商・中根左平引札	中央区	明治時代	中 沢 版	木版色摺
2	内外石油礦油種油大販売・井上油店等引札	中央区	明治時代		石版色刷
3	三府風流小問物 ^{あらし} 卸小売・山口紅葉堂引札	茨木市	明治～大正時代	尾竹国一画	石版色刷
4	銘酒沢之鶴・石崎醸造場等引札	灘 区	明治時代	松川半山画 神田寿栄堂製	木版色摺
5	懐炉 ^{かいろう} 灰井二懐炉品々・養老堂引札	大阪市	明治時代		木版色摺
6	栗田式洋灯口金井二ホヤ・栗田商会本店等引札	大阪市	明治時代		木版色摺
7	大阪石油会社本店等引札	大阪市	明治時代	芳 光 画	木版色摺
8	生魚商・魚伊引札	東灘区	明治～大正時代	金森觀陽画	石版色刷
9	牛乳搾取直販売所・遠松牧畜場引札	長田区	明治～大正時代		石版色刷
10	下駄 ^{げだ} 製造小売・小田初次郎引札	東灘区	明治～大正時代		石版色刷

〈七福神・日の出・干支^{えと}などを描いた引札〉

11	皇国船来 ^{きんこ} 珊瑚珠卸商・小栗支店引札	大阪市	明治時代	長谷川貞信画	木版色摺
12	御印判彫刻所・文尚堂引札	兵庫区	明治24年(1891)	長谷川貞信画 佐 野 版	木版色摺
13	足袋 ^{あしひら} 装束厚司類・真島商店等引札	中央区	明治39年(1906)	古島竹次郎 印刷・発行	石版色刷
14	万染物 ^{よろぎ} はつぴ・成瀬宇之助引札	兵庫区	明治～大正時代	川崎巨泉画	石版色刷
15	海産商・田中吉三郎引札	大阪市	明治時代	鈴木年基画 脇本一辰堂製	木版色摺
16	西洋反物商 ^{たんもの} ・田中平次郎引札	中央区	明治時代	判 市 版	木版色摺
17	履物商 ^{はきもの} ・吉田商店引札	兵庫区	明治39年(1906)	古島竹次郎 印刷・発行	石版色刷
18	中入綿小袖 ^{まわらひ} 綿真綿類・中巻猪之助引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷

〈昔話や歴史上の人物を描いた引札〉

19	畳製造販売所・小田辰蔵引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷
20	万金物井二鍋釜 ^{さばき} 売捌所・岡田房吉引札	東灘区	明治～大正時代		石版色刷
21	御菓子商・甘玉堂引札	東灘区	明治～大正時代	野村信豊画	石版色刷

No.	資 料 名	店舗所在地 (現在の市区名)	年 代	作 者	版 種
22	各国 ^{しょうゆ} 醤油販売所・後周治引札	兵庫区	明治35年(1902)	古島竹次郎 印刷・発行	石版色刷
23	履物商・吉田商店引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷
24	材木商・河井商店引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷
25	米穀商・本浜商店引札	中央区	明治～大正時代		石版色刷
26	大蔵省指定 ^{タバコ} 煙草小売商・町田商店引札	中央区	明治～大正時代		石版色刷

〈世相や風俗を描いた引札〉

27	引札見本(郵便はがき・汽車の図)		明治時代	長谷川貞信画	木版色摺
28	生, 焼 ^ふ 菓子製造所・竹原勇吉引札	大阪市	明治時代		銅版色刷
29	舶来硝子板石版美術画各種販売商・伊浅 ^{ガラス} 商店等引札	大阪市	明治23年(1890)	林基春画	木版色摺
30	白米商 ^{しんたん} 井二醤油薪炭販売・上田商店引札	中央区	明治時代		石版色刷
31	とうふ商・野口勇吉引札	中央区	明治～大正時代		石版色刷
32	引札見本(自動車に乗る母子)		明治～大正時代	野村信豊画	石版色刷
33	諸紙帳簿文房具内外石鹸化粧品・川本商店引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷
34	永寿堂引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷
35	履物商・吉田商店引札	兵庫区	明治～大正時代		石版色刷

〈暦・時刻表・地図などを描いた引札〉

36	諸荷物運送廻船問屋 ^{めが} 糖商・前田治右工門引札	兵庫区	明治13年(1880)	長谷川貞信画	木版色摺
37	傘提灯 ^{うちょうちん} ひら所・藤岡久助引札	兵庫区	明治22年(1889)	広田米七翻刻 発行・印刷	木版色摺
38	砂糖 ^{こんぱいとう} 砂糖漬金米糖氷砂糖商・奥村商店引札	中央区	明治39年(1906)	工藤亥三郎 印刷・発行	石版色刷
39	とうふ商・野口勇吉引札	中央区	大正5年(1916)	中井徳太郎 編輯・発行	石版色刷
40	呉服文庫類えり文庫類・伊藤宗七引札	京都市	明治13年(1880)	岩本幸治郎 編輯・出版	木版色摺
41	御定宿・後藤桂治郎引札	中央区	明治26年(1893)		木版色摺
42	貨物運送取扱・北島運送店引札	中央区	明治33年(1900)	大室音吉編輯 古島竹次郎 印刷・発行	石版色刷

○川西 英版画展 平成4年7月25日～9月10日

かわにしひて
川西 英 (1894—1965)

明治27年、神戸市兵庫区東出町に生まれる。兵庫で代々回船業と乾物米穀問屋を営む淡路屋を屋号とする商家の七男。本名、川西英雄。兵庫県立第二神戸中学校(現兵庫高校)から兵庫県立神戸商業へ転入学。在学中より洋画を制作。大正11年、兵庫東出郵便局長となり、以後、業務のかたわら版画を制作するようになる。関西での創作版画運動の草分け的存在。

大正12年、日本創作版画協会展に初入選以後、斬新で明快な作風の本版画を意欲的に制作、国内、国外の展覧会に発表する。昭和3年、国画創作協会展に初入選。7年、日本版画協会会員に推される。10年、国画会会員となる。

自分で下絵を描き、版を彫り、丹念に摺りあげるという自画、自刻、自摺をつらぬき、ブラック、マチス、カンディンスキー、レジェ、ミロなど主に画集を通じて多くの西欧の画家の作品からうけた刺激を、独自の造形感覚と卓抜な色彩感覚で消化、新しいスタイルの親密で装飾性の高い本版画を完成させた。近年、版画が重要な表現のひとつとして認識され、川西の評価はとみに高くなっている。

昭和24年、兵庫県文化賞、37年、神戸新聞平和賞。40年、神戸において没。

出品目録

題 名	制作年	技 法	画面寸法
1. サーカス下絵	昭和8年(1933)頃	水彩	各47.0×25.0cm
2. 船 室	昭和16年(1941)	木版色摺	47.0×32.5cm
3. 古道具屋	昭和16年(1941)	木版色摺	45.3×60.3cm
4. 雪積小村画稿	昭和16年(1941)頃	鉛 筆	29.1×17.6cm
5. 雪積小村	昭和16年(1941)	木版色摺	21.0×32.1cm
6. 湖畔雪景	昭和17年(1942)	木版色摺	60.0×44.8cm
7. 元町初夏	昭和24年(1949)	木版色摺	48.3×32.2cm
8. 天の橋立	昭和25年(1950)	木版色摺	48.4×33.0cm
9. 船 窓	昭和27年(1952)	木版色摺	59.8×44.8cm
10. 船 室	昭和28年(1953)	木版色摺	44.8×59.8cm
11. 薔 薇	昭和28年(1953)	シルクスクリーン	48.3×33.1cm
12. 自 画 像	昭和28年(1953)	木版色摺	47.4×32.5cm
13. 雨の松島	昭和29年(1954)	木版色摺	33.2×48.5cm
14. アイヌの部屋小下絵	昭和30年(1955)頃	水 彩	47.9×33.1cm
15. アイヌの部屋	昭和30年(1955)	木版色摺	60.3×45.1cm
16. 国際海港	昭和32年(1957)	木版色摺	60.0×46.2cm
17. 露 台	昭和32年(1957)	木版色摺	61.1×46.2cm
18. 小春日和	昭和33年(1958)	木版色摺	45.3×60.8cm
19. アクロバット	昭和34年(1959)	木版色摺	45.4×60.0cm
20. 夜 の 港 (アネモネ)	昭和36年(1961)	木版色摺	59.5×44.5cm
21. 立 杭 (登り窯)	昭和36年(1961)	木版色摺	33.0×47.9cm
22. 室 津 (漁村路地)	昭和36年(1961)	木版色摺	48.3×33.1cm
23. 港 都 (信号旗)	昭和36年(1961)	木版色摺	45.0×60.0cm
24. 外国航路 (クレセントビル)	昭和36年(1961)	木版色摺	24.2×32.9cm
25. 赤い天幕	昭和38年(1963)	木版色摺	59.5×44.0cm
26. ネ オ ン (大阪)	昭和38年(1963)	木版色摺	45.5×60.3cm
27. 港 俯 瞰 (異人館)	昭和39年(1964)	木版色摺	32.9×48.4cm
28. 神戸情緒	昭和39年(1964)	木版色摺	32.5×47.5cm
29. 秋 寂 (苔寺)	昭和40年(1965)	木版色摺	33.1×48.3cm
30. 噴 上 る 馬 (絶筆)	昭和40年(1965)	木版色摺	60.8×45.7cm

作品保存のため会期中展示替えをすることがあります。

○江戸・明治の銅版画展 平成4年9月12日～10月18日

江戸幕府による鎖国によって跡絶えていた日本の銅版画は、18世紀後半以降の蘭学の興隆とともによみがえり、司馬江漢・亜欧堂田善ら江戸の画家たちによる製作が始まります。

その後銅版画製作の中心は京阪地方に移り、中伊三郎・初代玄々堂などの優れた作家が登場しました。二代玄々堂が東京へその活動の拠点を移すと、紙幣や切手などの印刷技術として銅版技法が発展します。

木版では不可能な精巧な描写力によって、銅版画は近代の印刷文化に貢献をしました。このような側面的一方で、当時の人々の異国への好奇心、または昔日の名所風景を緻密に描いた作品の数々は、現在の私達をも強くひきつける魅力を持っています。

神戸市立博物館は草創期の銅版画の充実したコレクションを有しています。これまであまり紹介される機会がなかったこれらの作品を通して、その小さな画面と繊細な描線に込められた近代人の思いの数々を感じ取っていただければ幸いです。

名 称	画 者	制作年	材 質	画面法量 (cm)
1. 江漢画室図	司馬江漢	寛政6年 (1794)	紙本銅版	26.4×13.7 25.6×13.6
2. 以頭微鏡観虫類図(天球全図のうち)	司馬江漢	寛政8年 (1796)	紙本銅版筆彩	26.0×11.7 (ボウフラ図)
3. 桜田馬場射御之図	亜欧堂田善		紙本銅版筆彩	11.8×17.3
4. 自駿河台水道橋眺望	亜欧堂田善		紙本銅版筆彩	10.8×15.8
5. 東都千住橋戸町ヨリ大橋の方ニ至ル景	安田雷洲		紙本銅版筆彩	7.1×11.9
6. 豹 図	近藤集延	文政13年 (1830)	紙本銅版	16.4×20.0
7. 海 獣 図	近藤集延	天保4年 (1833)	紙本銅版筆彩	15.8×20.4
8. 華頂山智恩院雪中景	井上九阜		紙本銅版	10.0×15.6
9. feelikon kastel	中伊三郎		紙本銅版	7.1×7.7
10. 珊瑚採取図	中伊三郎		紙本銅版	11.1×15.3
11. 西洋少年図	中井三郎		紙本銅版	6.1×10.3
12. 象 図	中伊三郎		紙本銅版	24.6×43.8
13. 大坂大川難波橋ヨリ東ヲ望図	中川信輔		紙本銅版	10.5×15.9

名 称	画 者	制作年	材 質	画面法量 (cm)
14. 浪花高津従仁徳天皇社境内望市中	中川信輔		紙本銅版	10.9×16.0
15. 江尻・吉田(東海道五十三次)	中川信輔		紙本銅版	7.7×12.5
16. 羅得島之港蘭船入津図	玄心堂舎山		紙本銅版	13.3×11.1
17. 指南車図	玄心堂舎山		紙本銅版	9.8×12.4
18. 西洋国大船の図	初代玄々堂		紙本銅版	14.6×20.2
19. 市街戦争図	初代玄々堂		紙本銅版	17.8×27.5
20. 西洋王侯図	初代玄々堂		紙本銅版	24.4×19.2
21. 机 山	初代玄々堂		紙本銅版	9.8×15.7
22. 洛西島原出口柳	初代玄々堂		紙本銅版	13.6×14.5
23. 極細銅版画貼交	二代玄々堂	安政元年 (1854)	紙本銅版	
24. 三条大橋御高札場ヨリ洛東遠望之図	松田龍山		紙本銅版	10.0×15.2
25. 俊寛喚船図	石田有年		紙本銅版色摺	14.1×18.4
26. 洛東南禅寺之図 (京都名所五十景のうち)	石田有年	明治23年 (1890)	紙本銅版	20.0×29.7
27. 浪花川崎鑄造場之風景	石田旭山		紙本銅版	11.0×13.8
28. 英吉利国大軍船図	岡田春燈斎		紙本銅版	19.5×24.5
29. 祇園石鳥居	岡田春燈斎		紙本銅版	14.2×20.6
30. 肥前長崎丸山	岡田春燈斎		紙本銅版	9.5×15.5
31. 江戸新大橋	橋本澄月		紙本銅版	9.2×14.8
32. 皇国蹴鞠西洋伝信機同 マグネット唐土二十五弦	青野桑州		紙本銅版	26.1×36.6
33. 明治天皇皇后両陛下肖像	結城正明		紙本銅版	20.3×29.0
34. HIPPOCRATES	結城正明	明治10年 (1877)	紙本銅版	64.1×47.1
35. 東京新大橋中洲三ツ股眺望	梅村翠山	明治3年 (1870)	紙本銅版	10.5×16.4
36. 東京墨江花之風景	大村鶴峯		紙本銅版	15.2×22.0
37. 子供と風船	星野隆吉		紙本銅版	14.3×9.7

○別車博資水彩画展 平成4年12月9日～平成5年1月21日

名 称	画 者	制作年	材 質	画面法量(cm)
38. 東京新橋停車場之夜景	安田其声	明治15頃 (1882)	紙本銅版	20.5×27.8
39. 神戸湊川(名所十景)	小林清親		紙本銅版	11.0×15.8
40. 西京嵐山(名所十景)	小林清親		紙本銅版	11.1×15.2
41. 駿州三保(名所十景)	小林清親		紙本銅版	11.0×15.8
42. 相州江之島(名所十景)	小林清親		紙本銅版	11.0×15.9
43. 仮装舞踏会	小林清親	明治20頃 (1887)	紙本銅版	29.2×37.1

別車博資(1900~1976)

明治33年(1900)、神戸市兵庫区川崎町に生まれる。本名、繁太郎。信濃橋洋画研究所(大阪市西区)において国枝金三に学ぶ。のち、石井柏亭の指導を受ける。兵庫県立兵庫工業高校で教鞭をとるかたわら一水会会員として水彩画を制作する。

昭和7年、日本水彩画会で第一賞受賞。同年、二科展初入選。39年、渡欧。日本水彩画会会員、評議員。関西水彩画協会創立会員。

水彩画の特質である透明感のある純度の高い色彩とにじみの効果をたくみに生かして、刻々変化する瀬戸の海、兵庫運河、港などの風光をとくに好んで描きとめた。41年、兵庫県文化賞受賞。51年(1976)、神戸で没。

光と彩雲の詩情——別車博資の画業——

水彩画は、日本において独自の発展を見せたが、いまだ油彩作品に比べ、本格的な表現法ではないとする誤った認識が一部に根強くあるように思う。水を媒剤にするか、油を媒剤にするかは、その保存上の強度の違いこそあれ、優劣の問題ではないのは当然のことである。しかし、こうした偏見は昔からあったようで、水彩を表現手段とする画家は、そうした見方を作品で翻意させようと、むしろ水彩にこだわり、深化させて、醇乎たる造形を世に送り出そうとするひそかな意気ごみを内面に保持するように思われる。別車博資の画業にも、静かではあるが、水彩の美質にこだわり続ける気骨のようなものが通流している。

別車は、グワッシュ(不透明水彩)風のフォーヴィスティックな、言わば「輸入された表現」からスタートし、しだいに風景の色と光を表現するため純度の高い透明感を効果的に用いようとするに至る。下地の紙の白さが、的確な筆の一閃によって光に変えられ、コントロールされたにじみの効果を利かして、いかにも「日本のみずえ」と呼ぶにふさわしい軽快で淡麗な風景世界が描き出されていったのである。

別車の諸作のうち、とくに小品は大作に遜色なく、むしろ大きさを意識させず秀逸なものが多い。それは水彩画の特性であると言ってもよい。なぜなら大作は写生中に風光が変化してしまうが、小品の場合、情景から得た靈感を持続させて仕上げることができる。別車の小品に習作(エスキース)がないのはそのためである。

画家は刻々変化していく気象と光を追いかけけるようにして描いている。別車の出来のよい作品には、移ろう光と空気を封じこめようとする一瞬の気合いと、風景を画の中につかまえた画家の充足した表情が背後に見て取れる。

わずかの筆のタッチが潮風の匂いや、冷えていく夕暮れの温度をふくらみを持って看取させる。そうした感覚は、俳句的でさえあり、別車の文人的側面を想察させる。別車は骨董趣味があり、浮世絵の有名な収集家でもあった。そう言えばほかしの効果や、後年の諸作のもつ情趣性は広重の風景に一脈通じるものがあるかも知れない。

別車博資は、中央で名を上げるような生き方はしなかった。彼はよき教師として生き、信濃橋洋画研究所の遺風を俗化させることなく、すぐれた神戸の水彩画家として生きた。私たちは、残された諸作の前に立って、瀬戸内の軽快な空気のみよかさを、あらためて深々と呼吸するのである。

出品目録

I 神戸の風光を描く

1. 兵庫・造船所風景	昭和初年頃	油彩・キャンパス	33.5×45.8	北浪邦夫氏蔵
2. 神戸山手風景	昭和6年(1931)	水彩・紙	38.6×50.5	個人蔵
3. 車のある風景	昭和7年(1932)	水彩・紙	23.7×33.0	北浪邦夫氏蔵
4. 旧栄町風景	昭和7年(1932)	水彩・紙	44.3×58.8	神戸市立博物館蔵
5. 海岸通り	昭和8年(1933)	水彩・紙	50.8×62.6	神戸市立博物館蔵
6. 京町筋	昭和14年(1936)	水彩・紙	22.1×33.2	個人蔵
7. 海岸通り(B)	昭和27年(1952)	水彩・紙	26.4×35.9	米谷嘉晃氏蔵
8. 神戸第5突堤より	制作年不詳	水彩・紙	19.8×33.4	個人蔵
9. 一ノ谷風景	昭和30年(1955)	水彩・紙	57.2×77.3	神戸市立博物館蔵
10. 工場街展望	昭和33年(1958)	水彩・紙	56.6×75.8	神戸市立博物館蔵
11. 神戸港暮色 〈第48回日本水彩画会展〉	昭和35年(1960)	水彩・紙	56.5×75.4	神戸市立博物館蔵
12. メリケン波止場より	昭和35年(1960)頃	水彩・紙	69.2×102.5	精機工業所蔵
13. 神戸風景(県庁前)	昭和38年(1963)	水彩・紙	38.1×54.4	神戸市立博物館蔵
14. 彩雲兵庫運河	昭和40年(1965)	水彩・紙	27.0×38.1	神戸市立博物館蔵
15. 雪の朝・中突堤〈兵庫120景展〉	昭和42年(1967)	水彩・紙	24.7×33.6	米谷嘉晃氏蔵
16. 北野風景	制作年不詳	水彩・紙	25.9×37.1	大木基弘氏蔵
17. 須磨	制作年不詳	水彩・紙	26.8×36.5	精機工業所蔵
18. 港俯瞰〈大丸・個展〉	昭和48年(1973)	水彩・紙	16.6×26.4	大木基弘氏蔵
19. 海に見える風景(須磨) 〈第63回日本水彩画展〉	昭和50年(1975)	水彩・紙	67.5×102.0	神戸市立博物館蔵

II 滞欧作

20. シテ(パリ)	昭和39年(1964)	水彩・紙	34.2×45.1	米谷嘉晃氏蔵
21. モンマルトル風景 〈大丸・ヨーロッパ風景展〉	昭和39年(1964)	水彩・紙	25.1×16.9	大木基弘氏蔵
22. セーヌに釣る〈一水会展〉	昭和39年(1964)	水彩・紙	67.0×100.3	神戸市立博物館蔵
23. スイス・アルプス(ヴェギス村)	昭和39年(1964)	水彩・紙	31.9×43.6	精機工業所蔵
24. スイス・モゼス峠よりモンブランを のぞむ〈大丸・ヨーロッパ風景展〉	昭和39年(1964)	水彩・紙	16.5×30.3	大木基弘氏蔵
25. オランダ・マルケン島	昭和39年(1964)	水彩・紙	15.9×21.4	精機工業所蔵
26. ローテンプルフ	昭和39年(1964)	水彩・紙	32.6×44.5	神戸市立博物館蔵
27. フィレンツェ ホテルアストリアにて	昭和39年(1964)	水彩・紙	26.2×34.5	神戸市立博物館蔵
28. トレド	昭和39年(1964)	水彩・紙	69.3×101.3	神戸市立博物館蔵
29. ピラミッド	昭和39年(1964)	水彩・紙	25.8×20.3	神戸市立博物館蔵

III 写生の旅

30. 雪晴れ風景	昭和29年(1954)	水彩・紙	37.7×56.5	北浪邦夫氏蔵
31. 九十九里浜〈一水会展〉	昭和41年(1966)	水彩・紙	69.3×100.1	神戸市立博物館蔵
32. 兵庫風景・梅檀の並木道(兵庫120景展)	昭和42年(1967)	水彩・紙	70.5×103.8	精機工業所蔵
33. 谷間の竹林	制作年不詳	水彩・紙	101.0×67.4	大木基弘氏蔵
34. 富士	制作年不詳	水彩・紙	34.3×51.3	精機工業所蔵
35. 日出づる頃(早春の大山)	制作年不詳	水彩・紙	35.0×52.0	精機工業所蔵
36. 嵐山風景	制作年不詳	水彩・紙	28.1×37.9	精機工業所蔵

37. 彩雲・明石	制作年不詳	水彩・紙	35.7×51.2	大木基弘氏蔵
38. 立杭の窯屋〈兵庫120景展〉	昭和42年(1967)	水彩・紙	26.4×36.9	米谷嘉晃氏蔵
39. 信楽の里	昭和42年(1967)	水彩・紙	25.4×36.4	北浪邦夫氏蔵
40. 丹波の朝霧〈兵庫120景展〉	昭和42年(1967)	水彩・紙	22.6×35.0	大木基弘氏蔵

※作品保存のため会期中、展示がえががあります。

出品目録

- 1 みなづき 昭和35年・毎日書道展
みなづきの朝空はれてそよかぜふき ゆらくこのはにあきかとおどろく
- 2 昔がたり 行遍・新古今和歌集 昭和35年・一楽書芸院展
あやしくぞかへ(る)きはつきのくもりにし 昔がたりによふけぬらん
- 3 蝸かきの聲 万葉集 昭和35年頃
ゆふかけに来なく 蝸幾許も 日毎にきけどあかねこゑかも
- 4 歌一首 昭和37年・毎日書道展
川原にはふくとしもなき風ありて 秋の麗日寒けくもこそ
- 5 つきの夜 昭和37年
つきの夜加茂にまゐりてよみはべりける
つきのすむみおやかはらにしもさえて 千どりとほたつこゑきこゆなり
- 6 あはぢがた 西行・山家集
あはぢがた瀬戸のしほひのゆふくれに すまよりかよふ千鳥なくなり
- 7 人麻呂旅の歌 柿本人麻呂・万葉集 昭和37、45年
玉藻かる敏馬を過ぎて夏舳の 野嶋がさきに舟ちかつきぬ 萬葉集柿本朝臣人麻呂の歌を
龍洞書
- 8 鳴戸観潮 昭和38年頃・関西総合美術展
しはきみに桜かつちる断崖の 鳴戸観潮はいまこそみごころ
- 9 伝教大師うた 最澄・新古今和歌集 昭和39年・関西総合美術展
阿耨多羅三藐三菩提の佛達 我立つたに冥加あらせたまへ 傳教大師御歌
- 10 いろは歌 昭和41年頃
いろはにはへとちりぬるを わかよたれそつねならむ うゑのおくやまけふこえて
あさきゆめみしゑひもせす
- 11 与謝野晶子うた 昭和42年
いのちなきものより命あるものへ うつるけはひすよ半の山がせ
- 12 歌一首 齋宮女御・拾遺和歌集 昭和42年頃
ことねにみねのまつかぜかよふらし いづれのをよりしらべそめけむ
- 13 よしの 湯原王・万葉集 昭和43年・現代書道三十人展
よしのなるなつみのかはのかはよどに かもそなくなる山かげにして

- 14 万葉長歌並びに反歌 昭和48年・日展
しきしまの日本のくにに ひとさばに みちてあれども ふちなみの おもひまつはり
若草の おもひつきにし きみがめに こひやあかさむ ながき此夜を
反歌 しきしまの日本のくにに人ふたり ありとし念はばなになげかむ
- 15 蘭亭清遊 自詠 昭和48年・日本書芸院昭和癸丑蘭亭展
さかつきをふくみてはまた詩をつくる 賢しき人等のうだけしづか也 蘭亭清遊を偲びて
龍洞作
- 16 藤原定家筆 教訓色紙臨書 昭和44、49年頃・和様書作家協会臨書展
中将教訓恩哥 よにふればかつはなのため家の風 吹つたへてよわかのうらなみ
- 17 藤原佐理筆 離洛帖節臨 昭和48年・和様書作家協会臨書展
(未_レ有)一定。著府之後。追可_レ聞_二子細_一。 恐惶頓首。 五月十九日 旅士佐理
謹上 春宮権大夫殿啓
- 18 万葉長歌 万葉集 昭和49年・日展
八千様の かみのみより 百船の 泊つるとまりと 八島くに 百船人の きだめてし
敏馬のうらは 朝かぜに うらなみさわき 夕なみに 玉藻は来よる 白沙 きよきはま
邊は ゆきかへり みれども飽かず 諾しこそ 見る人ごとに かりつぎ しぬげら
しき 百世へて しぬはえゆかむ きよきしらはま
- 19 若山牧水のうた 昭和50年・和様書作家協会臨書と展開展
いくやまかはこえさりゆかはさびしさの はてなむくにぞけふもたびゆく 牧水哥
- 20 孤独 昭和50年・日本の書展
雪の夜や 孤獨の性と 占はる 或人の句を
- 21 李白の詩 昭和51年
孤帆遠影碧空につき ただみる長江の天際にながるるを 李白の詩 龍洞書
- 22 芭蕉俳句二句 昭和52年・日展
須磨寺や ふかぬ笛聞く 木下閣
壺壺や はかなき夢を 夏の月
- 23 蕪村二句 昭和52年・かな書展
美しくや 野分のあとの 唐幸子
山は暮れ 野は誰そ彼の 薄かな 蕪村二句を
- 24 猫の子 小林一茶 昭和53年・毎日書道展
猫の子の ちよつとおさへる 木の葉哉 一茶の句を
- 25 絶筆 昭和55年・一東書道会展
てんやわんや 龍洞余生書

3 学習室・図書室

(1) 学習室

学習室は、「見る、触る、考える」というテーマに基づいている。常設展示室の展示部門で十分に表現できない分野を具体的資料を自由に手で触り、動かして、その事物の感触を味わい、楽しみながら神戸の発展の姿を学習する情報資料提供の場で、次の3つのコーナーをもっている。

見るコーナー

博物館で資料展示が困難な、動きのある祭りや生産物の工程を示すもの、また建築物や、空からの都市景観、神戸の歴史などをビデオディスクを使って映像で紹介している。

これらは、リクエスト型のテレビで解説も日本語、英語のいずれでも聞けるようにしてあり、各自が自由に見たいものを選択できるようにしている。

触るコーナー

常設展示室の原始・古代部門に展示されている縄文時代、弥生時代、古墳時代の土器の模型を配置し、自由に触り、各時代の土器の解説を見聞きしながら、土器の感触を直接体験できるようにしている。

また国宝桜ヶ丘出土の6号銅鐸のレプリカ（複製）にも触れ、銅鐸の音色を楽しんだり、壁面に描かれた古代人の生活想像画を見ながら、古代人のくらしを身近に感じてもらうというものである。

考えるコーナー

神戸に伝わる歴史や話題を、モニターテレビから放映される各コース5問題を視聴して、解答を考えていくのである。各席に備えつけられた操作盤の押ボタンを動かして、解答の正誤が、すぐにわかるようになっている。

各コースとも、1問題を2分程度にまとめ、10分間、このクイズを楽しむことができる。

(2) 図書室

この図書室は、神戸に関係したもの、東西文化交流に関係したもの、考古学に関係したもの、南蛮・紅毛美術に関係したものを4本柱としている。

館内の展示部門の基礎的理解を深めていきたい人、専門的に探求しようとする人たちのために、気安く利用できる開架式の図書室である。

4. 普及事業（平成4年度）

・博物館独自の事業

(1) 夏休み歴史散歩	4.8.4～8.5	2教室	33人
(2) 夏休み土器づくり教室	4.7.29～30	成形 講師 陶芸家 西念秋夫氏	65人
	4.8.20	焼成 教室	33人
(3) 開館10周年記念講演会	「文化の国際交流」—世界の中の神戸—		
	5.2.20	講師 作家 陳舜臣氏	295人

①計 426人

・共催事業

(1) ミュージアム・コンサート	〔神戸市民文化振興財団〕		
(20回)	4. 5. 28	神戸バッハアンサンブル	190人
	4. 5. 30	弘井俊雄ギターリサイタル	187人
	4. 6. 5	国友重紀フルートリサイタル	253人
	4. 7. 1	岩崎洗／淑デュオ	230人
	4. 7. 3	森山／田中グループ	151人
	4. 7. 31	中野チェンバロ	220人
	4. 8. 28	バロック音楽の夕べ	286人
	4. 9. 4	原ギターリサイタル	156人
	4. 9. 9	神戸からのしらべ	200人
	4. 9. 10	神戸からのしらべ	192人
	4. 9. 18	神戸室内合奏団	154人
	4. 9. 19	神戸室内合奏団	181人
	4. 9. 25	ポストモダン／ネオモダン	217人
	4. 12. 10	賀集律子ピアノリサイタル	215人
	4. 12. 11	稲垣・林リサイタル	89人
	4. 12. 18	宮本慶子マリンバリサイタル	186人
	5. 2. 25	市川ピアノ	137人
	5. 2. 26	フルートアンサンブル	196人
	5. 3. 6	弦楽四重奏	298人
	5. 3. 9	弦楽	160人

(小計 3,898人)

(2) 第6回午後のシャンソン

〔シャンソン協会〕

一日曜のティー	5. 1. 24	堀郁子	174人
タイムに贈る—	5. 1. 31	くつわともこ	213人
(8回)	5. 2. 7	峰大介	231人
	5. 2. 14	村山まり	222人
	5. 2. 21	のりお朋子	205人
	5. 2. 28	あべひろこ	203人
	5. 3. 7	鈴木潔子	188人
	5. 3. 14	合掌一朗	81人

(小計 1,517人)

(3) 映画上映会 (4回)

プラド美術館長編映画	4.7.18~19	2回〔ばーとん of P&P〕	324人
今井正監督作品名作集	4.5.24	1回〔神戸映画サークル協議会〕	233人
'92第5回KOBEL国際映画祭	4.10.25	1回〔神戸に映画文化を連絡協議会〕	149人
			(小計 706人)

(4) 邦楽サロン (8回)

〔邦楽鑑賞兵庫県連絡会〕

第7回三味線音楽シリーズ「琉球の風・日本の風」			
4.10.24「琉球音楽」	池田和夫	大湾清之／仲村米子他	149人
4.11.14「須磨琴」	小池義人	小池美代子／三浦徳子／山崎八重子他	168人
4.12.5「清元」	谷村陽介	清元延菊美／清元延柳／清元延さだ世他	85人
4.12.12「長唄」	佐野漣箕	杵屋勝之弥／杵屋勝寿治他	169人
4.12.19「常盤津」	常盤津小欣司	常盤津小欣司／常盤津綱男	65人
5.1.9「大和楽」	谷村陽介	大和三千世／大和久満他	143人
5.1.16「地唄」	佐野漣箕	菊聖公一／菊津木昭他	116人
5.2.6「新内」	谷村陽介	富士松 若瀬太夫／富士松 菊三郎他	171人
			(小計 1,066人)

(5) その他 (12回)

4.4.12	ギターリサイタル(莊村清志)	〔ばーとん of P&P〕	287人
4.5.2~5	ひとりしばいの芝居展	〔神戸芝居カーニバル実行委員会〕	396人
4.10.17	詩とギターの競演(朝永桐世・吉川二郎)	〔ばーとん of P&P〕	136人
4.11.6	デザインファクトリーセミナー	〔神戸ファッション協会〕	86人
4.11.8	尺八の世界(矢野司空)	〔名古屋竹心会〕	55人
4.11.15	胡弓合奏団による音楽会	〔畦地慶司胡弓合奏団〕	85人
4.11.22	ギタージョイントコンサート(ホセマヌエルカー・吉川二郎)	〔ばーとん of P&P〕	209人
4.12.13	シャンソンコンサート(セルジュケルバル)	〔神戸日仏協会他〕	271人
クリスマスダンス			
5.2.5	太平洋フォーラム		106人
			(小計 1,631人)
			②計 8,818人
			①+②合計 9,244人

平成4年度事業一覧

	常設展示室 1,2,3,4,5	特別展示室1	南蛮美術館室	特別展示室2	ギャラリー	普及事業
4月	日本と外国との文化交流のようすを神戸に焦点をあてながら展示	〈特別展〉 明清名画展 4(土)~5(日) 31日間 14,204人 (成澤・塚原)			明治の引札展 4(土)~5(日) (田井・間屋)	夏休み土器づくり教室 (7/28・7/30・7/31) 夏休み歴史散歩 (7/4・7/5)
5月		く ん 蒸 5(月)~5(土)			神戸ゆかりの芸術家たち展 5(日)~7(木) (岡・塚原)	
6月		〈特別展〉 正倉院の故郷—中国の金・銀・ガラス展— 6(火)~7(日) 30日間 29,087人 (森田・赤木・国木田)			川西 英展 (岡・塚原) 7(土)~9(木)	
7月	〈企画展〉 新収蔵品展(平成3年度収集分) 7(土)~8(日) (間屋・田井)			〔古地図企画展示〕 館蔵古地図名品展 (三好・赤木)	江戸・明治の銅版画展 (塚原・勝盛) 8(土)~9(日)	
8月	〔南蛮企画展示〕 黄葉美術展 (成澤・塚原)			〔南蛮企画展示〕 南蛮美術名品展 9(土)~10(日) (岡・勝盛)	〈企画展〉 日本の摺経展 (間屋・前田)	
9月	〈特別展〉 衣裳文化展—森 英恵とパリ・オートクチュール 10(木)~10(日) 40日間 30,580人 (宮本・勝盛・前田・松谷)			別車博覧 水彩画展 (岡・塚原) 11(木)~12(木)		
10月	〔古地図企画展示〕 コロンパスと ジバング展 (三好・赤木) 12(木)~13(金)	〔南蛮企画展示〕 蘭学をめぐる 画家たち展 (塚原・成澤)	〈企画展〉 源平錦絵展 (間屋・田井)	深山龍洞展 (成澤・塚原) 14(土)~15(木)		
11月	〈特別展〉 銅鐸の世界展 16(土)~18(日) 38日間 15,320人 (森田・宮本)			開館10周年記念講演会 (7/31)		
12月	〈特別展〉 ルーヴル美術館 200年展					
1月						
2月						
3月						

収蔵資料

1 新収資料

(1) 受贈資料

資料名	数量	寄贈者名
上田桑鳩筆 明月照積雪	1面	菅野清峯
門口町水帳(明和8)	1冊	西川光一
御検地写名寄帳(寛政10)	1冊	"
御検地写名寄帳(文化10)	1冊	"
摂津国八部郡奥平野村全図	1舗	森本泰好
奥平野村字別地区	1綴	"
奥平野村地誌	1綴	"
神戸市奥平野村全図	1枚	"
奥平野村全図	1枚	"
小平野庄上之庄水論始終記	1冊	"
薩摩藩浜本陣小豆屋の門瓦	5点	(財)神戸積徳会
神戸関係絵葉書	14枚	松本正美
泰西王侯騎馬図複製	1隻	ナカシャクリエイティブ
深山龍洞作品	50件	深山八州夫
生島五郎兵衛家文書	一括	生島藤根子

(2) 購入資料

資料名	数量	資料名	数量
ア 絵画		清盛入道布引滝遊覧悪源太義平靈討難波次郎 国芳画	3枚続
摂州鼻熊合戦図	1舗	源平大合戦 国芳画	3枚続
摂州布引瀧図 藤原俊秀画	1枚	耀武八景 須磨寺晚鐘 国芳画	1枚
須磨寺全景 文顕画	1枚	豊前国羅漢寺真景	2枚
源義経一谷裏手之図	3枚続	喜多武清 駱駝図	1幅
西国名所之内 兵庫磯之町 貞秀画	1枚	山田宮常筆 牡丹に白頭翁図	1幅
松井慶徳筆 松虎図	1幅	戸田忠翰筆 鷹に小禽図	1幅
美盾八鏡 八嶋夕照 国芳画	3枚続	洛中洛外図	1隻
名所江戸百景の内 羽田の渡し 広重画	1枚	オルテリウス肖像	1枚
鍛曳の図	3枚続	六様性国芳自慢先負文覚上人 国芳画	1枚
小原慶山筆 諸葛孔明陣中図	1幅	朝比奈絵めぐり 二代貞信画	1枚
品川妓楼図	1幅	信州川中島合戦 国芳画	3枚続
松井慶徳筆 海棠に白頭翁図	1幅		
義経記五条橋之図	1枚	イ 工芸品	
川原慶賀筆 長崎港図	1点	カットガラス台付鉢	1点
大垣泰治郎 因幡風景(冬)	1点	デルフト色絵阿蘭陀皿	4枚
西洋婦人図鞆絵	1面	染付花卉に西洋風景図大皿	1枚
敦盛 直実 春信画	1枚	染付花卉に西洋風景図刀掛	1点
摂州須磨内裏源平大合戦之図 国貞画	5枚続	浅草図ガラス徳利	1点

資料名	数量	資料名	数量
切子ガラス小皿	5点	エ 古文書	
カットガラス栓付瓶	2点	淡河村長福寺文書	2通
オランダ・染付落ち穂拾い図小皿	27枚	兵庫津神田家文書	22通
イギリス・赤紫西洋男女図小皿	51枚	武庫・兎原・浄土元祖廿五拜	1枚
オランダ・染付花卉文皿	1枚	上筒井村乳母奉公人文書	1通
イギリス・染付男女喫茶図小皿	9枚	嘉納治兵衛宛書簡	一括
イギリス・赤紫孔雀図小皿	19枚	摂州八部郡西須磨村文書	1箱
イギリス・青磁小皿	9枚	兵庫津氏神出入一件請証文	1冊
オランダ・染付異国風景図深皿	17枚	兵庫津御用鎔名前書上	1冊
オランダ・染付花卉文皿	1枚	末野家関係文書	23点
オランダ・染付異国風景図皿	1枚		
オランダ・染付西洋風景図皿	10枚	オ 歴史資料	
オランダ・染付ウィロウパターン深皿	10枚	相撲番付兵庫高越山谷五郎横綱土俵入	1枚
イギリス・緑地異国風景図皿	2枚	兵庫小学校卒業証書等	18枚
オランダ・染付異国風景図皿	2枚	神戸名所案内記	1点
オランダ・染付異国風景図皿	1枚	神戸市灘区戦災復興土地割整理資料	1点
オランダ・染付異国風景図皿	1枚	神戸市六甲八幡土地区画整理組合確定図(昭和18)	1冊
オランダ・染付花卉文深皿	1枚	ミカドラム子製造販売所・村尾商店等引札	1枚
オランダ・赤地投げ縄図皿	2枚	白米商橋本商店引札	1点
オランダ・染付花卉文鉢	1点	米穀検査施行に付心得(明治41)	1点
オランダ・金彩染付異国風景図鉢	1点	牛乳商中土井芳松引札	1枚
オランダ・染付西洋風景図鉢	1点	荷車取締規則(明治37)	1冊
オランダ・染付西洋風俗図碗	10口	住吉村農会々則	1点
オランダ・染付西洋少年図碗	17口	大正3年度県税戸数割賦課額人数表	1点
イギリス・緑地西洋少女図蓋付碗	7口	虎屋号パン製造売出し披露	1点
オランダ・染付落ち穂拾い図鉢	1点	第2回貿易製産品共進会規則(大正2)	1点
イギリス・染付西洋風景図マグカップ	1点	観艦式記念海港博覧会全景図	1枚
オランダ・染付異国風景図盃	5点	旅館神戸館葉書等	1点
金彩藍色カットガラス碗	1口	神戸築港問題沿革誌(明治41)	5枚
蓋付ガラス飾瓶	1合	桑港万国博覧会兵庫県・神戸ガイド	1点
		神戸開港50年祭五大祝典記念号(大正10)	1点
ウ 書籍・典籍		源平展覧会写真帖(昭和4)	1冊
増補有馬手引草(享保2)	1冊	絵入耶蘇基督一代記 全(明治12)	1冊
摂州摩耶山記(写)	1冊	神戸区兵庫町会議案・議事規則(明治13)	4冊
湯山千句	2冊	株式会社川崎造船所製鋸工場	1冊
絵本勇者鑑	1冊	兵庫県新風景 福田眉仙(昭和7)	1冊
玄対画譜遺稿	1冊	順通散・油屋佐兵衛引札	1枚
司馬江漢 独笑妄言(写本)	1冊	石油・柿崎常七引札	1枚
源氏活花記 千葉龍卜編	3冊	兵庫国立銀行規則	1冊
邦彩蛮華大宝鑑	2冊	神戸商工録	1冊
		将校団員名簿	1冊

資料名	数量
乾物商・太田徳介引札	1枚
THE SIGHTS AS SEEN FROM THE CARWINDOWS	1冊
FIFTY YEARS IN JAPAN	1冊
摂州矢部郡車村妙法寺村石炭砒之図	1枚
引札見本(蓄斎画)	1点
銘酒醸造元紅野平二郎引札	1枚
Directory of Foreign Firms in Kobe & Osaka 1935-6	1冊
宮垣秀次郎玻璃製造所引札	1枚
ラムネ瓶	15本
旅館神戸館広告	1枚
和洋紙問屋一色市右衛門引札	1枚
神戸市平野大正3年改称新町名地番地籍図	1冊
古写真・神戸港	1点
坂神連合第2回燐票大会	1帖
足袋類仕入所藤井藤七引札	1枚
各国煙草刻巻類大販売所西藤長次郎引札	1枚
諸国向万平襟品々野村武助引札	1枚
金箔製造商菱田浅治郎引札	1枚
古写真・布引雌滝	1枚
古写真・布引雌滝	1枚
古写真・布引雌滝	1枚
古写真・布引	1枚
古写真・南から神戸港を望む	1枚
古写真・諏訪山より神戸市街を望む	1枚
古写真・オリエンタル・ホテル	1枚
古写真・ヘレン・リーフマース号	1枚
古写真・追谷付近より神戸港を望む	1枚
古写真・諏訪山温泉	1枚
古写真・諏訪山から神戸市街を望む	1枚
古写真・伊藤博文	1枚
古写真・The Fishermen's Life in Japan	1枚
古写真・諏訪山より神戸市街を望む・有馬温泉	2枚
古写真・相生橋付近より東を望む	1枚
古写真・有馬鼓ヶ滝	1枚
V.O.C 関連資料	216点
のぞき眼鏡	1点
神戸名所絵葉書	7枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	9枚
神戸名所絵葉書	8枚
神戸名所絵葉書	4枚

資料名	数量
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	3枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	9枚
神戸名所絵葉書	8枚
神戸名所絵葉書	6枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	14枚
神戸名所絵葉書	30枚
神戸名所絵葉書	7枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	20枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	7枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	19枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	7枚
神戸名所絵葉書	3枚
トア・ホテル絵葉書	3枚
トア・ホテル絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	18枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	3枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	7枚
神戸名所絵葉書	9枚
神戸名所絵葉書	4枚
オリエンタル・ホテル絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	3枚

資料名	数量
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	5枚
The Clifford-Willkinson Tansan Mineral Water Co.,Ltd.	
関係絵葉書	2枚
The Clifford-Willkinson Tansan Mineral Water Co.,Ltd.	
関係絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	5枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
神戸名所絵葉書	2枚
「JAPANESE BOY AT KOBE」絵葉書	2枚
真光寺大仏	1枚
神戸名所絵葉書	2枚
オリエンタル・ホテル絵葉書	5枚
オリエンタル・ホテル絵葉書	4枚
神戸名所絵葉書	3枚
神戸名所絵葉書	4枚
神戸名所絵葉書	6枚
神戸名所絵葉書	3枚
神戸名所絵葉書	3枚
神戸名所絵葉書	25枚
関西貿易商案内	1冊
帝国実業名鑑	1冊
兵庫県御影師範学校日英博覧会出品記念写真帳	1冊
鉄道50年祝典記念写真帳	1冊
鐘淵紡績株式会社兵庫支店写真帳	1冊
三菱造船株式会社神戸造船所一般図(大正9)	1枚
三菱造船株式会社神戸造船所一般図(大正12)	1枚
輸出生糸等商標	21枚
神戸市近郊ハイキングコース	1舗
神戸市内電信区画図	1枚
苧藻島運河及新湊川埋立地平画図	1枚

資料名	数量
仁風便覧	1冊
新板播州順参双六	1枚
カ 地図・絵図	
兵庫津寺社方絵図	1舗
鳥原村絵図	1点
神戸港及大坂湾図	1枚
大坂・兵庫・友ヶ島海図	1枚
神戸兵庫実測新図(明治21)	1枚
和英詳密神戸市全図(明治24)	1枚
神戸市新図(明治41)	1枚
実地踏査神戸市新図(大正10)	1枚
神戸市全図(昭和8)	1枚
リンスホーテン・東インド地域図	1枚
ドンカー・東インド地域図	1枚
デ・ウィット・東インド地域図	1枚
内裏之絵図(宝永6)	1舗
京大絵図(宝永6)	1舗
東インド図	1枚
ヤンソニウス・中国図	1枚
サンソン・アジア図	1枚
インド洋図	1枚
ゾイッター・日本図	1枚
マルティニ・中国・日本図	1枚
ブローム・中国・日本図	1枚
ロッシ・中国・日本図	1枚
キ 複製・模型・模造	
オルテリウス「地球の舞台」(1595年複製)	1冊
桜ヶ丘1号銅鐸 複製	1点
気比1号銅鐸 複製	1点
気比4号銅鐸 複製	1点
平方遺跡出土銅鐸鑄型 複製	1対

(3) 購入図書 154冊

(ただし雑誌はのぞく)

ア	考古関係	9冊
	「論苑 考古学」	
	「吉備の考古学的研究」上、下巻	
	「銅鐸の研究」資料篇、図録篇 他	
イ	歴史関係	24冊
	「日本史学年次別論文集」古代1・2、中世1	
	「長崎叢書」1～4 他	
ウ	美術関係	14冊
	「世界美術大全集」11、23	
	「秘蔵日本美術大観」2、8	
	「琳派」5 他	
エ	地理・地図関係	11冊
	「高橋景保の研究」	
	「日本歴史地名大系」32	
	「ブラウの世界地図」 他	

オ	社会科学関係	11冊
	「日本近代思想大系」7、別巻	
	「外国新聞に見る日本③」本編上・下、原文編	
	「葬と供養」 他	
カ	郷土関係	2冊
	「神戸興業略年表」	
	「霧の中のささやき」	
キ	児童図書関係	7冊
	「ものの始まり50記」 他	
ク	その他	50冊
	「昭和ニュース事典」5、6	
	「全国図書館案内 補遺」 他	
ケ	外国語図書	26冊
	“Atlantes Neerlandici” 1～6	
	“故宮書畫圖録” 1～9	
	“中華古文明大圖集” 1～8 他	

2 資料の特別利用

(1) 館外貸出

貸出先	展覧会名	期間	点数	費料名
神戸海洋博物館	常設展示	平成4年4. 1～5. 31	1	平清盛坐像(西村公朝)
神戸市教育委員会文化財課(神戸市埋蔵文化財センター展示室)	西神ニュータウン内第65地点遺跡出土銅鐸鑄型展示会	4. 4. 4～5. 5	3	奈良県唐古・鍵遺跡出土銅鐸鑄型(複製) 兵庫県赤穂市上高野出土銅鐸鑄型(複製) 福井県加戸下屋敷遺跡出土銅鐸鑄型(複製)
財団法人柿衛文庫	春季特別展 絵入俳書とその画家たち	4. 4. 4～5. 17	2	江戸名勝図の内 自上野望山下(亜欧堂田善) 多賀城碑(亜欧堂田善)
大阪府立弥生文化博物館	春季特別展 弥生の神々	4. 4. 11～6. 7	2	国宝桜ヶ丘第10号銅鐸 国宝桜ヶ丘第11号銅鐸
北海道立近代美術館	日本のリアリズム1920S～50S	4. 4. 11～6. 7	1	黄衣婦人像(田村孝之介)
下関市立美術館	開館1周年記念企画展	4. 6. 13～7. 26		
大牟田市立三池カルタ記念館		4. 4. 21～5. 17	5	天正かるた版木重箱 うんすんかるた色絵合 うんすんかるた(3組)
財団法人佐野美術館	池田遙邨展	4. 4. 24～5. 25	1	雪の神戸港(池田遙邨)
仙台市博物館	特別展 絵画は科学する——江戸の好奇心と美術表現——	4. 4. 25～6. 7	54	世界四大洲図・四十八国人物図(6曲1双) 風牡丹図(鄭培) 燕子花に西洋鉄図(佐竹曙山) 相州鎌倉七里浜図(司馬江漢) 異国風景人物図(双幅)(司馬江漢) 今戸瓦焼図(亜欧堂田善) 阿蘭陀船図説(寛政2年版)(林子平の発行) 天球全図の内 序文 太陽真景図・同解説(2枚) 月輪真景図・同解説(2枚) 以顕微鏡観雪花図・同解説(2枚) 以顕微鏡観虫類図・同解説(3枚)(以上22枚の内10枚) (司馬江漢) 東都名所全図(亜欧堂田善) 自隅田川望南之図(亜欧堂田善) 羽子板型日本図(顕微鏡付き) オランダ人外科療治之図 芝居狂言舞台顔見世大浮絵(奥村政信) 六玉川の内高野の玉川(鈴木春信) 阿蘭陀フランスカノ伽藍之図(歌川豊春) 浮絵紅毛フランクイノ湊万里鐘響図(歌川豊春) 浮絵アルマニヤ珍藥物集之図(歌川豊春) 二見浦曙の図(歌川国貞) 新板阿蘭陀浮画(5枚)(歌川国長) 羅得島湊紅毛船入津之図(歌川国虎) 忠臣蔵十一段夜討之図(歌川国芳) あふみや紋彦(歌川国芳) 阿蘭陀面鏡江戸八景(8枚)(袋付) (葛飾北斎) 風流無くてななくせ

貸出先	展覧会名	期間	点数	資料名
				の内遠目鏡(葛飾北斎)東海道名所一覽(葛飾北斎)ドドネウス本草書 銅版諸国馬画集(リーディング)大画法書(ライレッセ) ヨンストン動物図譜 海舶来禽図彙(北尾政美)反射式のぞき眼鏡 グラヴェールオランダ船文ガラス入り鼈甲櫛
兵庫県立歴史博物館	特別展 湯の聖と俗とー風呂と温泉の文化ー	4. 4. 25~6. 14	26	異人館浴槽 有馬鉱泉水瓶(2点) 有馬六景 有馬温泉分析表 有馬名所案内 有馬絵図扇子 上州草津温泉図 上州草津温泉之図 上州草津温泉之図 諸国一目道中記 温泉道しるべ 諸国温泉功能鑑 諸国温泉功能鑑 大日本温泉一覽 女風呂図(豊原国周)温泉玉の湯引札 上州川原湯温泉全図 野州日光山温泉之図 紀州龍神温泉之図 龍神湯本家居之図 上野国伊香保鉱泉浴客病痾全快祝宴(橋本周延)伊香保鉱泉浴客諸病全快祝宴(橋本周延)開化温泉之図(橋本周延)肌鏡花の勝婦湯(豊原国周)時世粧年中行事之内 競細腰雪柳風呂(落合芳幾)馬関温泉引札
神戸海洋博物館	船首をジパングへ!ーコロンブスとその時代ー	4. 4. 28~5. 31	15	世界図(ミュンスター)ブトレマイオス地図帳(シルバヌス編)新大陸図(ミュンスター)太平洋図(オルテリウス)タルタリア図(オルテリウス)アジア新図(メルカトル)アジア図(デ・ヨーテ)東方案内記(リンスホーテン) 十字架透かし罽 南蛮人透かし罽 南蛮船図罽 金唐革脇差 楽器を吹く南蛮人図小柄 南蛮人散策図八稜鏡 十字架南蛮模様金時絵印籠
財団法人NHKサービスセンター(東急百貨店本店7階特設会場)	織田信長展	4. 4. 29~5. 11	3	聖フランシスコ・ザヴィエル像(複製) 都の南蛮寺図(複製) 泰西王侯騎馬図(複製)
財団法人国際船と海の博覧会協会(イタリア共和国リグーリア州ジェノバ市会場)	国際船と海の博覧会	4. 5. 15~8. 15	1	遣唐使船模型
兵庫県立近代美術館	幕末・明治の木版画	4. 6. 4~8. 9	21	東都三ツ股の図 東都名所の内 両国の涼 するがだひ かすみか 関 浅草今戸 二十四孝童子鑑の

貸出先	展覧会名	期間	点数	資料名
				内 董永 曾参 大舜 郭巨 陸績 唐夫人 三国妖狐図会の内 南天竺乃国王班足太子怪力 菴姐 巳駟堂に被魅 華陽夫人采姫が眼を射て班足王をなぐさむ 華陽夫人老狐の本形を顕し東天に去る 和漢準源氏乙女悪狐華陽夫人顕(以上 歌川国芳) 写真鏡の内 山狐図 涼岳図 大象図 美人図(落合芳幾) 写真鏡風船図(梅素亭玄魚)
神戸市市民局文化振興課(神戸市庁舎1号館2階市民ギャラリー)	大垣泰次郎洋画展	4. 7. 31~8. 24	3	因幡風景(冬)砂丘(暁)砂丘(はまごう)(以上 大垣泰治郎)
文化庁文化財保護部(アーサー・M・サックラ一美術館(アメリカワシントン))	海外展 古代の日本	4. 8. 9~11. 2	2	国宝桜ヶ丘第2号銅鐸 国宝桜ヶ丘第5号銅鐸
赤穂市立歴史博物館	特別展 銅鐸	4. 8. 12~9. 23	16	入室里出土朝鮮式小銅鐸(複製) 投上出土銅鐸(複製) 伝讃岐出土銅鐸(複製) 桜ヶ丘第1号銅鐸(複製) 桜ヶ丘第5号銅鐸(複製) 桜ヶ丘第6号銅鐸(複製) 桜ヶ丘第7号銅鐸(複製) 桜ヶ丘第11号銅鐸(複製) 桜ヶ丘第12号銅鐸(複製) 桜ヶ丘第13号銅鐸(複製) 久田谷出土銅鐸片(複製) 桜ヶ丘第1号銅戈(複製) 桜ヶ丘第2号銅戈(複製) 桜ヶ丘第3号銅戈(複製) 唐古・鍵出土銅鐸鑄型(複製) 加戸下屋敷出土銅鐸鑄型(複製) 二州橋夏夜図(亜欧堂田善) 東都大地震(安田雷洲) 城中大火図(一養亭芳滝) 泰西王侯騎馬図(複製)
神奈川県立近代美術館	火と炎の絵画	4. 8. 22~9. 27	3	
東武美術館	栄光のハプスブルク家展ー一千年帝国の神話ー	4. 8. 29~10. 27	1	
産経新聞社事業局(池袋東武百貨店 長崎市立博物館 大阪ナビオ美術館 石川近代文学館)	生誕百年記念展 もうひとりの芥川龍之介	4. 9. 10~9. 15 4. 10. 13~11. 15 5. 1. 22~2. 21 5. 2. 28. 3. 28	19	永見徳太郎旧蔵キリシタン遺物(象牙製十字架 聖母像 荊冠のキリスト像 ロザリオ 大コンタツ)(以上全会場) 亀山焼(洋文字染付鉢 長崎港図猪口)(以上 長崎・大阪会場) 時計図案帳(河村南嶺) 紅毛ボンポコボン図(西苦楽) 紅毛人闘牛図(伝井上市右衛門) 刺繍二十四孝図・郭巨 長崎版画の内 唐人蛇躍 朝鮮人山狩之図 HOLLANDER(以上 長崎会場) 万国人物図巻(伝荒木如元) 紅毛

貸出先	展覧会名	期間	点数	資料名
				婦人と召使図 長崎版画の内 大 清人朝鮮人琉球人阿蘭陀人魯西亜 人 大清朝人 フロシヤ人(以上 大阪会場)
茨城県近代美術館	都市風景の発見—近代 の一視点・描かれた都市	4. 9. 12~10. 18	1	横浜街頭・横浜の日本兵たち(チ ャールズ・ワーグマン)
青森県立郷土館	特別展 日本近代銅版画 と今純三	4. 9. 15~10. 11	6	右大臣大久保公(キヨソーネ)大 藏卿金一円札(神功皇后)(キヨソ ーネ)東京品川洋廻漕蒸汽入津之 図(松田緑山)京通商司為替会社 銭五百文札(松田緑山)東京築地 保亭留館庭之図(松田緑山)七里 浜図(司馬江漢)
高松市歴史資料館(作 業場所 東京国立博物 館内 株式会社東芸分 室)	複製品製作にともなう着 色のため	4. 10. 1~12. 31	1	伝香川出土絵画銅鐸(複製)
向日市文化資料館	特別展 —向日町成立 400年記念— 洛外の世 界	4. 10. 3~11. 8	2	京都一覽図画(6枚1組)都の南 蛮寺図(狩野宗秀)(複製)
兵庫県立歴史博物館	特別展 城郭物語	4. 10. 3~11. 23	8	江戸名所一覽及六(二代歌川広重) 古今東京名所(1件19枚)(三代歌 川広重)東京開化三十六景(1帖 37枚)(三代歌川広重)岡山城内博 覧会図(5枚)(常彦)
佐賀県立美術館	企画展 鍋島緞通—も めんの華—	4. 10. 9~11. 3	1	朝鮮通信使来朝図(羽川藤永)
東京国立博物館	特別展 目で見る120 年	4. 10. 13~11. 23	3	元ト昌平阪聖堂ニ於テ博覧会図(昇 齋一景)元昌平坂ニ於テ博覧会諸 人群集之図(昇齋一景)博覧会図 式
芦屋市立美術博物館	特別展 弥生争乱の瀬戸 内海	4. 10. 17~11. 23	25	伯母野山遺跡出土資料(23点) 生 駒銅鐸(複製) 青谷遺跡出土石戈
福島県立博物館	企画展 定信と文晁— 松平定信と周辺の画人た ち—	4. 10. 17~12. 6	10	磐城紀行(伝白雲)真景帖(白雲) 鉄拐仙人図(白雲)富嶽山頂図(白 雲)奥州白河郡大槻村山泉図(巨 野泉祐)観魚亭舟中望(安田田騏) 異国船図(谷文晁)芭蕉に白頭翁 図(鸞卿)菊に白頭翁図(鸞卿) 諸国馬図集(リーディングー) 隠元・木庵・即非像(喜多元規) (展示は会期前半11月8日まで)
池田市教育委員会(池 田市立歴史民俗資料館)	特別展 池田文化と大坂	4. 10. 18~12. 6		雪の神戸港(池田遙邨)
毎日新聞社(高島屋東 京店 高島屋大阪店 高島屋京都店 高島展 横浜店)	池田遙邨展	4. 10. 22~10. 27	1	
		4. 10. 29~11. 3		
		4. 11. 5~11. 10		
		4. 11. 12~11. 17		
滋賀県教育委員会(滋 賀県立安土城考古博物 館)	開館特別展 織田信長と 安土城	4. 11. 1~11. 23	4	(重文)織田信長像 聖フランシ スコ・ザヴィエル像(複製) オルテ

貸出先	展覧会名	期間	点数	資料名
財団法人広島市歴史科 学教育事業団(三越広 島店 8階催物会場)	第15回広島市文化財展 広島への序曲—信長とそ の時代—	4. 11. 3~11. 8	2	リウス世界図(1587年刊) V.O. C.マーク入り小型艦載砲 都の南蛮寺図(狩野宗秀)(複製) 聖フランシスコ・ザヴィエル像(複 製)
神戸市立小磯記念美術 館	開館記念特別展 小磯良 平の世界展	4. 11. 3~12. 13	1	池長孟肖像(小磯良平)
須磨磨屋倶楽部 ラジオ 関西 Suma Newwave Network (ラジオ関 西ホール)	この須磨をもっと知りた い—すま、文化再発見	4. 12. 5. 6	10	須磨焼苔屋形皿 須磨焼灰釉皿 須磨焼緑釉掛手付深鉢 ヒヨドリ 焼刷毛目皿 高取焼黒楽茶碗 森 月城絵皿(3点) 笹絵抹茶茶碗 菅公茶碗
朝日新聞東京本社文化 企画局(東武美術館 大津市歴史博物館)	大北齋展	5. 1. 2~2. 14 5. 3. 2~4. 11	19	風流なくてなくせの内遠眼鏡 (葛飾北齋)阿蘭陀画鏡江戸八景 (袋付)(9枚)(葛飾北齋)(以上 東武美術館)銅版近江八景(袋付) (9枚)(葛飾北齋)(大津市歴史博 物館)
西宮市大谷記念美術館	山下摩起展	5. 1. 15~2. 14	16	雪竹 溪山不尽 金剛力士I 金 剛力士II 金剛力士III 鷲 菩薩 坐像 鯉 風景(滝) 如来坐像 桃 葡萄 夜の梅 溪流 滝 不 動明王(以上山下摩起)
神戸市市民局文化振興 課(神戸市庁舎1号館 2階市民ギャラリー)	西村元三朗 自選展	5. 1. 29~3. 1	1	段を登る人(西村元三朗)
神戸市教育委員会文化 財課(アーバンリゾー トフェア神戸'93インフ ォメーションセンター)	神戸の文化財	5. 2. 1~2. 28	1	桜ヶ丘5号銅鐸(複製)
日本経済新聞社文化事 業部(日本橋高島屋 京都高島屋 大阪高島 屋 横浜高島屋)	セビリア万博帰朝記念 安土城障壁画展	5. 2. 4~2. 16 5. 3. 11~3. 23 5. 4. 1~4. 13 5. 4. 29~5. 11	2	V.O.C.マーク入り小型艦載砲 聖フランシスコ・ザヴィエル像(複 製)
福岡県立美術館 佐賀 県立美術館 長崎県立 美術館 福岡市博物館 栃木県立博物館	第3回福岡・佐賀・長崎 3県合同企画展 黄檗 の美術	5. 2. 11~2. 21 5. 2. 25~3. 7 5. 3. 11~3. 22	4	王心渠像(喜多元規)倚杖羅漢図 (陳賢)倚杖羅漢図賛(木庵)木造 関羽像(范道生)
	企画展 行楽・観光・レ ジャー ~余暇の近代化	5. 2. 14~3. 21	4	花下群舞図(6曲一雙) 日本名所 風俗写真帳I 六甲山スケート場 案内
京都国立博物館 名古 屋市博物館 茨城県立 歴史館 福岡市博物館 毎日新聞社	特別展 倭国—邪馬台 国と大和王権	5. 3. 23~5. 9 5. 5. 21~6. 20 5. 6. 29~7. 25 5. 8. 3~8. 29	10	国宝桜ヶ丘第1号銅鐸 国宝桜ヶ 丘第3号銅鐸(以上 全会場)国 宝桜ヶ丘第4号銅鐸(京都国立博 物館 名古屋博物館)国宝桜ヶ 丘第5号銅鐸(茨城県立歴史館 福岡市博物館)国宝桜ヶ丘第10号 銅鐸 国宝桜ヶ丘第11号銅鐸 国 宝桜ヶ丘第12号銅鐸 国宝桜ヶ丘

貸出先	展覧会名	期間	点数	資料名
				第1号銅戈 国宝桜ヶ丘第2号銅戈 国宝桜ヶ丘第3号銅戈(以上全会場)
財団法人根津美術館	特別展 古渡更紗と和更紗	5. 3. 27~4. 25	5	黄地草花文様鬼更紗敷物 白地草花文様更紗下着 赤地鳳凰唐草祇園山鉾文更紗 赤毛方品代持渡反物切本帳 辰秋新渡反物類切手本帳
埼玉県立博物館	特別展 つば・かめ・すりばち——中世のやきものと暮らし——	5. 3. 27~5. 9	2	神戸市北区石峯寺出土瓜蝶鳥刻文壺(重美) 出土地不詳瓜蝶雀鏡

(2) 特別利用

1. 館外貸出

年度	件数	貸出先	貸出点数
60	27	27	416
61	43	41	435
62	39	33	448
63	39	36	316
1	49	46	435
2	48	46	459
3	44	58	318

2. 特別利用

	60年度		61年度		62年度		63年度		
	件	点	件	点	件	点	件	点	
熟覧	45	325	51	426	60	424	56	447	
模造	2	8	1	5	4	4	4	8	
撮影	映画テレビ	15	63	7	29	30	92	43	171
	写真	36	263	43	231	79	407	64	475
掲載許可	176	469	210	522	258	724	266	779	
原版使用	113	457	171	528	194	645	212	705	
紙焼付与	40	219	22	69	48	248	40	138	
その他					25	78	30	140	
合計	427	1,804	505	1,810	698	2,622	715	2,863	

	元年度		2年度		3年度		
	件	点	件	点	件	点	
熟覧	23	246	46	378	35	295	
模造	4	6	3	5	5	5	
撮影	映画テレビ	24	131	34	119	59	237
	写真	52	213	40	257	53	462
掲載許可	290	606	289	746	411	1,194	
原版使用	220	587	240	853	334	927	
紙焼付与	38	121	31	92	48	373	
その他	25	86	36	90	54	320	
合計	676	1,996	719	2,540	999	3,813	

入館者数

1 経年

(単位：人)

区分	年度												計
	60	61	62	63	元	2	3	4					
開催日数	特別展	140	128	164	138	217	128	177	149	1,538			
	常設展	143	156	125	146	69	157	108	135	1,424			
	計	283	284	289	284	286	285	284	284	2,962			
入館者数	特別展	104,422	94,790	106,840	93,177	278,962	104,831	155,037	165,150	1,295,126			
	常設展	32,092	31,918	23,572	37,136	13,944	40,321	25,335	35,016	310,891			
	計	136,514	126,708	130,412	130,313	292,906	145,152	180,372	200,166	1,606,017			
1日平均	特別展	746	741	651	675	1,286	819	876	1,108	842			
	常設展	224	205	189	254	202	257	235	259	218			
	計	482	446	451	459	1,024	509	633	705	542			

2 年齢・階層別

区分	3年度計												4年度計		
	24 (22)	21 (9)	23 (19)	25 (11)	26 (0)	24 (0)	26 (0)	25 (11)	23 (19)	21 (9)	24 (22)	21 (6)		22 (8)	24 (24)
常設 展示	一般	17,207	1,661	573	2,305	7,615	4,260	2,415	-	1,891	2,459	-	997	24,395	
	高年生	2,045	229	39	484	1,169	594	254	-	273	164	-	196	3,450	
	小中生	6,083	649	356	647	1,514	1,295	1,332	-	528	281	-	414	7,171	
	小計	25,335	2,539	968	3,436	10,298	6,149	4,001	-	2,692	2,904	-	1,607	35,016	
特別 展示	一般	123,243	4,480	12,135	13,018	-	-	4,015	12,453	4,348	2,134	6,917	65,258	130,932	
	高年生	20,144	443	720	691	-	-	948	4,475	871	124	588	8,090	17,260	
	小中生	11,650	975	1,252	1,271	-	-	586	2,191	693	279	1,593	6,296	16,958	
	小計	155,037	5,898	14,107	14,980	-	-	5,549	19,119	5,912	2,537	9,098	79,644	165,150	
事業 合計	事業	10,856	1,006	253	990	352	1,100	434	603	1,080	646	1,766	727	9,244	
	合計	191,228	9,443	15,328	19,406	10,650	7,249	9,984	19,722	9,684	6,087	10,864	81,978	209,410	
入館者数/日	671	376	450	666	410	302	384	822	461	277	453	3,416	737		

3 特別展

区 分	展覧会名 会期 (日数)	中国明清名画展 4/4~5/10 (31)		中国の金・銀・ガラス展 6/9~7/12 (30)		森英恵と パリ・オートクチュール 10~12/6 (40)		銅鐸の世界展 1/23~3/7 (38)		4年度計 (139)
		入館料	人数	入館料	人数	入館料	人数	入館料	人数	
有	個人	800円	5,732	900円	10,500	1,100円	11,026	600円	6,341	33,599
	団体	600円	278	650円	2,701	800円	1,030	450円	546	4,555
	前売	700円	621	750円	2,091	950円	2,618	500円	744	6,074
	計	(487)	6,631	[1,366]	15,292	[384]	14,674	[451]	7,631	[2,688]
料	個人	700円	522	750円	702	950円	1,214	500円	659	3,097
	団体	500円	44	550円	386	700円	3,425	400円	3	3,858
	前売	600円	46	650円	99	800円	1,065	450円	63	1,273
	計		612	1,187	1,187	5,704	725	725	141	8,228
料	個人	550円	108	600円	114	800円	293	400円	141	656
	団体	300円	0	400円	53	450円	213	250円	2	268
	前売	500円	4	550円	27	650円	50	350円	13	94
	計		112	194	194	556	156	156	213	1,018
小中生	個人	300円	299	350円	233	350円	225	250円	213	970
	団体	150円	38	200円	25	250円	651	100円	333	1,047
	前売	250円	19	250円	48	300円	5	200円	27	99
計		356	306	306	881	881	881	573	2,116	
ミュージアム・カード	計		7,711		16,979		21,815		9,085	55,590
	料		1,255		1,730		1,580		1,092	5,657
無	料		5,238		10,378		7,185		5,143	27,944
	計		14,204		29,087		30,580		15,320	89,191
合 計			458		970		765		403	642
入館者数/日			458		970		765		403	642

日 誌

- 4.4.4 中国明清名画展 (5/10まで)
- 5.18 くん蒸作業 (5/23まで)
- 6.9 正倉院の故郷ー中国の金・銀・ガラス展 (7/12まで)
- 6.16 栄光のオランダ絵画と日本展借用作品調査・決定のため、岡・三好学芸員オランダへ出張 (6/27帰国)
- 7.1 第1回博物館協議会開催
- 7.5 ルーヴル美術館200年展借用交渉のため、松谷学芸係長フランスへ出張 (7/11帰国)
- 7.21 博物館実習生の受入
(立命館大5名、愛知県立芸大1名、帝塚山2名、仏教大3名、神戸大3名 7/25まで)
- 8.4 博物館実習生の受入
(信州大1名、京都橘女子大3名、京大外大3名、京都芸術短大3名、甲南女子大2名、神戸大3名、帝塚山短大1名、姫路独協大1名 8/8まで)
- 8.25 博物館実習生の受入
(大阪青山短大3名、青山学院大1名、大阪芸術大1名、神戸女子大3名、姫路独協大1名、三重大2名、関学大3名、大手前女子大2名 8/29まで)
- 8.31 栄光のオランダ絵画と日本展調印式のため、林副館長兼事務局長、岡学芸員オランダへ出張 (9/8帰国)
- 9.1 デュオこうべに「アート・インフォメーション」開設
- 10.21 森英恵とパリ・オートクチュール展 (12/6まで)
- 11.3 ・博物館開館10周年
・小磯記念美術館開館
- 11.14 中国の金・銀・ガラス展資料返却のため、森田学芸員中国へ出張 (11/22帰国)
- 5.1.23 銅鐸の世界展 (3/7まで)
- 2.20 開館10周年記念講演会 (講師 陳舜臣氏)
- 2.25 第2回博物館協議会開催
- 3.20 ルーヴル美術館200年展 (5/9まで)

予 算

項 目	年 度	元	2	3	4
資 料 購 入 費		80,000	80,000	80,000	80,000
資 料 整 理 費 等		23,725	93,407	23,087	23,087
特 別 展 等 開 催 費		88,857	85,550	81,916	110,400
普 及 事 業 費		20,939	20,925	22,596	22,635
光 熱 水 費		36,000	36,000	36,000	36,000
施 設 管 理 費 等		73,129	76,455	79,222	83,594
事 務 費 等		23,449	17,042	17,407	17,939
合 計		346,099	409,379	340,228	373,655

博物館協議会

会 長

林 雪 光 元神戸市外国語大学学長 (学識経験)

副会長

佐 原 真 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター研究指導部長 (")

委 員

河 口 希一郎 神戸市立小学校教育研究会社会科部会長 (上高丸小学校長) (学校教育)

永 森 幸 雄 神戸市立中学校教育研究会社会科部会長 (榎谷中学校長) (")

中 野 武 神戸市立高等学校教育研究会社会科部会長 (御影工業高等学校長) (")

前 田 薫 神戸市青少年団体連絡協議会顧問 (社会教育)

土 井 芳 子 神戸市婦人団体協議会会長 (")

稲 葉 孝 朗 神戸市PTA協議会広報専門委員長 (")

竹 下 義 孝 神戸労働者福祉協議会副会長 (")

荒 尾 親 成 元神戸市立南蛮美術館長 (学識経験)

池 上 忠 治 神戸大学文学部教授 (")

石 毛 直 道 国立民族学博物館第二研究部長・教授 (")

石 田 善 人 岡山大学教養部教授 (")

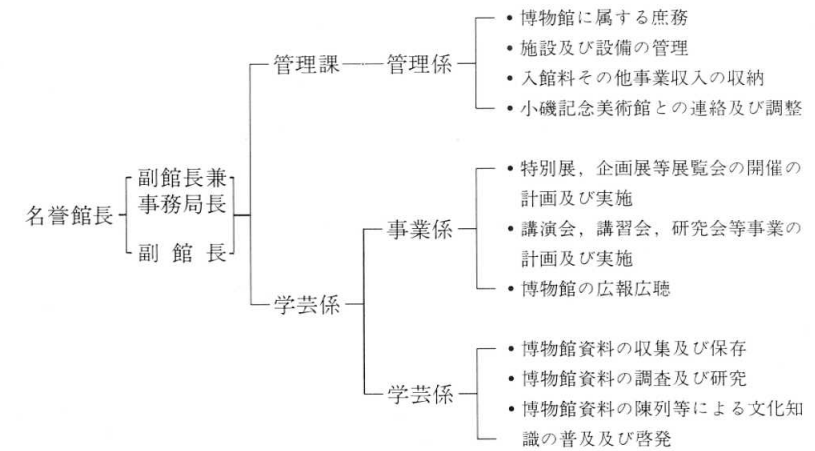
貝 原 六 一 洋画家 (")

吉 村 元 雄 関西学院大学文学部教授 (")

高 尾 一 彦 松蔭女子学院短期大学教授 (")

組織・職員

組 織 (5 . 3 . 31現在)



職 員

職 員	指 導 主 事	前 田 和 宏 (歴 史)
館 長	宮 崎 辰 雄	事務職員
副館長兼事務局長	林 伸次郎	山 中 健
副 館 長	崎 山 昌 廣	武 川 一 志
管理課		学 芸 員
管理課長	和 田 宣 一	国木田 明 子 (文 化 人 類)
管理係長	足 立 健	岡 泰 正 (美 術)
事務職員	宮 津 時 夫	塚 原 晃 (")
"	岡 本 安 弘	学 芸 係 長
学芸課		松 谷 武 夫 (")
学芸課長	喜 谷 美 宜 (考 古)	学 芸 員
調 査 役	神 崎 義 幸	宮 本 郁 雄 (考 古)
事業係長	伊 藤 智 充	"
指導主事	赤 木 康 司 (歴 史)	問 屋 真 一 (歴 史)
		田 井 玲 子 (")
		森 田 稔 (考 古)
		勝 盛 典 子 (歴 史)
		三 好 唯 義 (地 理)
		成 澤 勝 嗣 (美 術)

職員の異動

4.3.31	船田 史郎 (副館長兼事務局長) 退職	3.4.1	塚原 晃 (学芸課) 新規採用
"	檀上 重光 (副館長) "	4.4.1	林 伸次郎 (副館長兼事務局長) 西区より転入
"	中新 卓爾 (学芸課) "	"	和田 宣一 (管理課長) 長田保健所より転入
4.4.1	妻木 敏彦 (管理課長) 転出	"	神崎 義幸 (調査役) 就任
"	高本 保雄 (主 幹) "	"	前田 和宏 (学芸課) 神港高等学校より転入
"	松尾 隆 (学芸課) "	4.4.20	伊藤 智充 (学芸課) 兵庫区より転入
4.4.20	榑 真輔 (管理課) "	"	岡本 安弘 (管理課) 須磨区より転入
"	中谷 一雄 (管理課) "	4.5.1	崎山 昌廣 (副館長) 就任
"	辻 智美 (管理課) "		

